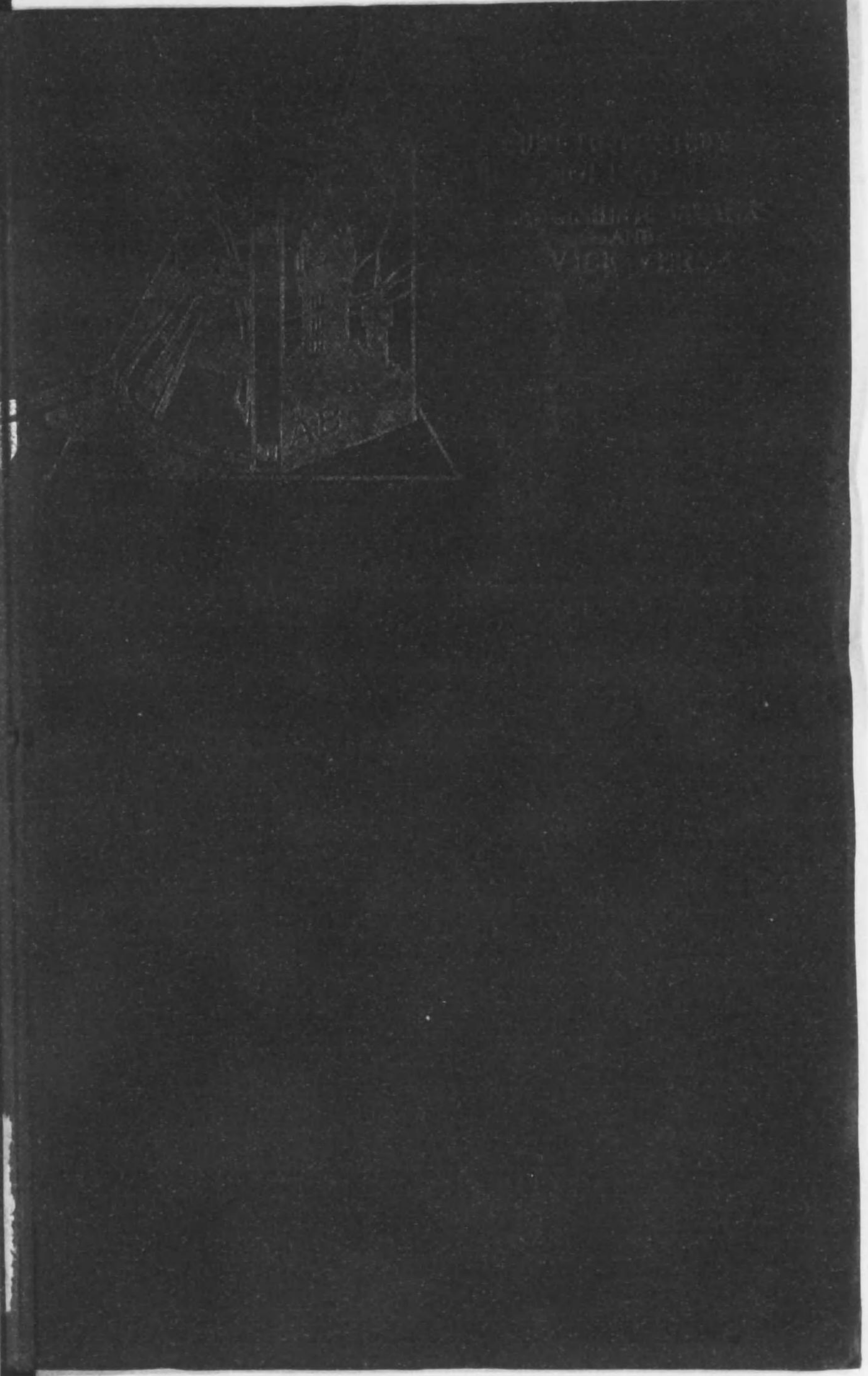


始





A GUIDE TO THE STUDY
OF ENGLISH
IN ENGLISH IN JAPAN
AND
VICE VERSA



自學自習 參考
英和譯・和英譯



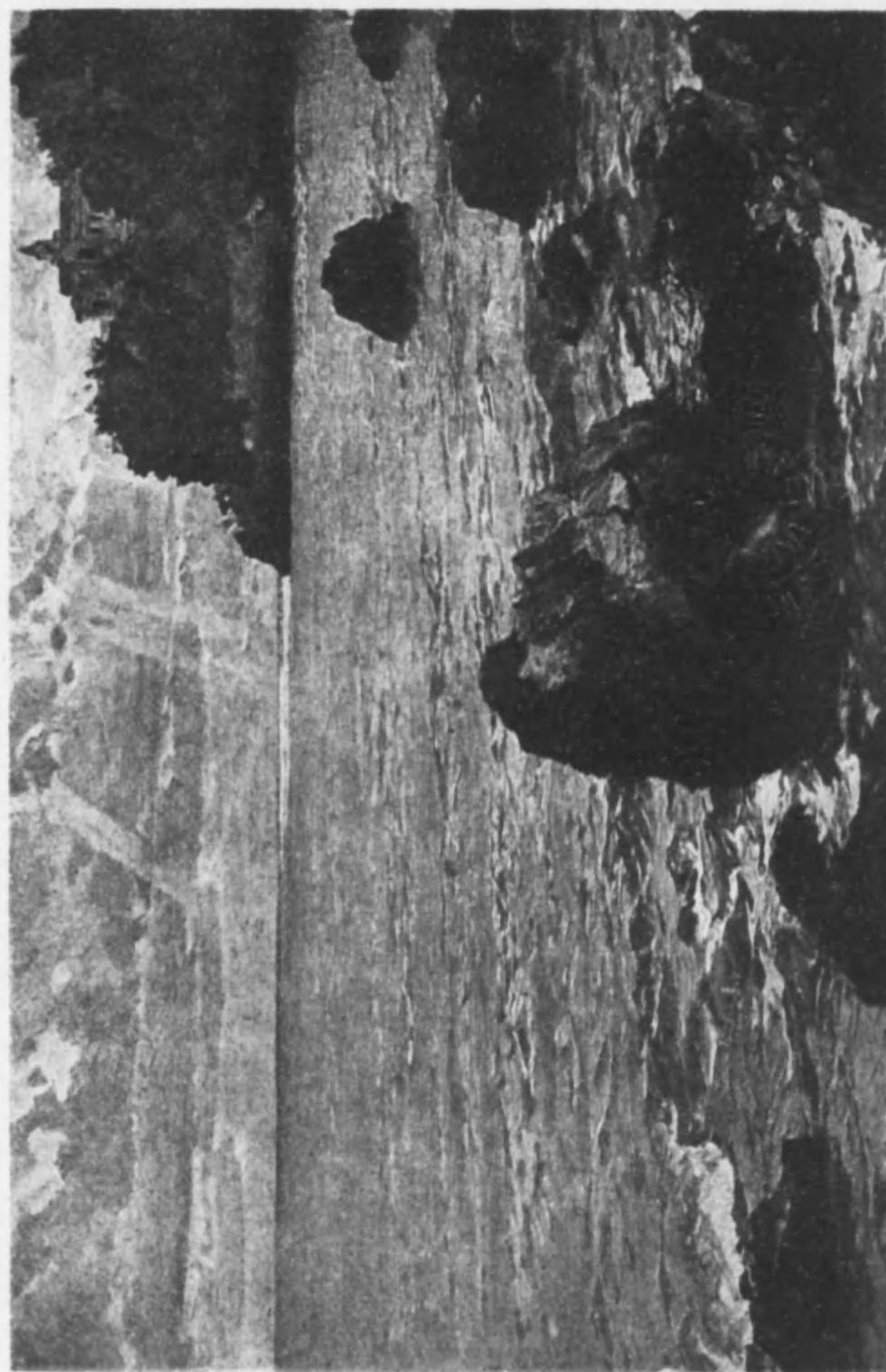
圖山房編輯部編



東京 圖山房發行 神田



76W10537



緒 言

本書は中等學校生徒の自習用と高等、専門學校の受験準備用の二つの目的のために編纂したものである。本書の特色として最も著しい點は、

1. 材料を現在各學校で使用してゐるリーダ及び從來入試問題に多く出た書物並びに最近の入學試験問題の内から選出したこと
 2. 英文獨特の構文に習熟させることを目標として材料を文法本位に配列したこと
 3. 各章末に總括欄を設けて文法上の要項を示し和文英譯問題を掲げ原文を直ちに應用させる様に工夫したこと
- の三點である。即ち英文和譯、和文英譯、文法の三つを別別に研究の對象としないで、総合的英語學習法を提唱した點にある。

英語學習の目的 何事も目的なく漫然と始めては上達は望めない。國語漢文を學ぶにも目的があり、英語も同様である。受験準備のためにのみ語學を學ぶならばそれに費す勞力と時間の代價は餘りにも高價ではなからうか。英語學習の目的は凡そ次の二つと見ることが出来る。

實用的目的 英語を母國語とする國民の世界に於ける地位の優越を考へ、それと我國との關係の密接なる點を思へば、英語學習の實用的目的の必要は何人も疑ふことは出来まい。殊に國際關係の複雑になりつゝある現在、英語に習熟す

ることは將來何れの方面に活動する人にも極めて必要である。

文化的目的 交通機關の發達は世界の距離を著しく短縮し、文化内容を近接させた。我々が世界の文化の流れに棹して自己の思想を培つて行くには世界語も云ふべき英語を通して英米の書籍雜誌新聞を読む能力を養はねばならない。此文化的目的は多少の差こそあれ、何人も閑却し得ない。

英語學習の困難 英語を實際に習つて見るに中々容易でない。他の學科の二倍もの勞力と時間とを費しても得る力は半ばにも及ばない。これは全く語の構造や發音が異り又英語を直ぐ活用する環境に缺けてゐる點なきにも原因する。然らばさうしてこの困難に打ち克つことが出来るか云ふことになる。次に英語學習の原則も云ふべきものを上げて諸君の参考をしよう。

毎日一定の時間學習すること 英語は此點が殊に大切である。今日二時間勉強して又日を置いてやるより、三十分宛なり毎日やる方が效がある。今日飽食して明日の斷食は拙い學習法である。

大膽細心であれ 母國語さへ我々は數々の誤をしてゐる、姿の變つた外國語に初め誤のあるのはむしろ當然であるから放膽にして笑れることを恐れてはならない。と同時に語脈の違ふ言葉であるから拱手して讀うことは上達しない。細心に日本語の文脈と比較對照して研究しなければならぬ。

よく考へよ 漫然とあつさり片付けずに文の主語は何、述語は何と論理を辿りつゝ、緻密に考へねばならない。

反覆練習せよ 英語は理窟のみでは通らない。理窟で行かない所は反覆して了解する外道がない。殊に慣用語句の如きは反讀誦誦の外ない。

辭書に親しめ 未知の單語が遠慮なしに出て來るが、想像丈けですごせないから辭書を引く。辭書を引く繁を煩ふ程なら英語に斷念する方がましで、一語を記憶するに十回も辭書に當らねばならない場合もあらう。

焦らず辛棒強くあれ 坂道に車を押して上る様なもので、焦ると途中で疲れる。途中で休むことも出来ない、後戻りする。これが英語勉強の經路である。遅くとも一步一步踏みしめつゝ、健全な歩行を不斷につゞけて勝利がある。“Slow and steady wins the race.”である。

自學自習の習慣を作れ 受身で教師の指導のみ待つのでは進歩しない。自主的、自發的な態度で臨み何うしても自分で解決の出来ない時初めて教を受ける習慣が必要である。

英語學習の順序

數回音讀して見よ 與へられた文は先づ數回音讀して見るに、意自ら通ずで自然内容の解るころがある。知らない語に出遭うと直ぐ字書を引く生徒があるが、これは頭を練る道でない。熟讀するに知らない單語まで大體は見當が付くが、それから後で辭書を引く。

辭書を引く上の注意 發音や綴字は勿論同一語でも色々の役目を兼ねる場合があるから、よく品詞別に注意しなければならない。又或語を求める時前後の一二語を見る様にすれば得る所も大であり、その語に關係ある他品詞を知る様に心掛ければ單語の知識は自然豊かになることであらう。同意語、反意語に注意する事も重要な事である。

文法的に構文を研究して見る 意味の大體の見當がついたら、更らに文法的に研究して主語、述語、補語、目的語、修飾語の見方は正しいか、時相はどうか、能動か受動か、複文か單文か、不定法の用法は何かを云ふ様に批判的に進んで、もし不明な所があれば文法書によつて研べるやうにすれば、文法も乾燥無味に流れず有効に覺えることが出来るよう。

讀みながら意味の解る様にせよ 極く大切な事で讀方と解釋を別々に考へて二つの仕事をすることは時間と勞力の不經濟である。

かうして單語、慣用語、重要構文を語記せよ 模倣 (Imitation) が英語には大切である。語記は單語のみを考へるは誤りで、單語は文中にあつて初めて意義があるのだから、却つて語よりも句を、句よりも思想を表す文章を語記する方がこれだけ効果があるか知れない。單語だけ書き抜いて單語帳を作り機械的に單語のみ覚えようとする學生が多いが、拙い方法である。記憶は觀念の連合作用によるものであるから、文章をして覺えて了へばそれから會話や

作文の材料を活用することも出来、思想も豊かにすることも出来る。

覺えた主要構文や重要語句で文を作つて見よ これは作文の練習である。英作文の基礎は何うしても解釋の材料に仰がねばならない。英作文は日本文と全く構文が異ふから、入念に英文を味つて重要な構文を語誦してこれを應用して行く外に道がない。リーダーの一卷から三巻までを語誦してこれを原文を離れた日本文に直して一週間とか二週間とかの期間を置いて復文をやつて見るに云ふやうな根氣があれば中等學校生徒としての英作文の學習は完璧を期する事が出来ると思ふ。要するに英語を譯讀、文法、作文と別々の研究對象としないでこれを三位一體とした綜合的學習法に依つて英語の學習は最大の能率を擧げるここが出事。毎日日記をつけて習つた構文や語句を使つて見るのもよき方法であらう。

昭和五年 六月

目次

第一篇 文の一般的構造	1
第一章 文の基本的構造	1
第一節 第一型	1
第二節 第二型	3
第三節 第三型	6
第四節 第四型	8
第五節 第五型	12
總括	14
應用和文英譯問題 (1)	14
第二章 修飾語	21
第一節 主語修飾語	21
第一項 形容詞	21
第二項 Phrase	23
第三項 Clause	26
第四項 Infinitive	29
第五項 Participle	33
第二節 述語修飾語	35
第一項 Adverb	35
第二項 Phrase	38
第三項 Clause	41
第四項 Subjective Complement を修飾するもの	43
第五項 Object を修飾するもの	46
第六項 Objective Complement を修飾するもの	50
總括	53
應用和文英譯問題 (2)	53
第三章 文の種類	71

第一節 構造による文の種類	71
第一項 Simple Sentence	71
第二項 Complex Sentence	73
第三項 Compound Sentence	75
第四項 Mixed Sentence	77
第二節 叙述による文の種類	80
第一項 Declarative Sentence	80
第二項 Interrogative Sentence	83
第三項 Exclamative Sentence	86
第四項 Imperative Sentence	89
第五項 Optative Sentence	91
總括	93
應用和文英譯問題 (3)	94
第四章 Tense	108
第一節 Present Tense	108
第二節 Past Tense	110
第三節 Future Tense	112
第四節 Present Perfect Tense	115
第五節 Past Perfect Tense	118
總括	121
應用和文英譯問題 (4)	121
第五章 Infinitives	135
第一節 Noun Infinitive	135
第一項 Noun Infinitive が Subject となる場合	135
[A] Infinitive をそのまま Subject とする場合	135
[B] It を Formal Subject とし Infinitive をその内容とする場合	137
第二項 Complement となる場合	140
第三項 Object となる場合	142
第二節 Adjective Infinitive	146
第三節 Adverb Infinitive	149

第四節 Absolute Infinitive	152
第五節 Perfect Infinitive	155
總括	158
應用和文英譯問題 (5)	158
第六章 Participles	178
第一節 Present Participle	178
第一項 Subjective Complement として	178
第二項 Objective Complement として	180
第三項 Adjective として	183
第四項 Participial Phrase として	186
第五項 Impersonal Absolute Participle として	190
第六項 Absolute Participial Construction として	193
第二節 Past Participle	196
第一項 Adjective として	196
第二項 Subjective Complement として	199
第三項 Objective Complement として	201
第四項 Participial Phrase として	204
第五項 Absolute Participial Construction として	207
第六項 To have+Object+Past Participle	209
總括	211
應用和文英譯問題 (6)	211
第七章 Gerund	226
第一節 Cannot help+Gerund	226
第二節 There is no+Gerund	228
第三節 To come near+Gerund	229
總括	230
應用和文英譯問題 (7)	230
第八章 Auxiliary Verbs	239
第一節 Cannot but+Root	239
第二節 Can but	241

第三節	Cannot.....too	243
第四節	Cannot afford to	245
第五節	Must	246
第六節	Must have+Past Participle	248
第七節	May	250
第八節	May have+Past Participle	251
	總 括	254
	應用和文英譯問題 (8)	255
第九章	Adverbs	268
第一節	Hardly	268
第二節	Seldom, Rarely	270
第三節	The+Comparative.....the+Comparative	273
	總 括	276
	應用和文英譯問題 (9)	276
第十章	Subjunctive Mood	284
第一節	Subjunctive Present	284
第二節	Subjunctive Future	286
第三節	Subjunctive Past	290
第四節	Subjunctive Past Perfect	293
	總 括	296
	應用和文英譯問題 (10)	297
第十一章	Narration	313
	總 括	319
	應用問題	319
	應用和文英譯問題 (11)	320
第二篇	文の特殊的構造	324
第一章	Ellipsis	324
第二章	Parenthesis	329

第三章	Inversion	334
第四章	Emphasis	338
第五章	Common Relation	342
	總 括	345
	應用和文英譯問題 (12)	345

第一篇 文の一般的構造

第一章 文の基本的構造

第一節 第一型

【問題 1】 In the battle of life the cleverest men do *not* always succeed best.

【語句】 In the battle of life 人生の戦闘場裡に於て。not always = not necessarily 必ずしも……でない、全部を否定するのではなく一部を否定するのである。(全部を否定するには never, by no means 等を用ゐる)。clever = talented 才のある。

【考へ方】 第一段先づ第一にこの文の Subject を求める。In the battle of life は文頭にあるが Subject ではなく men が Subject である事が解る。次に do not succeed が Predicate Verb である事を知る。第二段これだけ解れば後は枝葉の問題で In the battle of life, not always, best は皆 succeed を修飾する語句である。

【譯】 人生の戦闘場裡に於ては才の最も勝れた者が一番成功するさは限つてゐない。

【重要語句】 not always.

【構文上の要點】 この文のやうに主語 + 完全自動詞といふ構文が英文の最も簡單なものでこれを第一型とする。

【問題 2】 Men of rare and brilliant gifts often fail by trusting too much to those gifts, and *thinking* too *meanly* of the talents of others.

【語句】 brilliant 才氣縱横な。gift = natural endowment 天賦の才能、天資。to trust to = to depend on 頼る。to think meanly of = to think lightly of, to make light of ……を輕んずる、馬鹿にする。

【考へ方】 第一段 Subject は men, Predicate Verb は fail, 第二段 of rare and brilliant gifts は men にかゝる修飾句、often, by trusting too much to those gifts, and thinking……others は fail にかゝる修飾の語句

である。

【譯】 稀に見る才氣縦横の人士はその才能に頼りすぎ又他人の才幹を餘りに輕視するために失敗する事が往々ある。

【重要語句】 to think meanly of

『参考』 $\left. \begin{array}{l} \text{to think much of} \\ \text{to make much of} \end{array} \right\}$ 重んずる。

【問題 3】 **Luck whines; Labour whistles; Luck relies on chance; Labour on character. Luck slips downward to self-indulgence; Labour strides upward and aspires to independence.**

【語句】 to whine 泣き言を並べる。to rely on = to depend on. to slip downward = to fall low, to go wrong 墮落する。slip 記る。self-indulgence 放縱。to stride upward 向上の道を邁る。to aspire = to desire eagerly 切望する。

【考へ方】 Luck, Labour が Capital letters になつて居るからこれ等を人間の如く取扱つたのであると思はねばならぬ。これを Personification (擬人法) といふ。on character の前に relies を補つて見る。

【譯】 「運」は泣き言を並べ「勤勞」は口笛を吹く。「運」は偶然をたより、「勤勞」は品性をたよる。「運」は放縱に墮落し「勤勞」は向上の道を邁つて獨立を切望する。

【重要語句】 to rely on, luck, to stride upward, to aspire.

【問題 4】 **He worked without stopping, and ate little. When work was over he sat silently, looking upwards. He hardly went into the street, spoke only when necessary, and neither joked nor laughed.**

—昭和 2. 宇都宮高農

【語句】 hardly = very seldom 滅多に……しない。neither……nor, ……も……もしない。

【譯】 彼は間斷なく働き少食であつた。仕事が終わるまゝ無言のまゝ腰をかけ上の方を眺めて居た。滅多に町に出掛ける事もなく必要ある時しか口をきかず戯談いふ事も笑ふ事もなかつた。

【問題 5】 **The farmer can work alone in the field or the**

woods all day and not feel lonesome, because he is employed; but when he comes home at night he cannot sit down in a room alone, at the mercy of his thoughts. —大正 14. 盛岡高農

【語句】 lonesome = lonely 淋しい。to be employed = to be absorbed in his work 仕事に氣をとられて居る。at the mercy of = wholly in the power of ……のために自由自在にされる。

【考へ方】 第一段 and の次に do を補つて見る。第二段 at the mercy of の前に because he is を補つて見る。

【譯】 農夫は終日畑や森で只獨りで働いてゐても格別淋しいさも思はない、さういふのは仕事に餘念ないからである。然し夜家に戻ると一室に只獨り腰を下してゐる事は出来ない、色々の考が止めざなく起るからである。

【重要語句】 to be at the mercy of……

第二節 第二型

【問題 6】 **The best remedy for mental fatigue is rest of both mind and body; and the poorest preparation for an evening of hard study is an afternoon of exercise so violent that it leaves one physically exhausted.**

【語句】 remedy 治療法。mental 精神上の。fatigue 疲勞。preparation 準備。violent 激しい。physically 身體の。to exhaust [igzɔ:st] = to tire out.

【考へ方】 第一段 Subject は remedy. Predicate Verb は is. rest of both mind and body は is の不足を補ふ Subjective Complement. for mental fatigue は remedy を形容する Adjective Phrase である。第二段 and 以下について考へると the poorest preparation が Subject, is が Predicate Verb, an afternoon of exercise が Subjective Complement. for an evening of hard study は preparation を形容し、so violent は exercise にかゝり、so……that は連詞接續詞と考へ、it は an afternoon of exercise を指し、one は一般に人を指し leaves の Object. exhausted は one を修飾する Objective Complement.

【譯】 精神上の疲勞に對する最善の治療法は精神身體兩者の休養にある。そして一夜の勤勞に對する最悪の準備法は午後非常に激し

い運動をして身體を綿の如く疲らせておく事である。

【重要語句】 remedy, mental, fatigue, preparation, exercise, violent, physically, to exhaust.

【構文上の要素】 The best remedy for mental fatigue is rest of both mindの如き主語+不完全自動詞+主語補足語これを構文上の第二型とする。

【問題 7】 The **method** of the League of Nations **is to reduce** armies and navies, and *by means of* Assemblies and Councils of the nations, **to arrange** that all disputes be settled *not* by war, *but* by the rules of right and justice.

【語句】 the League of Nations 國際聯盟。to reduce=to diminish 減少する。by means of=by に依つて。Assembly 審議會。Council 評議會。to arrange 調める。dispute=debate 論争。right and justice 正義、公正。

【考へ方】 第一段 Subject は the method, Predicate Verb は is, to reduce は is を補ふ Subjective Complement, reduce は Transitive Verb だから armies and navies は Object となる。第二段 by means of..... the nations は to arrange を修飾し、to arrange は is につき、arrange の Object は that 以下の Clause. all disputes はこの Clause 中の Subject となり be settled の前に should を補つてこれが Predicate Verb になる。not.....but..... はによるにあらずして.....によつて、となる。

【譯】 國際聯盟の方法は陸海軍を縮少し各國の審議會評議會により論争を凡て戦争によらず正義、公正に基いて解決する様に纏める事である。

【問題 8】 His **life was** a sad **example** of wasted powers and unfulfilled promise, and his later **years were rendered bitter** by regret for lost opportunities.

【語句】 unfulfilled 遂げられない、未了の。promise 將來の見込。rendered=made. opportunity 機會。

【考へ方】 unfulfilled promise は前の of にかゝり、for lost opportunities は regret にかゝる。

【譯】 彼の一生は精力を浪費しあたら將來の見込も遂げずに了つた悲しむべき實例であつた。そして、彼の晩年は逸失した機會に對

する未練のために痛ましいものであつた。

【重要語句】 to waste, unfulfilled, to render, opportunity.

【構文上の要點】 example は was を補ひ、bitter は were rendered を補ふ Subjective Complement.

【問題 9】 The human **body is a machine**, and a very complicated **one at that**. **It is subject to** injuries, *to being put out of order*, and it will wear out *less or more* quickly *according to* the manner in which it is used. **Life is, generally speaking, shortened or prolonged**, *according to* the care we take of it.

—昭和 2. 成蹊高校

【語句】 complicated=intricate 複雑な。at that=into the bargain, moreover おまけに。to be subject to=to be liable or prone to 受け易い。injury=harm, damage 損傷。to be put out of order=to be in ill health, 健康を害する。to wear out 消耗する。less or more=more or less 多かれ少かれ。according toに應じて。generally speaking 概括的に云へば、例: *Generally speaking, early risers live long.* 一般に早起きする人は長生きする。to prolong=to extend 長くする。

【考へ方】 第一段 one は前の machine を受け、to being put out of order は subject にかゝる。第二段 less or more を直接 wear out にかけては quickly の所置に困る、quickly は wear out にかゝり less or more は quickly にかゝる。

【譯】 人間の身體は機械であり而も複雑な機械である。それは損傷を受け易く具合が悪くなり易くそしてこれを使用する方法に應じて消耗の程度に運速がある。生命は概括的にいへば身體についての注意の拂ひ方に従つて短縮も延長も出来るものだ。

【重要語句】 complicated, at that, to be subject to, injury, to put out of order, to wear out, according to, more or less, to prolong.

【問題 10】 **Things are** in our time *too difficult* and **complicated to be** practicable without the best equipment, and this is as much true of public affairs as *it is the case with* private life.

—昭和 2. 愛知醫大豫科

【語句】 things 世の中の事。practicable=feasible 實行出来る。equipment 設備。public affairs 公の事。private life 私的生活。↑参考: public

life 公的生活, it is the case with.....,の場合にさうである。

【考へ方】 第一段 difficult は are の Subjective Complement. too difficult and complicated to be practicable=so difficult and complicated that they can not be practicable と書き直して見る。第二段 this は前半の文章全部を受ける。as much true の as は as it is the case の as と相照する。too difficult to be practicable あまり面倒で実行が出来ない。

【譯】 現代に於ては世の中の事が非常に面倒複雑で最善の設備けをしないでは実行出来ない有様であるが、これは私的生活の場合に於る様に公の事についても事實である。

【重要語句】 too difficult to be practicable, it is the case with private life, equipment, private life.

第三節 第三型

【問題 11】 Some people waste their lives in wishing for what they know they can not have, in regretting what they can not avoid, and talking of what they do not understand.

【語句】 to waste 浪費する。to regret=to repent of 悔む。to avoid 避ける。

【考へ方】 第一段 their lives は waste の Object, in wishing.....can not have まだが waste にかゝる修飾句。they cannot have は know の Object. 第二段 in regretting.....avoid は in wishingと同様に waste を修飾し、talking.....understand の talking の前に in を補つたものも矢張り waste にかゝる。

【譯】 或る人達は手に入れる事が出来ない事を知りてある物を欲しがつたり、避け得ない事を悔んで見たり、了解出来ない事を話したりして一生を棒に振る。

【構文上の要點】 主語+完全他動詞+目的語の型を第三型とする。

【問題 12】 If he (a merchant) studies the customs and ways of the people of a country, he often gets new ideas as to the article which would find a ready sale among them.

【語句】 customs and ways=manners and customs 風俗習慣, idea=plan 思ひ付き。as to=concerning, respecting, as regardsに就いて。

ready sale 早速の取路。

【考へ方】 as to.....among them は ideas を修飾し、among them の them は people を指す。

【譯】 若し彼(商人)が或る國の風俗習慣を研究すればその國人の間に忽ち取路を発見するやうな品物について新しい思ひ付きが頭に浮ぶ事がよくあるものだ。

【重要語句】 to get an idea, as to, sale.

【問題 13】 My want of stability distracts my attention from my studies to indulge in trifling occupations, and I fear it will prevent me from gaining complete mastery over anything.

【語句】 want=lack 缺乏, stability [stəbiliti] しつかりして居る事, to distract [distrækt]=to divert 散らす、翻らす。to indulge in=to give oneself up to 耽る。trifling 取るに足らぬ。occupation [ɔkjup'eɪʃən]=employment 仕事。to prevent me from 妨げる。to gain complete mastery over=to master completely 完全に自分のものとする。

【考へ方】 第一段 Subject は my want of stability. distract の Object は my attention. from my studies は distract を修飾し to indulge in は distract した結果を表はす。例: I tried the entrance examination only to fall. 私は入學試験を受けてはみたが、落第したに過ぎなかつた。第二段 it は my want of stability を指す。me は prevent の Object, prevent には必ず from が伴つてその次に妨げる内容を示す。例: Illness prevented me from attending school. 病気で出席が出来なかつた。

【譯】 私にはしつかりした所が缺けてゐるので注意が勉強から散つてつまらない仕事に耽つて仕舞ふ。だからこんな事では何一つすつかり自分のものとする事は出来ないのではないかしらと思ふ。

【重要語句】 want, to distract one's attention from, to prevent one from, trifling, to gain complete mastery over.

【問題 14】 Nearly all great men have disclaimed the possession of genius and with almost unanimous voice declared their accomplishments to be due to industry. —昭和 2. 高松高商

【語句】 to disclaim=to renounce to claim, to disown 自分のものでないと云ふ、非認する。unanimous [ju(:)nə'niməs]=all of one mind 異口同

音の。to declare [diklɛə]=to affirm, to assert 断言する。accomplishments [əkɒmplɪmənts] 才藝。to be due to=to be ascribable toに因すべき。industry=application, diligence 勤勉。

【考へ方】 disclaimed の Object は the possession of genius, declared の Object は their accomplishments. with almost unanimous voice は declared を修飾する。declared の前に have を補つて見る。to be due は declared の不足を補ひ accomplishments を修飾する Objective Complement.

【譯】 殆ど凡ての偉人は天才の所有を否定し、殆ど異口同音に自己の才藝を勤勉に依るものであると断言してゐる。

【重要語句】 with unanimous voice, to disclaim, to declare, accomplishments, due to, industry.

【問題 15】 No machine yet contrivable or hereafter contrivable will even equal the fine machinery of the human fingers.

一大正 14. 神皇

【語句】 machine [məʃi:n]=machinery [məʃi:nəri] 機械。contrivable [kɒntrɪvəbl] 考案し得る。to equal [i:kwəl]=to be equal toに等しい、.....に匹敵する。

【考へ方】 yet contrivable と hereafter contrivable は何れも machine を修飾する。yet は hereafter に對して居る。equal は他動詞である、従て fine machinery..... fingers はその Object である。fine=delicate 微妙な。『参考 delicacy 微妙。』

【譯】 今日まで考案し得られた機械でも又今後考案し得られる如何なる機械でも人間の指の微妙な仕組にたも及ぶものはあるまい。

【重要語句】 to equal, contrivable.

第四節 第四型

【問題 16】 But the same amount of labour and care which gives him but a flimsy credit, and which would fall before the least scrutiny or severity of test, would give him a substantial reality. He labours as hard for a sham as would suffice to give him a truth.

【語句】 but=only, flimsy=shallow, superficial 浅薄な。credit 信用。scrutiny [skrú:tɪni]=close investigation 精密な吟味穿鑿。severity [sɪvərɪti]=strictness 嚴重。substantial [səbstəntʃ(ə)l]=of solid material 實質的な。reality [rɪəlɪti]=real existence 本體、實物。sham 贗物。to suffice [səfaɪs]=to be enough 足りる。

【考へ方】 第一段 Subject は amount of labour and care で whichof test までが the sham と應じて Subject を修飾して居る。Predicate Verb は give であるがこの Verb は Object を二つ取る即ち him (Indirect Object) と reality (Direct Object) である。第二段 would を用ひたのは「少しでも吟味されたり少しでも調べられたりでもしようものなら」といふ心持があるからである、即ち假定の意味が含まれて居るからである。as hard=as suffice..... と續いて.....するに十分なるだけの骨折を.....に對してなして居る。

【譯】 然しほんの上べたけの信用を得る丈で少しでも細かに吟味されたり一寸でも厳しく調べられでもしようものならひさたまりもなく參つて仕舞ふ程度の骨折を注意を拂へば彼は中實のたつぷりな實物がつかめるものを。彼は眞實をつかめるだけの努力を贗物を手に入れるために用ゐて居るのだ。

【構文上の要點】 主語 + 完全他動詞 + 間接目的語 + 直接目的語の型を第四型とする。

【問題 17】 The formation of a League of Nations, due largely to the initiative of Woodrow Wilson, President of the United States of America, has given the world at least a chance of realizing the hope that the Great War may prove to be the war fought to end war.

【語句】 formation, form の名詞形、成立。largely=chiefly 主として。initiative [ɪnɪʃɪətɪv]=lead 率先、先導、首唱。to realize [rɪəlaɪz] 實現する。to prove to=to turn out toである事が解る、.....となる。

【考へ方】 due largely.....Wilson は Subject の the formation of the League of Nations を修飾する。President of the United States of America は Wilson と同格。has given は Predicate Verb. the world は Direct Object, chance は Indirect Object, that 以下は hope の内容を示す (.....といふ希望)。fought は Past Participle で war を修飾する、fought の前に which was を補つて見る。

【譯】 主として北米合衆國大統領ウ드로ー・ウイルソン氏の首唱にかゝる國際聯盟の成立は世界戦争を以て尠くも戦争を根絶するための戦さしたいものであるとの希望を實現する機會を世界に與へたものである。

【重要語句】 formation, initiative, largely, to prove to.

【問題 18】 Many of those who have had, as we say, all that this world can give, have yet told us they owed much of their purest happiness to books.

【語句】 to owe.....to.....,の御蔭である。as we say 吾々の云ふ所では、所謂。

【考へ方】 have had の Object は all that this world can give で as we say はこの句を受けて挿入したものである。have told は many of those といふこの文の Subject に対する Predicate Verb で、they owed.....to books までは told の Direct Object である。

【譯】 吾人の所謂この世の與へ得る總ての物を手に入れた人達でも尙且つ自分等の至純の幸福の大部分は書籍の御蔭であつたと云つてゐるものが多い。

【重要語句】 to owe to, as we say.

【問題 19】 No man is so foolish but may give another good counsel sometimes; and no man is so wise but may easily err, if he will take no other's counsel but his own. But very few men are wise by their own counsel, or learned by their own teaching. For he that was only taught by himself had a fool to his master.

—大正 11. 米澤高工

【語句】 but=that not. counsel [k'áuns(ə)] = advice 忠言、意見。but his own=except his own counsel. had a fool to his master 馬鹿を先生に持ったやうなものだ、馬鹿を先生にしたやうなものだ。to err=to make mistakes 誤る。

【考へ方】 第一段 so foolish but may は so foolish that he may not と考へる。give は Object を二つ取る Verb 故 another は Indirect Object, good counsel は Direct Object である。第二段 few は少いといふ打削し

の意味を含んで居る語である。he that は the man who と同じ。

【譯】 さんな人でも時には人に智慧を貸してやれない程馬鹿なものはないし、又さんなに思慮分別のある人であるからさて自分の智慧だけでなく他人の智慧を借りなければすぐ間違をし兼ねないものだ。然し自分だけの智慧で思慮分別のついたものも非常に少いし他人から學ばないで物事に明くなつた人も極めて稀だ。何となれば自分だけで先生を他に求めなかつた人は馬鹿を先生にしたやうなものだからである。

【重要語句】 no man is so foolish but may give another good counsel, to give one counsel, to take one's counsel.

【問題 20】 I have absolutely decided. We had better part here. You will go back to your father. There is no reason why I should accompany you, since my presence would only stand in the way of the forgiveness he will probably grant you if you appear before him alone. —大正 12. 金澤高工

【語句】 absolutely = positively, quite, 全く。had better ... した方がよい。there is reason why I should = I see no reason why I should. to accompany [ə'kʌmpəni] = to go with 同行する。to stand in the way of ... の邪魔になる。forgiveness, forgive (許す) の名詞。to grant 與へる。since = insomuch as, seeing that.の故に。

【考へ方】 would only stand in the way of the forgiveness の would とあるのは if I should accompany you といふやうな句が省略してあるからである。一緒に行かうものなら邪魔になる丈の事だ。he will probably grant you は forgiveness を修飾して居る、forgiveness の次に which を補つて「多分お父さんがあなたに與へる所の」となる。

【譯】 私はすっかり腹を決めました。私共はこゝで別れる方がよいのです。あなたはお父さんの處へ御戻りなさい。私があなたと同行しなければならぬ理由はありません。あなた一人でお父さんの面前に出れば多分許して下さるのに私が居るこそその邪魔になるだけの事になりますから。

【重要語句】 had better, there is no reason why I should, to stand

in the way of, positively, to accompany, grant, absolutely.

第五節 第五型

【問題 21】 "Please" is a very little word, but **it makes a good many requests sound** pleasant that without it would sound harsh. *So with* "Thank you." —大正 12. 宇都宮高農

【語句】 a good many = a great many 澤山の。harsh = rough to the ear 耳ざわりになる。so with = it is so with, it is also the case with, …… の場合にも同様である。

【考へ方】 it は please を受ける。a good many requests は make の Object, sound は make の足らぬ處を補ふ Complement であるが Object を修飾するから Objective Complement といふ。「澤山の要求を愉快に聞えるやうにさせる」となる。that without it would sound harsh はそれがなければ (please といふ語) 耳ざわりに聞える所のと requests を修飾する。would となつたのは without it が假定法の代用をして居るからである。

【譯】 「さうぞ」 といふ一語は極些細な言葉ではあるが、これがないと耳ざわりに聞える澤山の要求を心地よく耳に響かせる。「有難う」 といふ言葉も同様である。

【重要語句】 a good many, request, harsh, so with.

【構文上の要點】 この文のやうに主語 + 不完全他動詞 + 目的語 + 目的補語の型を第五型とする。

【諺語】 All work and no play makes Jack a dull boy—Proverb. 働いてばかり居て遊ばないと子供は馬鹿になる。

【問題 22】 The invention of the wireless **telephone made** the **transmission** of speech and music **possible** without connecting wires, and the **invention** of the vacuum tube **has made it possible** to transmit speech wirelessly over long distances.

【語句】 transmission [trænzmiʃən] = sending through or across 送達、傳達。vacuum [vækjuəm] 真空。to transmit [trænzmit] 傳達する。

【考へ方】 第一段 made は Predicate Verb で transmission of speech and music は Object, possible は Objective Complement. 第二段 and 以下では the invention of vacuum tube が Subject で、has made が Pred-

icate Verb, it が Object, possible が Objective Complement, to transmit 以下は it の内容を示す。

【譯】 無線電話の發明で話や音楽の傳達が電線を繋がないで出来るやうになり、真空管の發明で話を遠方に電線なしで傳達することが出来るやうになつた。

【重要語句】 transmission, to transmit, vacuum tube.

【問題 23】 He was *ready enough to talk* or to write about the public duties which he *had in hand*, but he seldom talked of himself. Yet there can be no greater error than to **suppose Washington cold and unfeeling because of** his silence and reserve.

【語句】 to be ready to = to be willing to. 悦んで …… する、進んで …… する。in hand 著手して。seldom は滅多に …… しないと打消しの意がある。unfeeling = cruel 冷酷な。reserve [rizə:v] = reticence 遠慮、無口。cold and unfeeling は suppose を補ふ Complement の役をする。

【譯】 彼は自分の從事して居る公務については進んで話もし筆も取つたが、自分の事にかけては滅多に口を利かなかつた。然しワシントンが寡言遠慮勝であるために冷淡であり冷酷であると思ふ位大きな誤はない。

【重要語句】 to be ready to, in hand, reserve.

【問題 24】 Any one who would *profit by* experience will never *be above asking* help. He **who thinks himself** already **too wise to learn** of others, will never succeed *in doing* anything either good or great. —大正 13. 神戸高商

【語句】 to profit by 利益を得る。to be above asking help 助力を請ふ事を恥とする。例: He is above asking questions. 彼は質問することを恥とする。

【考へ方】 He who は anyone who と同じこと。thinks himself too wise to learn of others 自分は他人から學ぶには餘りに賢いとおもふ、自分は賢い、だから他人から學ぶ必要はないとおもふ。himself は think の Object, wise は Objective Complement.

【譯】 經驗で利益を得ようと思ふ人は決して人の力を借りることを恥としない。自分はもう充分賢くなつてゐるのだから他人から學ぶ必要がないと思ふやうな人は善事にせよ大事にせよ何事も首尾よく成就することは決してない。

【重要語句】 to profit by, to be above + Gerund, too wise to learn, to succeed in + Gerund.

【問題 25】 No man is happy who does not think himself so. Nothing is wanted to make yourself wretched but to fancy yourself miserable. —大正 13. 明治専門

【語句】 so = happy. wretched [retʃid] = unhappy 不幸な。but = except.

【考へ方】 who.....so は man を修飾する。

【譯】 何人も自分が幸福だと思はなければ幸福でない。自分を不幸にするには自分を不幸だと思ふ事より外に必要なものはない。

【重要語句】 wretched, miserable.

總 括

I. 文の基本的構造

- 第一型 主語 + 完全自動詞
- 第二型 主語 + 不完全自動詞 + 主語補語
- 第三型 主語 + 完全他動詞 + 目的語
- 第四型 主語 + 完全他動詞 + 間接目的語 + 直接目的語
- 第五型 主語 + 不完全他動詞 + 目的語 + 目的補語

II. 應用和文英譯問題 (I)

【注意】 この應用和文英譯問題は、第一章の英文和譯問題中に含まれてゐる構文、語句の應用として課したものであるから、問題を熟讀して果してその英文の應用となつて居るかを突き止めた上で、その根據となつて居る英文を更に熟讀した上で筆を執らなければならぬ。すなはち英譯にどりかゝつては、正確な英文を作ることは出来ない。この和文英譯をやつて見て初

めて英文の構造に習熟し得るのであるから、自分の作つたものと解答とを比較して非常な隔りを自覚する場合には、英文の讀み方が不十分である證據であるから、その場合には更に據り所となつて居る英文を吟味することが肝要である。和文を見て直に解答を見る事は絶対に禁物である。

[A]

1. 彼は餘り人を當にしたので失敗した。

人を當にする to depend on another, to rely on another, to count on another.

2. 金持必ずしも幸福でなく、貧乏人必ずしも不幸でない。

金持 the rich, 貧乏人 the poor. the + Adjective = Plural Common Noun.

3. 才幹のある人は無能の人を輕んじ易いものだ。

才幹ある人 a man of ability (talent), 無能の人 a man of no ability, ... し易い to be apt to.

4. その漁船は浪風のまにまに漂つて居た。

漁船 fishing-boat, 漂ふ to drift, まにまに、問題 5 参照。

5. 彼は勤勉によつて財産を拵へた。

.....によつて by dint of, by means of, 財産を拵へる to make a fortune.

6. 非常に咽喉がかわいた、何か冷い飲物を下さい。

咽喉がかわく to be thirsty, 何かつめたい飲物 something cold to drink, something, anything, everything, nothing には Adjective が後につくことに注意しなければならぬ。

7. 私の今日あるのは御親切の致す所です。

私の今日ある what I am to-day.

【考へ方】 この問題は「私は今日ある所のものを貴君の親切に負ふ」と考へるか「貴君の親切は私を今日ある所のものたらしめた」と考へることも一法である。

【注意】 かく日本文の意味を分解して英語の構文に當て既るやうに考へることは極めて大切な事である。

8. 君も君の兄さんも悪いのではない。

悪い to be wrong, to be in the wrong, to be to blame.

【注意】も.....も.....でない、については問題 4 参照。

9. 君か僕かどちらか行かなければならない。
どちらか either.....or.....
10. 間断なく働くに病気になる。
病気になる to get ill, to fall ill, to be taken ill.
〔注意〕 間断なくについては問題4参照。
【考へ方】 この問題は「働き過ぎると君自身を病気にさせると」考へてもよろしい。
11. 吾々には皆それ相應の務がある。
務 duty, それ相應の according to one's station in life.
12. 御指圖に従つて醫者に見て貰ひました。
御指圖に従つて according to your instructions, 見て貰ふ to consult a doctor.
13. 彼は眩暈を起し易い。
眩暈 giddiness, 易い to be subject to.
【考へ方】 起し易いといふのは眩暈に襲はれる意味であるから attacks of giddiness とするがよい。
14. 彼は何時もさうなんだ。
【考へ方】 この問題については問題10参照。
15. 停車場に着きやうが遅かつたので汽車に間に合はなかつた。
汽車に間に合ふ to catch the train, to be in time for the train.
【考へ方】 この問題は「汽車に間に合ふには餘りに遅く停車場に着いた」と考へればよい。
16. 私はがっかりして物が云へなかつた。
がっかりする to be disappointed, to be disheartened, to lose heart.
〔注意〕 to disappoint, to dishearten は他動詞であるからこの場合には Passive Voice を用ゐなければならぬ。
17. 折角の御招待ですが先約があつて御請け出来ません。
折角の御招待 your kind invitation, 先約 previous engagement, 請ける to accept.
〔注意〕 to receive は受取るであるからこゝには用ゐることは出来ない。
【考へ方】 この問題については問題13参照。
18. 例外のない規則はない。
例外 exception, 規則 rule.

- 【考へ方】 問題13参照。
18. 例外のない規則はない。
例外 exception, 規則 rule.
【考へ方】 問題19参照。
19. 金持だからと云つて遊んでゐてもよいと云ふ譯はない。
遊んでゐる to be idle, to lead an idle life.
【考へ方】 この問題については問題20参照。
〔注意〕 There is no reason why..... の型には should が伴ふことを忘れてはならぬ。
20. 雨模様だから傘をお持ちになつた方がよいでせう。
雨模様 It looks like rain. した方がよい had better+Root.
〔注意〕 had better の次には to を附けない。
21. 何時なりとお手傳致します。
手傳ふ to help.
【考へ方】 この問題については問題23参照。
22. 私は毎朝冷水浴をするから滅多に風を引きません。
冷水浴をする to take a cold bath, to bathe in the cold water. 滅多にしない。 seldom. 風をひく to catch cold, to take cold.
23. 意志の薄弱なものは何事にも成功しない。
意志の薄弱な人 a man of weak will, a weak-willed person. 成功する to succeed in.....
〔注意〕 to succeed in, to fail in と何れも in のつくことに注意しなければならぬ。
24. 彼は友を賣るやうな人間ではない。
友を賣る to sell a friend.
【考へ方】 この問題については問題24参照。

[B]

25. 餘り急いだので例の書類の這入つてゐる鞆を忘れて来た。一寸行つて取つて来て呉れ給へ。(昭和2. 愛知醫大豫科)
餘り急いだので to be in such a hurry that..... 例の in question, you know, 這入る to contain. 書類 papers, documents, 鞆 bag.
【考へ方】 「書類の入つてゐる」は「鞆」の修飾文句であるから Present

Participle を用ゐて the bag containing the papers とする。

26. も少しで船諸共になる所たつたが幸にも救助船が間にあつた。(昭和2. 熊本醫大豫科)

も少しで nearly, もろともに with, 幸にも fortunately, 救助船 life-boat.

【考へ方】 船もろともになるは船と共に沈むと考へればよい、間に合つたは間に合ふやうに來たと考へる。

27. 私は一昨日醫學校の前で彼の人に出會ひました。(昭和2. 京城醫專)

醫學校 a medical school, 一昨日 the day before yesterday.

【参考】 明後日 the day after to-morrow, 先日 the other day.

28. 露西亞語を知つてゐる日本人は少いが英語なら大抵の人が知つてゐます。(昭和2. 和歌山高商)

露西亞語 Russian, the Russian language.

【注意】 language を用ゐるときには必ず the を附し Russian だけのときには附けない、若し the Russians とすればロシア人となる。少い few, a few は少しはあると、ある方に重きを置く場合に用ゐる。

29. 中味を傷けずに箱を開けることは出来なかつた。(大正15. 横濱高商)

中味 contents 複數形を用ゐる、傷ける to injure.

30. 近來無線電信が盛んに使用されることになつたので國際關係は極めて密接になつて來た。(昭和2. 高松第二班)

近來 in recent years, 無線電信 wireless, wireless telegraph, 盛んに使用される to come into great use, a wide-spread use of....., 國際關係 international relations, 密接 close.

【考へ方】 この文は and か as を用ゐて譯すか或は第五型の應用として「近來無線電信の普及的使用が國際關係を非常に密接なものにした」と考へることも出来る。

解 答

[A]

1. He has failed by $\left. \begin{array}{l} \text{relying} \\ \text{depending} \\ \text{counting} \end{array} \right\}$ too much upon others.

2. The rich are not always happy, nor are the poor always unhappy.

【注意】 nor are the poor と are が Subject の前に來たのは nor があるためである。

3. A man of talent is apt to $\left. \begin{array}{l} \text{think meanly} \\ \text{make light} \\ \text{think light} \end{array} \right\}$ of a man of no ability.

4. The fishing-boat was drifting at the mercy of the wind and waves.

5. He has made a fortune by dint of industry.

6. I $\left. \begin{array}{l} \text{am} \\ \text{feel} \end{array} \right\}$ very thirsty; give me something cold to drink, will you?

7. a. I owe what I am to-day to your kindness.

b. Your kindness has made me what I am to-day.

8. Neither you nor your elder brother is to blame.

9. Either you or I must go.

10. a. If you work without stopping, you will get ill.

b. If you overwork yourself, you will make yourself ill.

11. We have our duty each according to his station in life.

【注意】 his を用ゐたのは each を用ゐたためである。

12. According to your instructions, I consulted the doctor.

13. He is subject to attacks of giddiness.

14. $\left. \begin{array}{l} \text{That} \\ \text{The same} \end{array} \right\}$ is always the case with him.

15. I reached the station too late to $\left. \begin{array}{l} \text{catch} \\ \text{be in time for} \end{array} \right\}$ the train.

【注意】 reach は他動詞であるから reached to としてはいけない、to を用ゐるなら got を用ゐて got to としなければならぬ。

16. a. I was too much disappointed to speak.

b. I was so much disappointed that I could not speak.

17. a. A previous engagement prevents me from accepting your kind invitation.

b. I am sorry to say that I cannot accept your kind invitation, as I have a previous engagement.

18. There is no rule but has exceptions.

19. a. There is no reason why a rich man should $\left. \begin{array}{l} \text{lead an idle life.} \\ \text{remain idle.} \end{array} \right\}$

b. I cannot see any reason why.....

20. As it looks like rain, you had better take your umbrella with you.

21. I am always **ready to** help you.
22. a. As I take a cold bath every morning, I **seldom** catch cold.
 b. I **make it a rule to take** a cold bath every morning, and so I seldom take cold.
23. A man of weak will not succeed **in** anything.
24. a. He **is above** selling his friends.
- 〔注意〕 selling と ing がついたのは above が Preposition であるから名詞形を取つてその Object とせねばならないから Gerund を用ひた。
- b. He is not a man to betray his friends.

[B]

25. I was **in such a hurry that** I have forgotten to bring the bag containing the papers **in question**. Just go and get it, *will you?*
26. We **nearly** went down with the ship, but fortunately the life-boat came **in time**.
27. *The day before yesterday* I met him in front of the medical school.
28. **Few** Japanese know Russian, but most of them know English.
29. I could not open the box **without** injuring the contents.
30. a. Wireless has **come into great use** in recent years, and consequently international relations have become extremely close.
 b. $\left\{ \begin{array}{l} \text{The} \\ \text{A} \end{array} \right\}$ wide-spread use of wireless telegraph in recent years **has made international relations** extremely close.

第二章 修飾語

第一節 主語修飾語

第一項 形容詞

【問題 26】 **This painful** sight deeply touched young Ashley, who *then and there* made up his mind to use all his power and influence *on behalf of the outcast and the unfortunate*.

【語句】 to touch = to move 動かす。influence. [influans] 勢力。then and there = on the spot 立處に、其場で。on behalf of = for the benefit of, in the interest of の爲に。the outcast = homeless and friendless persons 浮浪人。the unfortunate = unfortunate people.

【注意】 the outcast, the unfortunate のやうに形容詞に the を附けたものは普通名詞の複数と同様に取扱ふ。例: *The rich are not always happy.* 富める者必ずしも幸福でない。

【考へ方】 who から最後まで Ashley を修飾するのではあるがこの句は下から戻らずに上から読み下しにして and he として考へる方がよい。

【譯】 この痛ましい光景は青年アシュリをいたく感動せしめた。そこで彼は無宿者や不幸者のために彼の有する凡ゆる力量、聲望を利用しようとして立どころに決心した。

【重要語句】 then and there, influence, on behalf of, the outcast, the unfortunate.

【構文上の要點】 painful は Subject の sight を修飾して居る。

【問題 27】 *Quick as a flashing*, a **slender** boy with flashing eyes had taken the teacher's place at the door, for every pupil in the room had *risen to his feet* to escape as quickly as possible.

【語句】 quick as a flashing = as quick as a lightning (thought, wink) 電光石火の如く、瞬くまに。slender = delicate きやしやな。to rise to one's feet = to stand up 立ちあがる。to take the teacher's place 先生の代理を勤める。

【考へ方】 Quick as a flashing は文頭にあるが Predicate Verb である had risen を修飾し、with flashing eyes は Subject の boy を修飾する。

【譯】 眼のきらきら光つたきやしやな少年は電光石火の如く戸口の處で先生の代理を勤めた。こいふのは室内の生徒は皆立ち上つて出来るだけ早く逃げようとしたからである。

【重要語句】 quick as a flashing, to take one's place, to rise to one's feet.

【問題 28】 The **whole** world is engaged in the quest for happiness, but *judging by appearances*, very few succeed in their quest.

【語句】 in the quest for = in quest of = seeking 求めて, to be engaged in 従事して居る, judging by appearances of 外見から判断した所では。

【考へ方】 very few と few に a がついてゐないから極めて少いと打消しの意であるといふ事に注意しなければならぬ。

【譯】 世の中の人々は皆幸福を求めてゐるが、外見から判断した所では首尾よくこれを探し當てる人は極めて少いやうだ。

【重要語句】 to be engaged in, in the quest for = in quest of, judging by appearances.

【語誦】 **Do not judge by appearances.** 人を見かけで判断するな (人は見掛によらぬもの)。

【問題 29】 *From time to time*, a **particular** type of book will be found to be favoured by one publisher or another and the author may profitably *take advantage of* such increased interest in any subject.

— 昭和 2. 高校第二班

【語句】 from time to time = at times 時々, particular [pə'tɪkjələ] = special 特種の, to favour 歓迎する, publisher 出版者, author 著者, to take advantage of を利用する, につけこむ, profitably 有利に。

【考へ方】 will be found to be favoured 歓迎されると云ふ事がわかるといふのだから歓迎される様になるでよい, from time to time はこれにかかる。

【譯】 或る特種本は誰か或一人の出版者に歓迎される事が時々あ

る、そこで如何なる題目にもせよ、著者は其人気を利用して利益を得ることが出来る。

【重要語句】 from time to time, to take advantage of, to favour, particular, author, to increase.

【語誦】 **I took advantage of the fine weather to go hunting.** 好天気を利用して獵に出かけた。

【問題 30】 The **unequal** rapidity with which sound and light travel *accounts for* the following fact. From a distance a wood-cutter is seen chopping wood, or a mason cutting stone. We see the ax strike the wood, the mallet tap the stone, and some time after we hear the sound. — 昭和 2. 東京高師

【語句】 unequal 不揃な、一様でない, rapidity [rapidity] rapid の名詞、迅速, to account for = to explain, mason [mæsn] 石工, mallet [mælit] 槌。

【考へ方】 with which の which は the unequal rapidity を受ける。travel と accounts for と動詞が二つ並んで居るが前者には s がなく後者にあるところに着眼しなければならぬ。travel に s がないからこの Verb の主語は複数でなければならない、即ち sound and light がその主語であり、accounts の主語はこの文の主語である the unequal rapidity である。

【譯】 音と光の速度が一様でないので次の事實の説明がつく。遠方から樵夫(きり)が木を伐るのが見え、石工が石を切つてゐるのが見えるが、斧が木を打ち槌が石を叩くのが見えて暫くしてから音響が開えるのである。

【重要語句】 rapidity, to account for, mason, mallet, tap.

【語誦】 **There is no accounting for tastes.** = (We can not account for tastes.) 趣味といふものは到底説明が出来ない。(饕餮も好き好き)。

第二項 Phrase

【問題 31】 *Freedom of speech, freedom of the press, social enjoyments and privileges in every line of our civilized life* have all been won for the world by those who were *willing to labour unselfishly* for their fellow men.

【語句】 freedom of speech = free speech 言論の自由, freedom of the press 出版の自由, privilege [privilidʒ] = advantage 特権, line = direction 方面, to be willing to = to be ready to 進んで……する, fellow men 同胞。

【考へ方】 Subject は privileges まで, in every line of our civilized life は social enjoyments and privileges を修飾し, who were willing to ……men は those を修飾する。

【譯】 言論の自由、出版の自由、文化生活の各方面に於ける社交上の娯樂、特權は同胞の爲に我を忘れて働くことを辭さなかつた人達が社會のために獲得して呉れたものである。

【重要語句】 freedom of speech, freedom of the press, privilege, to be willing to.

【構文上の要點】 Phrase が主語修飾語の役目をする點。

【問題 32】 *Men of international reputation* who had tried their hand on the canal job had been featured in a *more or less* spectacular way by magazines and newspapers.

【語句】 international reputation 國際的盛名, canal [kənəl] 運河, to feature 新聞紙が特に人目を惹くやうに書く, more or less = somewhat 多少、いくらか, spectacular [spektækjulə] = magnificent [mægnifisnt] 壯觀な, to try one's hand on (at) = to take ……in hand 着手する。

【考へ方】 who had tried their hand on …… は men of international reputation (Subject) を修飾する。

【譯】 この運河開鑿事業に手を染めて國際的に盛名をさせた人士は幾分目覺ましく新聞雑誌に特筆されたものであつた。

【重要語句】 international, reputation, to try one's hand on, canal, job, to feature, spectacular.

【問題 33】 *The fondness for rural life among the higher classes of the English* has had a great and salutary effect upon the national character.

【語句】 rural life 田園生活, the higher classes = the upper classes 上流階級, the English = the English people 英國民, salutary [sæljutəri] = beneficial 有益な, to have effect upon = to have influence upon ……に影

響を及ぼす。

【考へ方】 Subject は fondness で for rural life はこれを修飾し, among the higher classes of the English は矢張り fondness を修飾してゐる。

【譯】 英國民の上流社會の田園生活に對する愛好の念は國民性に大なる好影響を及ぼしてゐる。

【重要語句】 rural life, to have effect upon, salutary, national character.

【語誦】 *Wine has a bad effect upon health.* 酒は健康に害がある。

【問題 34】 *A sound mind in a sound body* is a short but full description of a happy state in this world. He that has these two has little more to wish for, and he that wants either of them will be *but little the better* for anything else.

一大正 14 和歌山高商

【語句】 sound = healthy 健全な, description 記述、描寫, to have little more to wish for これ以上希望することは殆どない, but little the better 殆どそれがたのにそれだけに利益があるといふのでもない, the is to that degree それだけの意で Adverb である。例: Because he has faults, I do not respect him the less. 彼に缺點があるからと云つても私は矢張り彼を尊敬する。

【考へ方】 in a sound body は Subject である mind を修飾してゐる。he that has は前述の如く any one who has と同じ。for anything else は今缺けてゐるもの以外の物が何かあるとしてもそれがたのにの意で but little the better にかゝる。

【譯】 健全な身體に健全な精神を宿してゐるといふ事は現世に於ける幸福状態を簡潔ではあるが充分に表してゐる。この兩者を持つてゐる人は他に格別これ以上希望するものはなく、この兩者の一を缺く人はその外の何かあるとしてもそれがために格別それだけの利益があるといふ事にはならない。

【重要語句】 a sound mind in a sound body, description, state, to be but little the better.

【問題 35】 *The two most precious things on this side of the grave* are reputation and life. But it is to be lamented that the most contemptible whisper may *deprive us of the one*, and

the weakest weapon of *the other*. A wise man, therefore, will be more *anxious to* deserve a fair name than to possess it and this will teach him so to live as not to be afraid to die.

—大正 15. 神戸高商

【語句】 on this side of the grave=in this world この世で、現世での意味で beyond the grave, in the other world 彼の世でに對してゐる。it is to be lamented that=it is to be regretted that.....,といふ事は歎かしい事だ、歎かしい事だが.....である、contemptible [kəntəm(p)əbl] 詰らない、to deprive one of=to strip one ofから.....を奪ふ、the one... .., the other=the former.....the latter 前者、後者、この the one は reputation, the other は life を指す。to deserve [dizə:v] 當然受ける價值がある、so to live as not to be afraid to die=to live in such a way that he will not be afraid to die 死ぬのが悲しくない様に生活する。

【考へ方】 on this side of the grave は Subject の things を修飾する。it is to be lamented that の it は that 以下を指す。この部分は「歎かしいことには.....である」と that 以下を後廻しにして譯すがよい、of the other がこの問題では至難な點であるが前に the one とあるから the other と受けたのだと考へなければならぬ。deprive us of の of とあるのだから of the other の of も前の of と對等の關係にあることを看破しなければならぬ、即ち weapon の次に may deprive us を補つて見れば氷解する譯だ。so to live as not to be afraid to die も困難な處であるが so と as が對立してゐる事から直譯して見れば解つて來ると思ふ。この句は teach の Object となつてゐる。

【譯】 この世での最も貴重な二つの事は名聲と生命とである。けれども歎かしい事だがそんな詰らない私語でも名聲を奪ひ、そんな弱い武器でも生命を奪つて仕舞ふ。それ故に賢者は令名を所有するよりもこれを受ける價值ある身となる事を切望するのである、かくして死を怖れずに生きる術を學ぶのである。

【重要語句】 precious, on this side of the grave, it is to be lamented that, to deprive one of, the one.....the other, to deserve.

【語誦】 It is to be lamented that public morals are corrupt in Japan. 歎かしい事だが日本に於ては公德心が頹廢して居る。

第三項 Clause

【問題 36】 The first thing that men learned, as soon as they

began to study nature carefully, *was* that some events take place *in regular order*, and that some causes always *give rise to* the same effects.

【語句】 to take place=to happen 起る。in regular order=regularly 秩序整然と。to give rise to=to occasion 生ぜしめる、惹起する。

【考へ方】 that men learned は Subject の thing を修飾する Adjective Clause. as soon as they began to study nature carefully は learned を修飾する Adverbial Clause. was は Predicate Verb で that から最後までが was の Subjective Complement である。and の次には was を補つて見る。

【譯】 人間が丹念に自然を研究し始めるや否や學んだ最初の事柄は、或る出来事は秩序整然と起るといふ事、又物事の原因は何時も同一の結果を生ずるものであると云ふ事であつた。

【重要語句】 in regular order, to give rise to, events.

【語誦】 He who has no enemy has no friends. 敵なきものは友なし。

【問題 37】 *Those whose business it is to study the conditions of business life believe* that the worst is already passed and that a gradual improvement has begun.

【語句】 gradual 次第次第の、漸次の。the worst 不景氣の絶頂。improvement=betterment 改良、改善。

【考へ方】 whose business.....life は Subject の those を修飾する Adjective Clause, it は to study 以下を指す。その人の役目は實業家の生活條件を研究する事であるとなる。and の次には believe を補つて見る。

【譯】 實業界の事情を研究するこそをその役目とする人達は不景氣のどん底も下火となつて次第に景氣が持ち直して來たものと信じて居る。

【重要語句】 Those whose business it is to study.....

【問題 38】 The *people who try to change the government by force or by using such rough means as raising riots, mobs, or by using weapons, are* sure to fail and to receive severe punishment.

【語句】 government [gʌv(ə)nəmənt] 政體, to raise 起す。riot 暴動。

mobs 一揆。 means 手段。

【考へ方】 who try to change..... は Subject の people を修飾する Adjective Clause. such rough means as raising..... の as は such と一緒になつて「.....を起す様な暴力的手段を用ゐて居る」となる。 to be sure = surely 必ず.....する。

【譯】 暴力により或は暴動一揆を起すといふやうな穩かならぬ手段に訴へたり、さては武器を用ゐて政體を変更しようとする者は必ず失敗に終り嚴罰に處せられる。

【重要語句】 government, by force, such.....as....., to raise riots, mobs, weapon, to be sure to, punishment.

【問題 39】 Now the great and profound *mistake which this typical man makes in regard to his day* is a mistake of general attitude, a mistake **which weakens two-thirds of his energies and interests.** *In the majority of instances* he does not precisely feel a *passion for his business*; *at best* he does not dislike it. He begins his business functions *with reluctance*, as late as he can, and he ends them with joy, as early as he can. And his engines while he *is engaged in* his business are *seldom* at their full horse-power.

—昭和 2. 横濱高工。

【語句】 profound [prə'faund]=great 重大なる。 typical 典型的の。 in regard to=with regard toに就て。 attitude 態度。 in the majority of instances=in most cases 大概の場合には。 precisely [prɪ'sɪsli]=exactly 的確に。 not precisely..... 格別.....しない。 at best=after all 精々、つまり。 function 任務。 with reluctance=reluctantly, with a bad grace 嫌々ながら。 to be engaged in his business=to be at work. to be at full horse-power 全馬力を出す。

【考へ方】 which this typical man makes in regard to his day までは Adjective Clause で Subject である mistake を修飾し、a mistake which..... の mistake は前の mistake と同様。 not precisely feel..... は少しも感じないと全然否定するのではなく大して感ずるといふのではないと一部否定になる。

【譯】 さてこの代表的の人物が自分の一日の日程について犯す重大にして容易ならぬ過失は一般的態度に關する過で、自分の精力と興味との三分の二を殺ぐ過である。大概の場合に於て彼は自分の仕事

に格別情熱を感じない、高がそれを嫌はないと云つた程度だ。彼は出来る丈遅く濫々仕事を初め、出来る丈早くいそいそ仕事を切り上げて仕舞ふ。そして彼が仕事に従事してゐる間は彼の機械は滅多に十分馬力を出してゐることはない。

【重要語句】 profound, attitude, not precisely, at best, function, with reluctance, to be engaged in.

【問題 40】 The *man who is ashamed to wear Australian boots, or an Australian hat, or an Australian suit of clothes made of Australian cloth, is* really ashamed of Australia. And the *country which cannot supply its own needs, with its own labour, with all the raw material at hand, is* a country for which one has to blush.

—昭和 2. 神戸高工。

【語句】 a suit of clothes 衣服一揃 [coat (上衣)、waistcoat (チヨッキ)、trousers (ズボン) より成る]。 needs 必要、需要。 raw material 原料。 to be at hand=to be near at hand 手近にある。

【譯】 濠洲製の深靴、濠洲製の帽子、濠洲産の布で製造した濠洲製の服を着る事を恥する人は眞に濠洲を恥する人である。而して自國の勞力と手近にある原料を用ゐてその需要を充すことの出来ない國こそ恥すべき國である。

【重要語句】 to supply, raw material, to be at hand.

第四項 Infinitive

【問題 41】 The most important *thing to learn* in life is how to live. There is nothing men are so anxious to keep as life, and nothing they *take* so little *pains* to keep well.

【語句】 to be anxious to=to be eager to 熱望する。 to take little pains 餘り骨を折らない。『参考: to spare pains 骨を惜む。 painstaking work 骨の折れる仕事。』

【考へ方】 第一段 to learn といふ Infinitive は Subject の thing を修飾する。 第二段 men are so anxious to keep as life は nothing を修飾する。 so anxious to keep as life 生命は之を維持するに熱心な。 and の次には there is を補つて見る。 they take 以下も矢張り nothing を修飾する。 to

keep well の後に as life を補って見る。

【譯】 人生に於て學ぶべき最も重要な事は如何にして生活するか
ざいふ事である。生命程之を維持するに人間が熱中するものはない
し、又生命を立派に維持するためにこれほど骨を折らないものも
ない。

【重要語句】 There is nothing so.....as....., to take pains.

【問題 42】 The *desire to possess*, without being burdened
with the trouble of acquiring, *is* a great sign of weakness and
laziness. Everything that is worth enjoying or possessing
can only be got by the pleasure of working.

【語句】 to burden = to encumber 悩ます。worth enjoying 享樂する價
値のあるもの。

【考へ方】 第一段 to possess は Subject の desire を修飾し、with-
out being burdened with the trouble of acquiring は possess を修飾する。
第二段 that is worth enjoying or possessing は everything を修飾してこ
こまでが can be got に對して Subject になつてゐる。

【譯】 手数をかけないで所有しようざいふ慾望を起すのは薄志弱
行且つは懶惰の有力な證據だ。苟くも享樂し所有する價值のあるも
のは勤勞を楽しんで初めて手に入れることが出来るのである。

【重要語句】 worth enjoying.

【問題 43】 A most curious and useful *thing to realize is* that
one never knows the impression one is creating on other
people. One may often guess pretty accurately whether it is
good, bad or indifferent; but that is not what I mean. I mean
more than that. I mean that one has one's self no mental pic-
ture corresponding to the mental picture which one's person-
ality leaves in the minds of one's friends.

【語句】 to create [kriéit] = to give rise to, to occasion 起す、生ず。
accurately [ækjuritli] = precisely, exactly 正確に。indifferent [indifrant],
neither good nor bad 可もなく不可もない。mental picture = mental image
心象。to correspond to..... [kərispənd]に相應する。personality 人

格。『参考: character 品性。』

【考へ方】 第一段 to realize は Subject の thing を修飾する。one は
a man の意。that.....on the other people は is の Subjective Comple-
ment となつてゐる。one is creating on other people は knows の Object
である impression を修飾してゐる。第二段 whether it is good, bad or
indifferent は guess の Object であり、corresponding は no mental
picture を修飾し、which one's personality..... は the mental picture に
かゝる。

【譯】 非常に奇妙な有益な事で了解して置かねばならぬ事は、人
は他人に如何なる印象を興へてゐるかは到底解らないざいふ事であ
る。それが善い印象であるか悪い印象であるかそれとも可もなく不
可もないものかは可なり確に推量出来る事も往々あるたらうが、そ
れは私の云はうさずる事でない。私の云はうさしてゐる事はそれ以
上の事だ。私の云はうさずるのは人は自ら自分の人格が友人の精神
に残す心象に相應する心象は全然持たないざいふ事である。

【重要語句】 curious, to realize, to create, accurately, indifferent,
mental picture, to correspond to, personality.

【問題 44】 The great *thing for us to keep in mind* when a life
storm breaks *is* that *no matter how violent*, it is only tem-
porary, and that behind the clouds the sun is always shining.

—昭和 2. 神戸高工

【語句】 to keep in mind = to bear in mind, to remember 心に留める、
念頭に置く。例: You must *keep it in mind* that health is better than
wealth. 健康は富に勝るといふ事を忘れてはならぬ。no matter how violent
= however violent it may be どの様に激しくとも。例: *However learned*
you may be, you must not be proud of it. どの様に學問があつても自慢し
てはならぬ。temporary [tɛmpərəri] permanent (永久の) に對する語、一
時の。『参考: temporal は spiritual (精神的) に對する語、浮世の。』

【考へ方】 to keep in mind は Subject の thing にかゝるのであるが
for us を「吾々が」と主語のやうに考へてそれに對する動詞の様に譯せばよい。
when a life storm breaks は to keep in mind にかゝる。こゝまでが全體
の主語となり is が Predicate Verb that.....temporary は Subjective
Complement, no matter how violent (it may be を補ふ) は is temporary
を修飾する。and that の that の前には is が省略されてゐて、この that は

前の that と對等の關係を示してゐる。

【譯】 人生の嵐が起るとき吾々が念頭に置かなければならぬ大切な事は、その嵐は如何に激しくとも一時的のものに過ぎなくて、雲の蔭には太陽が常に輝いてあると云ふ事である。

【重要語句】 to keep in mind, no matter how violent it may be, temporary.

【問題 45】 The universal *necessity* of human labour to change the raw materials given us by nature into articles serviceable to life and enjoyment *makes* work an essential branch of human conduct. Regular meals, comfortable homes, knowledge, civilization, all are the fruits of work. And unless we contribute our part to the production of these goods, we have no moral right to be partakers of the fruits. "If any will not work, neither let him eat."
—昭和 2. 山梨高工

【語句】 universal [ju(:)ni:vəl:səl]=general 一般の, human labour 人力, raw material 原料, serviceable [sə:visəbl]=useful 役に立つ, essential [isənʃəl]=indispensable 必要不可欠, conduct 行爲, to contribute [kəntribju:t]=to make a contribution to, to render services to 貢献する, part=duty 役目, production=manufacture 製造, goods=articles, partaker [pɑ:téikə] 關係者。

【考へ方】 第一段 to change は human labour を修飾し, give us by nature は materials にかゝり, change は into に續く, serviceable to life and enjoyment は Articles にかゝる, makes は necessity に對する Predicate Verb, an essential branch of human conduct は make の Object である work を修飾する Objective Complement である, 第二段 all は前に述べてある四つの名詞を受けて居る, to be partakers of the fruits は moral right を修飾する。

【譯】 自然が人間に與へる材料を變じて生活享樂等に有益な物品とするにはなべて人間の勞力を必要とするから、勤勞と云ふ事は人間の行爲中不可欠な一部門をなすのである。三度の食事、愉快な家庭、知識、文明、これ等は皆勤勞の成果である。そして吾々がこれ等の物品の製造に應分の役目を果さなければ、これ等の成果の

干與者たる道徳的權利はないのである「若し何人たりとも働くことを欲しなければ彼に食も與へるな」。

【重要語句】 universal, human labour, serviceable, essential, conduct, civilization, to contribute to, part, production, partaker.

第五項 Participle

【問題 46】 The *productions brought* into a country are termed its imports, while *those sent out* are known as exports. *In the long run* the imports and exports of a country *tend to* balance each other.

【語句】 productions=products 生産物, to term=to name, imports [impɔ:ts] 輸入品, 『参考: exports [ékspɔ:ts] 輸出品, in the long run = in the end, after all 結局, to tend to.....,に傾く, to balance [bæləns] 釣合ふ、均衡を保つ。

【考へ方】 brought は Subject の productions を修飾する, brought の前に which are を補つて見る, those の次に productions を補ふ, sent out は those にかゝりその前に which are を補つて見る。

【譯】 一國に持ち込まれる生産物は輸入品と稱せられ、持出される品は輸出品として知られてゐる。然し結局の處一國の輸入品と輸出品とは相互に均衡を得ようとする傾向がある。

【重要語句】 to term, imports, exports, in the long run, to tend to.

【問題 47】 An *Englishman revisiting* England after a long lapse of time *cannot fail to* be struck by the great contrast between an English Sunday *as it is now*, and *as it was* some twenty years ago.

【語句】 to revisit=to visit again, lapse 經過, cannot fail to=to be sure to 必ず.....する, contrast 對照、相異, as it is now, it は English Sunday を受けて「現在のやうな」の意, some=about.

【考へ方】 revisiting と云ふ Present Participle は Englishman を修飾し, time までが cannot fail に對して Subject となる, contrast は between.....andと續く。

【譯】 永い年月の間を置いて再び英國を訪れる英人は現在の英

國の日曜さ過去約二十年前の日曜さの間に非常な相違のあることを必ず感ずるであらう。

【重要語句】 after a long lapse of time, cannot fail to, the contrast between.....and....., as it is, as it was.

【問題 48】 The *life-stories* of successful men given in this book, and of many others who might be mentioned, show us what may be done by right character, by hard work, and by being ready for an opportunity when it comes.

【語句】 life-stories = biographies 傳記, to mention 述べる。

【考へ方】 given といふ Past Participle の前には which are を補つて見る、この語は life-stories といふ Subject を修飾してゐる。and of の of の前には the life-stories が省けてゐる。初めから mentioned までが全體の主語で「次の事を吾々に示す」となるのだが、これも「.....の事で次の事がわかる」と譯すがよい。show の Object は us と what may.....when it comes までであるが what は may be done に對して Subject になつてゐる。

【譯】 この本の中に擧げてある成功者の傳記やまた外にも述べようとおもへば述べ得るが、さうした人達の傳記を見れば正しい品性により、勤勉により又機會が來た時に逸することがないやうにしてゐれば如何なる事が出來得るかといふ事が解る。

【重要語句】 life-story, to mention.

【問題 49】 The beginning of most inventions is very remote. The first *idea*, born within some unknown brain, passes thence into others, and at last comes forth complete, after a lapse, it may be, of centuries. One starts the idea, another develops it, and so on progressively until at last it is elaborated and worked out in practice.

一昭和 2. 廣島高工

【語句】 inventions 發明, remote [rimóut] 遠い昔の, brain 腦, it may be = perhaps, and so on かくして進んで行く, elaborate [ilæbərɪt] 丹精して仕上げる、完成する, until..... 遂に.....に成る, to work out = to effect by labour 苦心して成就する, practice 實行。

【考へ方】 born は Past Participle でその前に that is が省かれてゐる、そして Subject である idea にかゝる。

【譯】 大概の發明の源泉は遠いものた。或る誰とも知れぬ人の頭

の中に生れた最初の觀念がそこから他の人の頭に這入り、かくして遂に多分幾世紀かを経過して完全なものとなつて出て來る。(つまり)一人がその觀念の端緒を捉へ他の一人が之を發展させ、そして次第に進歩して遂に丹精の結果仕上げて實行されるやうになるのである。

【重要語句】 remote, to elaborate, to work out.

【問題 50】 The eye disease caused by the want of vitamine "A" is particularly prevalent in Japan. It can therefore be appreciated how important to the country is the work which has been done at the Tokyo Institute of Physical and Chemical Research, and which has led to the isolation of this vitamine from cod-liver oil and also from green leaves.

一昭和 2. 福井高工

【語句】 to cause = bring out 惹き起す, prevalent [prévalənt] = prevailing 流行せる, to appreciate [əprɪ:ʃieɪt] 有意味を知る, the Tokyo Institute of Physical and Chemical Research 東京理化學研究所, research [rɪsə:tʃ] 研究, isolation [aɪsələiʃən] 遊離, led, lead の過去, cod-liver oil 肝油 (cod 鱈, liver 肝臟)。

【考へ方】 第一段 caused は disease を修飾する Past Participle でその前に which has been が省れてゐる。第二段 it can therefore be appreciated の it は how important to the country is the work..... を指す、which は兩方とも work を修飾する。

【譯】 ヴイタミン A の缺乏から起る眼病は特に日本に流行してゐる。それ故東京理化學研究所の手に成つた事業即ちヴィタミン A を肝油及び綠葉から分離することに成功したことは日本にさう如何に重要なものであるかわかる。

【重要語句】 eye disease, to cause, prevalent, institute, research, physical, chemical, isolation, appreciate.

第二節 述語修飾語

第一項 Adverb

【問題 51】 At the start opportunities are rarely striking or

promising; they are often very small gates into *what appears to be very small fields of action*. —大正 12. 福島高商

【語句】 at the start = at the beginning. striking 目立つ。promising = hopeful, full of hope 末頼もしい。例: *a promising young man = a young man of promise*. 前途有望の青年。field of action = a sphere of action 活動舞臺。

【考へ方】 into what appears to be very small fields of action は gates を修飾する。

【譯】 初めは機会さいふものは大して目立つたり末頼もしいさいふやうな事は減多にない。それは極めて小範圍の活動舞臺の觀を呈するものに這入る極く小い門戸である事が往々にしてある。

【注意】 rarely は「減多にない」と否定に譯す、rarely often の如き Adverb は日本文としては譯に示してある様に後につけるがよい。

【重要語句】 at the start, striking, promising, field of action.

【問題 52】 He may well be described as a born inventor, a man with a natural passion for invention.

【語句】 may well …… するのも尤だ。to describe 述べる、稱する。born inventor 生れ乍らの發明家。natural passion for invention 發明に對して生れ乍ら熱心である事。

【考へ方】 may well の構文に特に注意しなければならぬ。a man with a natural passion for invention は inventor と同格。

【譯】 彼は生れながらの發明家で、發明に對しては生來熱情を有する人であること云はれてあるが尤もなことである。

【重要語句】 may well, to have a natural passion for.

【注意】 この構文は He is described as a born inventor, a man with a natural passion for invention, and well he may. の型で出て来る事もある。

【問題 53】 The exchange of productions is *carried on*, therefore, **primarily** for profit, but it **finally results in** the world's population having a common enjoyment of the necessities and luxuries of life.

【語句】 exchange 交換。productions = products 生産物。to carry on 營む。primarily = chiefly 主として。to result in = to end in 結果として…

…になる。population 人口、こゝでは inhabitants (住民)の意。common 共通の。necessaries 必需品。luxuries 贅澤品。

【考へ方】 therefore は前の文を受けて「それ故」になる。the world's population は in の Object になるのであるがその後に来る having a common enjoyment…… の having に對しては意味の上での主語となる。of the necessities and luxuries of life は enjoy する内容を示す。

【譯】 それ故に生産物の交換は主として利益を得る爲に營まれるものではあるが、結局世界の住民が生活上の必需品及び贅澤品を共享樂する事になるのである。

【重要語句】 to carry on, population, common, necessities and luxuries of life, to result in.

【問題 54】 Every class **doubtless has gained largely** by this great moral change, but the class which **has gained most** is the poorest, the most dependent, and the most defenceless-gained = benefited. —昭和 2. 東京外語

【語句】 largely = greatly 大いに。dependent 從屬的。『参考: independent 獨立の。defenceless 保護するもの、ない。』参考: to defend 保護する。

【考へ方】 which has gained most が class を修飾してこゝまでが is に對して Subject となつてゐる、the dependent, the defenceless の次にはそれぞれ class を補つて見る。

【譯】 どの階級もこの道徳的變化で大に得る所があつたのは疑ひのない所である、然し得る所の最も多かつたのは赤貧洗ふ如き人達、一人立ちの出来ない連中、全然よるべない手合である。

【重要語句】 largely, defenceless.

【問題 55】 We read **very slowly** when the language is **imperfectly mastered** and we need the dictionary, whereas in the native tongue we see the whole page **almost at a glance**, as if it were a picture. —昭和 2. 三重高農

【語句】 to master = to have good command of 熟達する、精通する。whereas [wəˈɜːrəz] 然るに、at a glance 一目で、native tongue = mother tongue 母國語。『参考: foreign tongue 外國語。as if 恰も。』

【考へ方】 imperfectly は mastered にかゝる、whereas は前の事と後の事との比較対照を示してゐる。

【譯】 一國語に充分習熟してゐない時には本を読むことが非常に遅く辭書を要するものであるが、母國語に於ては繪か何かのやうに頁全體が殆ど一目に見える。

【重要語句】 to master, native tongue, at a glance.

第二項 Phrase

【問題 56】 **In an instant**, all the little faults, for which she had so often reprov'd me, *rushed* upon my mind.

【語句】 in an instant=instantly, in a moment 忽ち。to reprove 叱る。to rush upon my mind=to flash into my mind 急に心に浮ぶ。

【考へ方】 which は faults を受け she had reprov'd me for the faults (私の過失をよく叱つたものだ) の faults が前に出てゐるから、for which となつたのである。

【譯】 彼女がよく私を叱つたあの凡ゆる小さな過失の數々が忽ち私の心に浮んで來た。

【重要語句】 in an instant, to reprove, to rush upon one's mind.

【問題 57】 **Even in the face of disappointment, failure, and ridicule**, the young Jew never lost faith in himself, never *swerved* in his purpose to be the great political leader of England.

【語句】 in (the) face of=in spite of, ……を無視して、にも拘らず。disappointment=despair 絶望。ridicule=derision, mockery 嘲笑、嘲弄。Jew ユダヤ人。to swerve=to turn aside 反れる。political 政治上の。

【考へ方】 never swerved の Subject は, the young Jew, to be the great political leader of England は his purpose を修飾する。

【譯】 失望、失敗、嘲弄に直面しても尚ほ且つこの若いユダヤ人は決して自己に対する信念を失はず、英國政界の指導者たらんこの目的を轉すやうな事は決してなかつた。

【重要語句】 in the face of, to swerve in one's purpose, political.

【問題 58】 **After a battle** men *celebrate* the deeds of the

leaders in the fight; but there has been just as much bravery among the privates whose names are never heard out of their own little circle, and the fortune of the day *depended as much upon their courage, as upon the ability of the general in command.*

—大正 14. 海軍兵學校

【語句】 to celebrate [sɛlibreit]=to praise 稱揚する。private=common soldier 兵卒。circle 集團。fortune of the day 勝敗の運命。in command 指揮の。

【考へ方】 after a battle といふ Adverbial Phrase は celebrate を修飾する、little circle の次に as among the leaders in the fight を補つて見る。

【譯】 戦後世人はその戦闘に關係した指揮官の行動を稱揚するが、彼等仲間の小範圍外にはその名も聞かれない兵卒にも指揮官に少しも劣らないほどの勇氣があつたのである、そしてその戦の勝敗の數も指揮する將軍の手腕によると同様に彼等兵卒の勇氣にも依つたのである。

【重要語句】 to celebrate, private, the fortune of the day, in command.

【問題 59】 **At length** he *discerned*, a long distance in front of him, a moving spot, which appeared to be a vehicle, and it *proved to* be going the same way as that he himself was journeying.

—大正 15. 高校第二班

【語句】 at length 遂に。to discern [dizɔ:n]=to make out, to spy 見分ける、見付ける。vehicle [vi:(hi)k!] 車。to prove to=to turn out to ……である事がわかる。

【考へ方】 at length, a long way in front of him は何れも discerned を修飾する。a moving spot は discerned の Object, which は spot を受けるのであるが、かゝる場合には下から戻らずに上から読み下しにして and it と解すべきである。

【譯】 遂に彼は前方遙かに一點の動いてゐるものを見つけたのであるが、それは車のやうに見え、自分が行く方向と同一方向に行くことがわかつた。

【重要語句】 at length, vehicle, to discern, to prove to.

【問題 60】 Every bird, beast, fish, and insect is *guided through life by movements within itself* to which we give the name of instincts. Not one of all these creatures ever stops to argue about its instincts. Not one of them ever *dreams about doubting its instincts*. They all do what they do because it is in them to do those things. Man, too, has these instincts. He *does* hundreds of things *without thinking why*. In many ways he *is* an animal, and *lives by animal instincts*; but there is something in him which cannot remain satisfied *with an instinctive life*. This something extra is called either the Reason or the Soul; the name does not greatly *matter*. The first thing we have to do is to understand the fact that in man there is a force which uses the brain to give it a power utterly unknown among other creatures.

—大正 12. 高校

【語句】 instincts 本能。to argue 論議する。to dream about doubting 疑ふ事について夢見るとは「夢にも疑はぬ」の意。to stop to..... 退いて..... する。it is in them to do....., することは天性である。extra 餘分の。in many ways=in many points 種々の點に於て。to matter=to be important 重大なる關係がある。utterly 全然。

【考へ方】 第一段 through life は guided を修飾し、within itself は movements にかゝり、which は矢張り movements を受ける。not one of them ever dreams の not ever で never と同じ意味となる。what they do は they all do の do の Object である。第二段 which は something を受ける、we have to do は thing を修飾し、こゝまでが is に対して Subject となる。the fact は understand の Object で that 以下は fact の内容を示し、which uses the brain to give..... は force を修飾し、it は brain を指す。

【譯】 凡ての鳥、獸、魚、虫は生涯吾人が本能と命名する内部の運動によつて行動する。此等の動物は只の一匹たりとも決して本能について退いて論議するものなく、又その本能の存在を夢にたも疑ふものもない。彼等が爲すべきことをなすのはそれをなすのが彼等の

天性であるからである。人間にも亦これ等の本能がある。人間は幾百の事をなすがその理由は考へない。幾多の點に於て人間は一個の動物であり動物本能によつて生活する、けれども人間の内部には本能的生活には満足して居られない或物がある。この特別の或物を理性と精神とを稱してゐるが名稱は大した問題ではない。先づ第一に吾人がなさねばならぬことは人間の内部には他の動物には全然ない能力を與へるために腦を使用する力が存するといふ事實を理解することである。

【重要語句】 instinct, to stop to, to argue, extra, to matter, brain, utterly.

第三項 Clause

【問題 61】 *If some of the blood of a tired horse is injected into the veins of a fresh one, the latter will exhibit the same symptoms of fatigue as the former.*

【語句】 to inject [injekt] 注射する。vein=blood vessel 血管。the former.....the latter=the one.....the other, 前者.....後者。to exhibit [igzibit]=to show, to display, 示す、表はす。symptoms [símptəmz] 徴候。fatigue [fati:g] 疲勞。

【考へ方】 one は horse を指す、the latter は fresh horse を指し、the former は tired horse を指す。

【譯】 疲勞した馬の少量の血液を元氣な馬の血管に注射すると、元氣な馬も疲勞した馬と同様に疲勞の徴候を表す。

【重要語句】 to inject, vein, the former...the latter, to exhibit, symptom, fatigue.

【問題 62】 *If you have any fault to find with anyone, tell him, not others, of what you complain; there is no more dangerous experiment than that of undertaking to be one thing before a man's face and another behind his back.*

【語句】 to find fault withを非難する、咎める。to complain=to express dissatisfaction with 不平を云ふ、苦情を云ふ。experiment=trial 實驗。↑参考: experience 經驗。to undertake=to attempt 企てる。to be

one thing before a man's face and another behind his back 人の面前と人の背後で表裏のあること。

【考へ方】 第一段 not others は do not tell others の略で what you complain は of の Object である。第二段 that of は the experiment of と見ればよい。

【譯】 誰かに苦情を云ふ事があるときには外の人に話さないでその當人に話しなさい。人の前と後で裏表のある程危険な事はない。

【重要語句】 to find fault with, to complain, experiment, to be one thing before a man's face and another behind his back.

【問題 63】 When we read we may *not only* (if we wish it) be kings and *live* in palaces, *but*, what is far better, we may *transport* ourselves to the mountains or the seashore, and visit the most beautiful parts of the earth, without fatigue, inconvenience, or expense.

【語句】 not only.....but.....のみならず.....も, what is far better それよりもずっとよい事には。『参考: what is worse 尚悪い事には、泣き面に蜂。to transport [træns'pɔ:t] = to convey, to carry 運ぶ。inconvenience [inkənvi:njəns] 不便。『参考: convenience 便利。

【考へ方】 if we wish it は be にかゝる。what is far better は transport を修飾する。

【譯】 吾々が讀書する時は希望しきへすれば單に王者になつて宮殿に住めるばかりでなく、尙結構なここには山や海岸に行つて地球上の絶景を訪ねて疲労も感ぜず、不便もなく、費用もかからずにするのである。

【重要語句】 what is better, to transport.

【問題 64】 As every climate has its peculiar produce, our natural wants *bring* on a mutual intercourse, so that *by means of* trade each distant part is *supplied with* the growth of every latitude.

—大正 12. 高校

【語句】 climate 氣候, produce [prɔ:dju:s] 産物。『参考: produce [prɔ:dju:s] 産する。natural wants 自然の不足物, to bring on = to give rise to 惹起する。mutual intercourse お互の交際。by means of = by.....,

.....によつて。growth = produce 産物, latitude 緯度、帯(熱帯、温帯などの)。『参考: longitude 経度。

【考へ方】 as every climate has its peculiar produce, といふ Adverbial Clause は bring on にかゝる。by means of trade は is supplied を修飾する。

【譯】 風土の異なるにつれてそれぞれ獨特の産物があるので我々は自然的に物資の缺乏を來しこれが相互交際の原因となる。斯くして貿易により各々遠隔なる地方も各經度に於ける生産物を供給されるのである。

【重要語句】 produce, to bring on, mutual intercourse, not only... but....., to supply... with....., latitude.

【問題 65】 We are fond of *looking to the future*, because our secret wishes make us apt to turn in our favour the uncertainties which move about in it hither and thither.

—大正 15. 高校第一班

【語句】 to look to = to look forward to 待ち設ける。in one's favour 都合のよいやうに。uncertainty 不確實。hither and thither = here and there あちこちに。

【考へ方】 because 以下の文は are fond of を修飾する Adverbial Clause, この Adverbial Clause を分解すると 1. Subject—our secret wishes, 2. Predicate Verb—make, 3. Object—us, Objective Complement—apt to..... となるが turn の Object は uncertainties. which move は uncertainties を修飾する Adjective Clause, it は future を受ける。

【譯】 吾々は未來に望みをかけたがる。さ云ふのは、人の隠れた希望(望)が未來の内をおちこち動いてみてまた定まらぬ事をも自分の都合の好い様にしようとする傾きがあるからである。

【重要語句】 to look to, to turn in one's favour, uncertainties, hither and thither.

第四項

Subjective Complement を修飾するもの

【問題 66】 The telegraph and the telephone are *inventions for which we ought to be very thankful*, for one enables us quickly to send messages to a long distance, and the other gives

us the power of speaking to others a long way off.

【語句】 one.....the other!.. 一つは.....も一つは.....。 message 通信、消息。『参考: messenger 使者。 to be thankful for = to be grateful for 有難く思ふ。』

【考へ方】 for which の which は Complement であつて inventions を修飾してゐる。for のあるのは thankful があるからで thankful for とつづく。one は telegraph を指し the other は telephone を指してゐるから前に述べてある the one (the former) the other (the latter) を用ひてもよい所である。

【譯】 電信及電話は吾々が大いに感謝しなければならぬ發明である、さういふのは前者の御蔭で迅速に消息を遠方に傳達することが出来、後者の御蔭で遠方の人と話し得る能力が與へられるからである。

【重要語句】 one.....the other, to be thankful for.

【構文上の要點】 Clause が Subjective Complement を修飾する點。

【問題 67】 Patience is a *virtue which we are called upon to practise throughout life*, and without it no moral excellence can be attained.

【語句】 patience = perseverance. to call upon to = to require 要求する, excellence = superiority, pre-eminence 卓越, 傑出, moral excellence = virtue 徳。

【考へ方】 which we are called upon to practise throughout life は Subjective Complement である virtue を修飾し、which は practise の Object の役をなしてゐる。which.....life までは Adjective Clause, it は patience を受ける。

【譯】 忍耐は吾々が終世實行を要求される一の道德で、これを缺いては如何なる徳も身に備へる事は出来ない。

【重要語句】 patience, to call upon to, moral excellence.

【問題 68】 *By far* the greatest number of successful men have become such *through* their own hard labour. They were *men who had their own purpose in life, and courage and will to follow it in spite of every hardship in their way.*

【語句】 by far 遙に(比較級、最大級を修飾する), such = successful men, through = by dint ofによつて,の力で, in one's way 行手の、邪

魔になる。

【考へ方】 which had their own purpose in life..... は Subjective Complement である men を修飾してゐる、courage and will は had の Object, to follow は courage and will を修飾してゐる。

【譯】 成功者の中で自らの努力によつて成功を贏ち得たものが最も多い。彼等は獨自の人生の目的を有し、行手を遮るあらゆる困難を物ともせず之を追求しようといふ勇氣と意志とを有してゐたのである。

【重要語句】 by far, in spite of, in one's way.

【問題 69】 The newspaper is *the source from which the public derives its knowledge of the facts*. It can educate the people by its comments on events as they occur, and by its discussion of public questions. It claims for itself great rights and privileges—practically unrestrained free speech and reduced postage, among them. Its powers and privileges carry with them great responsibilities, for it can lead or mislead the public.

—昭和 2. 神戸高商

【語句】 to derive = to get, to obtain 得る, comment [kóment] = criticism 批評, privilege 特權, unrestrained 抑制されない (un = not, restrained 抑制された), responsibility [risponsabiliti] 責任, to mislead = to lead astray 誤る。

【考へ方】 第一段 from which.....of the facts は Subjective Complement である、source を修飾する Adjective Clause, as they occur の they は events を指す、事件が起るに従つて、by its discussion の by は前行の by と同一の關係を表はす。第二段 for itself 自らの(新聞紙の)ために、practically.....among them は rights and privileges と同格。

【譯】 新聞は公衆が事實の知識を得る源泉である。新聞は事件が起るをこれを論評し又公共問題を論議して世人を教育することが出来る。それは大なる權利と特權とを自ら要求するもので、即ち實際上の無制限な言論の自由と郵税の割引とはこれに屬する。(従つて)その力と特權には大なる責任が伴ふものである、何となれば新聞は公衆を善導することも出来るし、或は誤る事も出来るからである。

【重要語句】 to drive, comment, to claim, privilege, responsibility, to mislead.

【問題 70】 The most perfect and best of all characters, *in my estimation*, is *his who is as ready to pardon the moral errors of mankind* as if he were every day guilty of some himself, and at the same time as cautious of committing a fault as if he never forgave one.

—昭和 2. 横濱高商

【語句】 in my estimation = in my opinion, to my thinking 私の意見では。to be guilty of 犯す(罪を)、覚えがある。to be cautious [kɔ:ʃəs] of = to be prudent 用心深い。to commit a fault 過失を犯す。

【考へ方】 his は character を省略したものである。who 以下は his character の中に含む he を修飾して居る、これは the character of one として見ればよい、as if he were.....himself は as ready を修飾し、as cautiousa fault は who is の is にかゝり、as if.....one は as cautious を修飾する、one は fault を指す。

【譯】 凡ての品性の中で最も完全最上のものは、私の考へでは、恰も自分が何かしら罪の覚えがあるかのやうに人間の道徳上の過失を何時でも許してやると同時に、恰も一切過失を許さぬかの如く之を犯すまいと慎重の態度をこる人の品性である。

【重要語句】 in one's estimation, to be cautious of, mankind, to commit fault.

第五項 Object を修飾するもの

【問題 71】 An importer will only bring into his own land the *articles which are in demand, and which he can sell at a profit*.

【語句】 to be in demand [dimə:nd] = to be wanted by many 需要がある。to sell at a profit = to make a profit by selling 利益があるやうに賣る、賣つて儲ける。

【考へ方】 which are in demand, which he can sell at a profit 何れも bring の Object である articles を修飾して居る。

【譯】 輸入業者は自國に需要があつて賣つて儲かる品物だけを自

國に輸入する。

【重要語句】 to be in demand, to sell at a profit.

【問題 72】 Similarly an exporter will only send to foreign lands those *commodities which are in request there, and which will yield a profit equal to or greater than that which he can gain at home*.

【語句】 similarly [sɪmɪləli] 同様に。『参考: similarity [sɪmɪləriti] 同様。commodity [kəmɒditi] = article 物品。『参考: the prices of commodities 物價。to be in request = to be in demand 需要がある。to yield = to produce 生ずる。『参考: to yield to despair 失望する。to yield to temptation 誘惑に負ける。at home 自國で。

【考へ方】 which は前の二つとも commodities を修飾し、equal to or greater than..... は profit を修飾する、that = the profit.

【譯】 同様に輸出業者は外國に於て需要があり、自國に於けるさ同じかそれ以上の利益がありさうな物品だけを輸出する。

【重要語句】 similarly, to be in quest, commodity, to yield a profit.

【問題 73】 Most large cities have an art gallery or a museum *where pictures and objects of interests are kept*. As a rule these places are *opened to the public* on certain days and evenings, *free of charge*. A visit to one of them *now and then* will *prove a delightful as well as wholesome recreation*.

【語句】 art gallery 美術陳列館。as a rule = usually 一般に。to be opened to the public 公開される。例: The library which is now under construction is expected to be opened to the public in October at the latest. 目下建築中の圖書館は遅くとも十月には公開される見込である。free of charge 無料で、as well as.....,と同様に。wholesome 健全な、有益な。recreation [rekri:ʃən] 氣晴し、休養。『参考: recreation [ri:kri:ʃən] 改造。

【考へ方】 where pictures and objects of interest are kept は have の Object である art gallery or a museum を修飾する。delight の次には recreation を補つて見る。

【譯】 大概の大都市には繪畫や参考品の保管してある美術品陳列

館や博物館がある、一般にかうした場所は一定の日を限つて晝夜共無料で公開されてある。時々かうした所に行つて見るのも健康上は勿論愉快的な氣晴になるものだ。

【重要語句】 art gallery, as a rule, to open to the public, free of charge, to prove, wholesome, recreation.

【問題 74】 History brings to light the thread which unites each particular stage in the career of a people, or of mankind as a whole, with what went before, and with what came after.

—大正 13. 高橋

【語句】 to bring to light 明みに持ち出す、明かにする。例：As comets are sometimes revealed by eclipses, so heroes are brought to light by sudden calamity. 彗星が日蝕によつて現はれる事があるやうに英雄は不時の災害によつて現はれるものだ。thread 連鎖, stage 時代, career [kæriə] 経歴, 道程, mankind as a whole = mankind in general, mankind at large. 全體としての人類。

【考へ方】 the thread は brings の Object, which came after は thread を修飾し、これを分解すると which が Subject で unites が Verb, each.....as a whole は unites の Object, with what went before と with what became after とは unites と結合する, of mankind as a whole ののは career につづく。

【譯】 歴史は一國民又は人類全體の行程に於ける各特殊の時代時代と過去に起つた事件及びその後起つた事を結合する連鎖を明かにするものだ。

【重要語句】 to bring to light, career, to unite with, as a whole.

【問題 75】 One bright June morning a young man, who happened to be waiting at a rural station to take a train, discovered one of the foremost of American writers, who was, all things considered, perhaps the most richly cultured man whom the country has yet produced, sitting on the steps intent upon a book, and entirely oblivious of his surroundings. The young man's reverence for the poet and critic filled him with desire to know what book had such power of beguiling him into forget-

fulness one of the noblest minds of the time. He ventured to approach near enough to read the title holding, rightly enough, that a book is not personal property, and that his act involved no violation of privacy. He discovered that the great man was reading a Greek play with such relish that he had turned a railway station into a private library.

—大正 15. 東京商大豫科

【語句】 to happen to 會々.....する, foremost of American writers 一流の米國文學者, all things considered 凡ての事を考へ合せると, richly cultured man 教養の豊かな人, when the country has yet produced 米國が今日までに産出した處の, to be intent upon = to be bent on, to be absorbed in..... に餘念がない、.....に凝る。例：He is intent upon his work. 彼は仕事に餘念がない, oblivious [oblíviəs] = forgetting 忘れて, 『参考』 oblivion 世に忘れられて了ふ事, to fall into oblivion, to be buried in oblivion 世に忘れられて了ふ, filled him with desire to know 知りたといふ願が彼を充した、知りたくてたまらないとおもつた, to beguile [bigáil] into forgetfulness 欺して忘れさせる、遂それに釣り込まれて何もかも忘れて了ふ, the noblest mind of the time 當代の最も高潔な人物, holding = thinking とおもつて, rightly enough さうおもふのも尤もな事であつたが, personal property = private property 私有財産, to involve [invólvi] = to include 含む, violation は to violate の名詞、破る事, privacy [praívasi] = secrecy 秘密, with relish = with interest 面白さうに, to turn into = to change into,に變へる。

【考へ方】 この文は四つの文から成立つてゐるがその一つ一つが中々長い。最初の文が特に長い。かうした文はどこからどこまでが Subject, どれが Predicate Verb でその Verb の Object はどれで Verb や Object を修飾するものはどれかといふやうに文の要素を定めてかゝらなければならぬ。第一段 先づ第一の文に於ては (1) a young man が Subject, (2) discovered が Verb, (3) one of the foremost of American writers が Object, (4) sitting on the steps が Objective Complement である。これだけがこの文の主眼点で後は枝葉の問題でこの四つの要素を修飾してゐる部分である。one bright morning は文全體を修飾してゐる、who happened.....to take a train は young man を、who was.....produced は Object である one of the foremost American writers を修飾してゐる、intent upon a book,.....his surroundings は sitting を修飾してゐる。第二段 第二文では (1) the young man's reverence.....critic までが Subject, (2) filled が Verb, (3) him が Object,

with desire は filled を修飾し、to know は desire にかゝり、what.....of the time までの Clause は to know の Object. 第三段 that a book... ..., and that..... privacy は holding の Object.

【譯】 或る晴れた六月の朝汽車に乗らうとおもつて偶々田舎の停車場で待つてゐた一青年が、凡ての事をかれこれ思ひ合せて見ると多分米國が今日までに出した内で最も豊かな教養のある自國一流の文學者の一人が階段に腰をかけて書物に読み耽つてすつかり周囲の事を忘れてゐるのを見た。青年はこの詩人兼批評家に對する尊敬の念から一體どんな本が當代屈指の高潔の士をかかも釣込んで一切を忘却せしめる力を持つてゐるのたらうと知りたくてたまらなくなつた。彼は本は個人の財産ではなく自分の行爲は人の秘密を犯すことにはならぬと信じて——さう信ずるのも無理からぬ事であるが——書物の表題が讀める所まで思ひ切つて近寄つた。彼はこの偉人がギリシャの戯曲を讀んでゐるのだが、如何にも面白さうで停車場を自分の圖書室にして了つてゐるのたさいふ事がわかつた。

【重要語句】 rural, all things considered, to be intent upon, oblivious of, to involve, violation, privacy, with relish, surrounding, to hold that, reverence, personal property, to involve, to beguile.

第六項 Objective Complement を修飾するもの

【問題 76】 In visiting colleges I find *hundreds of young men* on the threshold of life *perplexed by the problem what to do*.

【語句】 hundreds of young men 數百の青年。hundreds と複数になつてゐるのに注意。例: *thousands of books* 數千部の書籍。on the threshold of life = to begin to start in life 將に世渡りを始めようとしてゐる。perplexed = bewildered, at a loss 途方に暮れる。

【考へ方】 hundreds of young men は find の Object, on the threshold of life は Object を修飾し、perplexed は find を補ふ Objective Complement で、by the problem what to do は perplexed を修飾してゐる。what to do は problem と同格。

【譯】 大學を訪れると、これから世に出ようとしてゐる幾百の青

年が將來どうしたらよからうかさいふ問題のために途方に暮れてゐるのを見る。

【重要語句】 hundreds of young men, on the threshold of life, perplexed.

【問題 77】 He professed himself greatly *touched by the separation*, and declared he had often bought white bread for the donkey when he had *been content with black* bread for himself.

【語句】 to profess [prə'fɛs] 公言する、.....と稱する。touched = moved, 感動した。separation 別離。『参考: to separate 別れる。to declare 言明する。to be content with 満足する、甘んずる。例: He is content with his lot. 彼はその分に安じてゐる。』

【考へ方】 himself は professed の Object で touched は Objective Complement, by the separation は之を修飾してゐる。when は「.....であるのに」と下から戻る。

【譯】 彼はかうして別れるのは實につらいと云つた。そして自分は黒パンで甘んじて居りながら驢馬には白パンを買つてやつたことも一度や二度ではないと述べた。

【重要語句】 separation, to be content with, to declare, to profess.

【問題 78】 I remembered having laughed myself when I had seen good men *struggling with adversity in the person of a jackass*, and the recollection *filled me with* penitence.

【語句】 to struggle with 戦ふ。adversity [əd'vɜ:sɪti] = misfortune 不幸、逆境。『参考: adverse [əd'vɜ:s] 不幸の。in the person ofと云ふ人に於て、こゝでは牡の驢馬といふ形式を具へた不幸、牡の驢馬といふ不幸。例: America has produced a great inventor *in the person of* Edison. 米國はエヂソン氏といふ大發明家を出した。recollection [rekə'rekʃən] = memory 回想、記憶。『参考: to recollect 思ひ出す。penitence [pə'nɪt(ə)ns] = repentance 後悔。『参考: penitent = repentant 後悔する。』

【譯】 私は罪咎もない人達が因果な牡の驢馬を押し廻してゐるのを見て笑つたことを思ひ出したが、この回想のため私の胸は後悔で一杯になつた。

【重要語句】 adversity, in the person of, recollection, penitence.

【問題 79】 Machinery has made the products of manufacturing **very much cheaper** than formerly. 一大正 13. 東京高工

【語句】 machinery [məʃi:nəri] 機械。これは集合名詞であるから常に単数形を用ゐる。machine [məʃi:n] は普通名詞故に単複何れにも用ゐる。product = manufacture 製作品。manufactory [mænju:fæktəri] = factory 工場。

【譯】 機械のために工場の製作品は以前に比して遙に安價になつて來た。

【重要語句】 machinery, product, manufactory, formerly.

【問題 80】 Each adventurous genius will leap at the arduous prize, and find himself *stimulated*, rather than *discouraged*, **by the failures of his predecessors**, while he hopes that the glory of achieving so hard an adventure is reserved for him alone. 一大正 13. 富山藥專

【語句】 adventurous [ədventʃərəs] 冒険好き。『参考: adventure 冒険, adventurer 冒険者, 山師, to venture (=to dare) 敢てする, to leap at = to jump at 跳びつくばかり喜んで申出などに應ずる, arduous [ɑ:dʒuəs] = laborious to get 手に入れるのに骨の折れる。『参考: ardour 熱情, to stimulate 鼓舞する, to discourage 失望させる, predecessor [pri:disəsə] 前任者, 先輩。『参考: successor 後任, 後輩, to achieve [ə'tʃi:v] = to accomplish, to perform 成しとげる, to reserve [ri:zə:v] 取つて置く。

【考へ方】 stimulated は discouraged と共に find の Object である himself を修飾する Objective Complements で, by the failures of his predecessors はこの Objective Complements を修飾する役目をしてゐる。

【譯】 冒険を好む天才は皆骨の折れる褒賞を跳びつく思ひで受けようとする。従つて先輩の失敗のため失望するよりも寧ろそれに鼓舞される、そして同時にかくの如き困難な冒険事業を成就する榮譽は自分だけのために保留してあるものたご期待を持つものた。

【重要語句】 adventurous, genius, to leap at, arduous, to stimulate, discouraged, predecessor, to achieve, to reserve.

總 括

I. 修飾語

A. 主語修飾語

1. Adjective
2. Adjective Phrase
3. Adjective Clause
4. Adjective Infinitive
5. Participle

B. 述語修飾語

1. Adverb
2. Adverbial Phrase
3. Adverbial Clause
4. Subjective Complement を修飾する語句
5. Object を修飾する語句
6. Objective Complement を修飾する語句

II. 應用和文英譯問題 (2)

[A]

31. 私は醫者の忠告に従つて禁煙しようご決心した。

忠告 advice, 従ふ to follow, 禁煙する to give up smoking, 決心する to make up one's mind, to resolve, to determine.

32. 世間の同情が彼に集つた。

世間の同情 public sympathy, 集る to be active.

【考へ方】 「集つた」は「彼のために活潑であつた」と考へればよい。(問題 26) 参照。

33. 君のために云つてゐるので、僕自身のために云つてゐるのではない。

【考へ方】 (問題 26) 参照。

34. 電光石火の如く彼は水中に跳び込んで、首尾よく溺れかけてゐる少年を救つた。

跳び込む to plunge into the water, 首尾よく successfully, with success, to succeed in + Gerund, 救ふ to save, to rescue, 溺れる to be drowned.

【考へ方】 この問題については(問題 27) 参照。

35. 盗人は巡査を見るや否や立ち上つて雲を霞と逃げた。

盗人 a thief, a robber,するや否や as soon as, no sooner had + Subject + P. P. than....., hardly had + Subject + P. P. before....., the moment....., the instant..... 立ち上る (問題 27) 参照, 雲を霞と逃げる to take to one's heels, to run away as fast as one can.

〔注意〕 「雲を霞と逃げる」といふやうな慣用句を直譯したのでは英語にならない。日本語を分解してその意味を英語に表はすやうにする事が極めて必要な事である。

36. 彼は晝夜兼行で著述に従事してゐるが健康を害しはしないかと氣遣つてゐます。

晝夜兼行で day and night, 著述 writing a book, 健康を害す to break down, to injure one's health, 氣遣ふ to be afraid.

37. 多忙の身であるが彼は時々國元に手紙を出しては両親の安否を尋ねる事にしてゐる。

多忙の身ではあるが though he is very busy, busy as he is, 時々、(問題 29) 参照, 國元 home, 安否を尋ねる to inquire (enquire) after one's health,する事にしてゐる to make it a rule.

38. あの男は警戒する方がよい、君の人のよいのに附込むかも知れないから。

警戒する to be on one's guard against, 油断する to be off one's guard, 人がよい good nature, 附け込む (問題 29) 参照。

39. あの人は近眼です、それで眼鏡をかけてゐるのです。

近眼 to be near-sighted, to be short-sighted, (遠視眼 to be far-sighted, to be long-sighted), 眼鏡 spectacles.

【考へ方】 「それで.....するのです」は「それが.....を説明する」と考へるか或は「それが.....する理由である」と考へればよい。(問題 30) 参照。

40. 言論の自由には責任の伴ふ事を念頭に置かねばならぬ。

言論の自由、(問題 31) 参照, 責任 responsibility, 「伴ふ」は含むと考へて to involve を用ゐる。念頭に置く to bear in mind, to keep in mind, to remember.

【考へ方】 この問題は言論の自由を主格として考へる。

41. 人を面前で褒める人はよく蔭で悪口を云ふものだ。

面前で to one's face, 褒める to praise, to speak well of, to speak highly of, 蔭で behind one's back, 悪口を云ふ to speak ill of.

42. 彼は愛國心に富んでゐるから何時でも國家のためとあれば一命を捨てることを厭はない。

愛國心に富む to be patriotic [pætri'ɔ:tik], 一命を捨てる to lay down one's life, to sacrifice one's life,の爲めに for, for the sake of, 厭はぬ、(問題 31) 参照。

43. この提議に賛成の諸君は舉手を願ひます。

提議 proposal, 賛成する to be in favour of, (不賛成 to be against), 舉手する to hold up one's hand, 願ひます please.

44. 彼が失敗したについては君にも多少責任がある。

(問題 32) 参照, 責任がある to be responsible for.

【考へ方】 「失敗したについて」は for の Object となるために「彼の失敗に對して」と考へればよい。

45. 田園生活が健康に良好な影響を及ぼす事は云ふまでもないことだ。

田園生活 rural life (問題 33) 参照, 良好な影響を及ぼす、同問題参照, 云ふまでもないことだ, It goes without saying that....., needless to say.

46. 體育の目的は健全な身體に健全な精神の宿つた人を養成するにある。

體育 Physical training (culture), 目的 aim, 養成する to develop, ...にある to lie in, to consist in.

【考へ方】 「宿つた」は「持つ」と考へればよい。(問題 34) 参照。

47. 富と名譽は何人も熱望する所であるが、富を得るために名譽を犠牲にしてはならぬ。

富 wealth, riches, [複數に注意] 名譽 honour, fame, 熱望する to be anxious to gain, 犠牲にして at the price (cost, sacrifice, expense) of.

【考へ方】 「富を得るために名譽を犠牲にしてはならぬ」の「富、名譽」は「前者後者」として考へるがよい。(問題 35) 参照。

48. びっくりして口がきけなかつた。

びっくりする to be astonished, to be surprised, to be taken aback, 口をきく to speak.

【考へ方】 この問題は主格が省略してあるから I か He を補つて so... that の形式にするか又は主格を astonishment として「これが彼から (又は私から) 口をきく力を奪つて了つた」と考へれば (問題 35) の應用となる。

49. 妙な事をいふやうだが自然界の出来事の中には秩序整然と行はれるものもある。

妙な事をいふやうだが strange to say, 自然界 the natural world, the world of nature.

【考へ方】 この問題については (問題 36) 参照。

50. 飲食を節する人は概して長命する。

飲食 eating and drinking, 節する to be moderate, to be temperate, 概して generally speaking, generally, 長命する to live long, to enjoy a long life.

【注意】 飲食を drinking and eating と云つてはならぬ。

51. 都會生活をするものは折々郊外に出て新鮮な空気を呼吸しなければならぬ。

都會生活をする to live in a city, 折々, [問題 29] 参照。郊外 suburbs (複数), 新鮮な fresh, 呼吸する to breathe.

52. 根氣のない人はどんな職業に従事しても多くの場合失敗する。

根氣 perseverance, どんな職業 whatever occupation, 従事する to engage in, to follow, 多くの場合, (問題 39) 参照。

53. 彼は音楽が馬鹿に好きで大概の音楽會に出席する。

馬鹿に好き to have a passion for, 音楽 music, 大概の almost any, 音楽會 concert, 出席する to attend.

54. 何事をするにしてもいやいややつては失敗するにきまつてゐる。

何事を...しても whatever, no matter what, いやいやながら, (問題 39) 参照。with a bad grace と云つてもよい。きまつてゐる to be sure to....

【考へ方】 原文には主語が出てゐないから you とか a man とかを入れる必要がある。

55. 洋服一着は上衣、ズボン、チヨッキの事です。

洋服一着 a suit of foreign clothes, 上衣 coat, ズボン a pair of trousers, チヨッキ vest, waistcoat.

【考へ方】 「.....の事です」は「.....から成立つ」to consist of.....と考へればよい。

56. そんな事をして恥しくないか。

(問題 39) 参照。

【考へ方】 「して」は「して仕舞つて」の意であるから Perfect Form を用るなければならぬが of があるから having done と ing がつく事に注意しなければならぬ。

57. 宿題をやつて了つたから當分何もする事が無い。

宿題 home task, 當分 for the present, for the time being.

【考へ方】 この文は and か又は as で二文として接続するか Participle Construction を用ゐる。

58. 英語を學ぶには、英語を話す英國か米國に行くに越したことはない。

【考へ方】 この問題は「英語を學ぶ最善の方法は.....に行くことである」と考へればよい。

59. 彼は自分の事で忙しくて他人の事を考へる暇が無い。

「自分の事で」は「自分の仕事に従事すること」と考へる、to attend to one's own business 考へる to think of, 暇 time.

【考へ方】 「非常に忙しいから.....暇が無い」として so.....that の型を用ゐるか又は「餘りに忙しくて.....出来ない」と too.....to の型を用ゐてもよい。

60. 彼は大勢の家族を養はねばならぬので貯金などは思ひも寄らぬことだ。

大勢の家族 a large family, 養ふ to support, to provide for, 貯金 saving money, 思ひも寄らぬこと an inconceivable thing, a thing unthought of, to be out of the question.

【注意】 out of question は beyond question, without question, past question と同意で「疑のない」の意、混同してはならぬ。「大勢の家族」を many families としてはならぬ。これでは「幾家族も」の意となる。

【考へ方】 「大勢の家族を養はねばならぬ」はその通りに譯すか又は「養ふべき大勢の家族を持つ」と考へてもよい。

61. 彼は僕が冗談に云つたことを眞に受けて大變立腹した。

冗談に in fun, in joke, 云つたこと, what I said, (問題 11) 参照、眞に受ける to take serious, 立腹する to get angry.

62. 彼女が息子を自慢するのも尤だ、今度一高の入學試験に一番で及第したのたもの。

尤だ、(問題 52) 参照。自慢する to be proud of, 一高 the First High School, 入學試験 entrance examination, 一番で first on the list, 及第する to pass.

63. その事業は最初は有望らしかったが結局失敗に終わった。

事業 enterprise, undertaking, 有望 promising, 結局 finally, in the long run, in the end, after all, 失敗に終る to result in a failure.

64. その少年は非常にませてゐて大人のやうな口をきく。

ませてゐる to be precocious [prikóujós], to be premature [pri:matjúa], 大人 a grown-up man.

65. 失敗に失敗を重ねたにも拘らず彼は目的を翻さなかつた。

失敗に失敗を重ねる repeated failures, にも拘らず、(問題 57) 参照。目的を翻す to swerve from one's purpose.

66. 氣前のよい人とおもつたが握り屋である事がわかつた。

氣前のよい generous, 握り屋 a close-fisted person, a tight-fisted person, a miser, わかつた、(問題 59) 参照。

67. 佐藤君が今度の總選挙で當選するかしないかは僕にとつて重大な関係がある。

今度の總選挙 the coming general election, 當選する to be returned, するかしないか whether, if, 重大な関係がある to matter a great deal, (何等の関係がない to matter nothing).

【考へ方】 この文は it.....whether..... の型とするか whether..... としてもよい。

68. 最近十年間に化學工業は著しく進歩したが吾人は現状を以て満足する事は出来ない。

最近十年間に during the last ten years, 化學工業 chemical industry, 著しく進歩する to make a remarkable progress, 現状を以て満足する to remain satisfied with what it is.

69. 明日雨天なら出發を延期しよう。

出發 departure, 延期する to put off, to postpone.

70. 適任者の御心當りがありましたら御推薦下さいませんか。

適任者 a well-qualified person, a fit person for the position, 心當り to

have anybody in mind, to happen to know of, 推薦する to recommend.

71. 彼は何度も米國に行つたのだから英語が達者なのは當然だ。
のだから since, now that, 當然だ it is natural that.....should, 英語が達者 to have a good command of English, to be proficient in English, to be versed in English, to be well posted up in English.

72. 彼は學者であるばかりでなく常識もある。

學者 a scholar, a man of learning, 常識 common sense.

【考へ方】 この問題については(問題 63) 参照。

73. 彼が英語を研究し始めてから三年にもならぬが大概の新聞や雑誌は樂々讀める。

三年にもならぬ It is less than three years since....., 大概の most, 雑誌 a magazine, 樂々 with ease, easily, without any difficulty.

74. 働き過ぎて病氣になつた。

働きすぎる to overwork oneself, 病氣になる to fall ill, to be taken ill, to bring on an illness, to make oneself ill.

75. 醫者が到着した時には彼は既に息を引きとつてゐた。

既に already, 息をひきとる to breathe one's last.

76. 書物を所有するのこ之を利用するのこは別問題であることは云ふまでもない事だ。

所有する to possess, to own, 利用する to make good use of, 別問題 another thing, 云ふまでもない事だ It goes without saying that....., needless to say.

77. 彼には兄弟が二人ある、一人は酒も飲めは煙草も吸ふ、も一人は酒は絶対に飲まない。

煙草を吸ふ to smoke, 酒は絶対に飲まない entirely abstain from wine, to be a total abstainer, to be a teetotaller [ti:tóutla].

【考へ方】 この問題については(問題 66) 参照。

78. あの兄弟は非常によく似てゐるので友達にまで間違はれることもある。

似る to resemble (他動詞)、間違はれる to be taken for another.

79. 彼は病身であつたので一生獨身であつた。

病身 to be sickly, 獨身で通す to remain single, 一生 throughout life, to

the end of one's days.

80. 吾々が社会に於て時間を厳守することを要求されるのは當然の事である。

社会に於て in society, 時間を厳守する to be punctual, 要求する to call upon (one) to, 當然の事 a matter of course, It is natural that.....should.....

81. 彼が解雇されたのは無能であつたためではなく職務怠慢のためである。

解雇する to dismiss, 無能 lack of ability, inefficiency, 職務怠慢のため through neglect of duty.

【考へ方】「したのは.....でなく.....である」は It is not.....but...that..... の型を用るればよい。

82. 私は一旦やろうと思つた事はどんな困難があつてもやりこける決心だ。

一旦 once, やらうと思つた事 what I have made up my mind to do, どんな困難があつても whatever difficulty may come in my way, やりこげる to carry out, to accomplish, 決心だ to be determined, to be resolved.

83. 新聞から各種の知識が得られる事は申すまでもない事だ。

申すまでもない事だ It goes without saying that....., 各種の various kinds, 知識 information.

84. どんなに社会的地位が低くとも本務を忠實につくす人は私の意見では最も賞讃に値する人だ。

どんなに社会的地位が低くとも no matter how humble one's position may be, however humble one's station in life may be, 忠實に faithfully, 私の意見では、(問題 70) 参照, 賞讃に値する to be worthy of praise, to be praiseworthy, laudable, commendable.

85. 目下英語教師の需要が多い。

目下 at present, 需要が多い to be in great (good) demand, there is a great demand for.....

86. 近來物價が著しく騰貴したから家族の多い人達は借金しないでやつて行くのは中々容易でない。

近來 lately, of late, 物價 prices of commodities, 著しく remarkably,

騰貴する to rise, to go up, 家族の多い to have a large family (家族の少い to have a small family), 借金する to run (fall) into debt, to contract a debt.

【考へ方】「やつて行くのは容易でない」は「やつて行くことを六ヶしいと知る」と考へて find it difficult to keep out of debt とやればよい。

87. 上野美術陳列館は昨日無料で公開されたので立錐の餘地もないほどの人出であつた。

上野美術陳列館 the art gallery at Uyeno, 無料で free of charge, 公開する to be opened to the public 立錐の餘地もないほどの人出 to be crowded to its limits of capacity, to be crowded to the doors, to be crowded to excess.

88. 吾々日本人は一旦緩急ある場合には祖國のために一命を捧げる事を辞さない覺悟がなければならぬ。

吾々日本人 we Japanese, 一旦緩急ある場合には when an emergency arises, in time of need, 一命を捧げる to lay down one's life for one's fatherland, to die for one's fatherland, to die in the cause of one's fatherland, 辞さない to be ready to, 覺悟がなければならぬ must be ready to....., must be prepared to.....

89. 昨日講堂に於て帝國大學教授加藤氏の日米關係についてと題する講演があつたが面白くもあり有益でもあつた。

講堂 a lecture hall, 帝國大學教授加藤氏 Mr. Kato, Professor of the Imperial University, 日米關係について on the relations between Japan and America, 講演をする to give a lecture on, to deliver a lecture on, to lecture on, to speak on, 有益な instructive.

【考へ方】「面白くもあり有益でもあつた」は and で結合しても which で結合しても何れでもよい。

90. その秘密は當事者の一人の不注意から暴露した。

秘密 secret, 當事者 those concerned, 不注意から through carelessness, 暴露する to lay bare, to be brought to light, to come to light.

91. 若しか郵便局の前を御廻りでしたらこの手紙をお出し下さいませんか。

若しか.....でしたら to happen to, 手紙を出す to post a letter, 下さいませんか will you please.....? will you be kind enough to.....?

92. 小説を就讀してゐたので夜のふけたのも知らなかつた。

小説 a novel, 就讀する to pore over, 夜がふける the night is advanced, the night wears on.

[B]

93. 汽車、汽船、電信、電話、自動車、飛行機、活動寫眞、ラヂオ等の發明あつて以來世界は段々縮少されつゝある。(大正 15. 大分高商)

電信 telegraph, 電話 a telephone, 自動車 a motor-car, an automobile, 飛行機 an aeroplane, 活動寫眞 a cinematograph, a cinema, a moving picture, a kinema, ラヂオ wireless telephone, radiotelephone, 發明 invention, 段々 by degrees, gradually, 縮少される to be made smaller.

94. 彼が先週の木曜日に運動場で大怪我をして近所の病院に擔ぎ込まれたと云ふので僕は昨日午後見舞に行つた。然し彼は大層元氣であつたばかりでなく醫師も最早心配はないと云つた。(大正 15. 東京高工)

先週の木曜日 last Thursday, on Thursday last, 運動場 playground, 大怪我をする to get hurt terribly, to sustain a serious injury, to be seriously wounded, 病院に擔ぎ込まれる to be taken to the hospital, 見舞ふ to inquire after, to ask after, 大層元氣がよい to be in high spirits, to be high-spirited, (元氣がない to be in low spirits), ばかりでなく、(問題 63) 参照。最早 no longer, 心配はない there is no danger.

95. 我國が五十年前から著しき進歩を致しましたことは單に私等のみならず外人も共に認むるところであります。(大正 15. 大阪高工)

五十年前 fifty years ago, から since (from を用ゐてはならぬ) 著しき進歩をする to make a great progress, to make a remarkable (marked) progress, 認める to recognize.

96. 前世紀は蒸氣の時代であつたが現代は無線、自動車、飛行機の時代であると云つても不可はあるまい。(大正 15. 京城高工)

前世紀 the last century, 現代 the present age, と云つても差支がない I can safely say that....., it may be safely asserted that....., it is not too much to say that.....

97. 彼はこの旅行にてもこの健康に復したるのみならず種々の見聞を擴めたり。(大正 15. 秋田礦山)

もとの健康に復す to recover one's former health, 見聞を擴める to extend one's knowledge, to see more of life.

98. 飛行機、潜航艇、無線電信、活動寫眞など昔の人の夢にも知らなかつた精巧なる機械が澤山發明され而してそれが絶えず改良されつゝある。(昭和 2. 仙臺高工)

潜航艇 a submarine, 夢を知る to dream of, 精巧な delicate, 機械 machine, 改良する to improve.

99. 今では殆ど大概の品物が我國で製造されるやうになつた。然しまた品質が歐米の製品に比べて劣ると云ふ事である。(昭和 2. 徳島高工)

殆ど大概の almost all, 品物 an article, 製造する to make, to manufacture, 品質 quality, 比べて compared with, in comparison with, 劣る to be inferior to, (優る to be superior to), と云ふ事である it is said that..., ..., they say that.....

100. 實生活に於ける試験では問題は大概簡單だが毎日それに及第しなければならぬ。(昭和 2. 秋田礦山)

實生活 actual life, practical life, 及第する to pass, (落第する to fail in the examination).

101. 書物を讀んで夢中になつてゐたので降りなくてはならない停車場を我識らず乗り越した。(昭和 2. 早稻田高等學院)

書物を讀んで夢中になる to be absorbed in reading a book, to be thoroughly engrossed in reading a book, 降りなくてはならない I ought to have got off, I should have alighted, 我識らず unconsciously, 乗り越す to be carried beyond the station.

102. 今週は引續き忙しかつたので彼を見舞ふ暇がなかつた。(大正 11. 三重高農)

引續き忙しかつた to have been very busy, 暇がない to have no time.

103. この時計は叔父に貰ひました。少し舊式ですが時間は至つて精確です。(大正 11. 明專)

貰ふ to get, to be given, 舊式 to be old-fashioned, to be of the old type, 時間は至つて精確です to keep very good time.

104. 試験が済んだら平和博を見物してからウント遊ぶ積りだ。

(大正 11. 早稲田高等学院)

済んだら to be over, 平和博 the Peace Exhibition, ウント遊ぶ to play hard.

105. 只今家庭に病人がありますから御案内の歓迎会には残念ながら出席致しかねます。(昭和 2. 高校第二班)

病人 a patient であるがこゝでは a sick member を使ふか a case of illness を使ふ。家庭 family, 案内する to invite, 歓迎会 a reception, 残念ながら I am sorry to say, to my regret, 出席する to attend (他動詞であることに注意)。

解 答

[A]

31. a. Following the doctor's advice, I have made up my mind to give up smoking.

b. $\left\{ \begin{array}{l} \text{Acting on} \\ \text{In accordance with} \end{array} \right\} \text{the doctor's advice, } \left\{ \begin{array}{l} \text{determined} \\ \text{resolved} \end{array} \right\} \text{to } \left\{ \begin{array}{l} \text{abstain from} \\ \text{stop} \end{array} \right\} \text{smoking.}$

〔注意〕 Following the doctor's advice, の代りに On the advice of the doctor, を用ゐてもよい。

32. Public sympathy was active on his behalf.

33. a. I am speaking on your behalf, not on my own.

b. It is not for my good, but for your own good that I am speaking.

34. a. Quick as a flashing, he plunged into the water, and successfully saved the drowning boy.

b. As quick as $\left\{ \begin{array}{l} \text{thought} \\ \text{wink} \end{array} \right\}$ he jumped $\left\{ \begin{array}{l} \text{into the water} \\ \text{overboard,} \end{array} \right\}$ and succeeded in saving the boy from being drowned.

〔注意〕 being を用ゐたのは drown といふ Verb は普通 Passive に用ゐられるからである。

35. a. As soon as the thief saw a policeman, he rose to his feet, and ran away as fast as he could.

b. $\left\{ \begin{array}{l} \text{The instant} \\ \text{The moment} \end{array} \right\}$ the thief saw a policeman, he stood up and took to his heels.

c. No sooner had the thief caught sight of a policeman than he

got to his feet, and took to flight.

36. He is engaged in writing a book $\left\{ \begin{array}{l} \text{day and night} \\ \text{night and day} \end{array} \right\}$ and I $\left\{ \begin{array}{l} \text{am af-} \\ \text{raid} \end{array} \right\}$ that $\left\{ \begin{array}{l} \text{he will break down on that account.} \\ \text{it will injure his health.} \end{array} \right\}$

〔注意〕 on that account は「そのために」の意。

37. a. Though he is very busy, he makes it a rule to write home and inquire after (the health of) his parents.

b. Busy as he is, he makes a point of writing to his parents to ask after their health.

38. a. You had better be on your guard against him, because he may take advantage of your good nature.

b. It would be better for you to be on your guard against him, because there is no knowing that he might impose on your good nature.

39. a. He is near-sighted; that is the reason why he wears spectacles.

b. He is short-sighted; that accounts for his wearing spectacles.

40. You must $\left\{ \begin{array}{l} \text{bear it in mind} \\ \text{keep in mind,} \end{array} \right\}$ that freedom of speech involves responsibility.

41. a. Those who praise you to your face often speak ill of you behind your back.

b. The man who speaks highly of you to your face often speaks ill of you behind your back.

42. He is so patriotic that he is always ready to $\left\{ \begin{array}{l} \text{lay down} \\ \text{sacrifice} \end{array} \right\}$ his life for (the sake of) his country.

43. Those of you who are in favour of this proposal will please hold up their hands.

44. You are $\left\{ \begin{array}{l} \text{more or less} \\ \text{partly} \end{array} \right\}$ responsible for his failure.

45. a. It goes without saying that rural life has a good effect upon one's health.

b. It is needless to say that $\left\{ \begin{array}{l} \text{country life} \\ \text{pastoral life,} \end{array} \right\}$ has a good influence on one's health.

46. The aim of physical $\left\{ \begin{array}{l} \text{culture} \\ \text{training} \end{array} \right\}$ $\left\{ \begin{array}{l} \text{lies} \\ \text{consists} \end{array} \right\}$ in developing a man who has a sound mind in a sound body.

47. Riches and honour are what everyone is anxious to gain, but the former must not be sought after at the $\left\{ \begin{array}{l} \text{cost} \\ \text{price} \\ \text{expense} \end{array} \right\}$ of the latter.

48. a. I was so much **astonished** *that* I could not speak.
 b. I was so **taken aback** *that* ^{my tongue was tied.} I lost the power of speech.
 c. *Astonishment* deprived me of my *power of speech*.
49. **Strange to say**, some of the events in the ^{world of nature} _{natural world} ^{occur} _{take place} _{happen} *in regular order*.
50. a. *Those who are moderate in eating and drinking* generally live long.
 b. *Generally speaking, those who are temperate in food and drink* enjoy a long life.
51. *Those who live in a city* must go to the suburbs *from time to time* and breathe fresh air.
52. *Those who* ^{lack} _{are lacking in} **perseverance** will fail *in most cases* ^{engage in.} _{follow.} *in whatever occupation they may*
53. He **has a passion for** music and attends almost any concert.
54. ^{Whatever} _{No matter what} **you may do**, you are sure to fail in it, if you do it ^{with reluctance.} _{with a bad grace.}
- 【注意】 Whatever you may do も if you do it with reluctance も共に Adverbial Clause であるから you are sure to fail in it といふ Principal Clause の前後に置いて平均をとるのが適當である。
55. *A suit of foreign clothes* **consists of** a coat, a pair of trousers, and a waistcoat.
56. *Are you not ashamed of* **having done such a thing?**
57. a. *As I have done my home task*, I have nothing to do *for the present*.
 b. *Having finished my home task*, I have nothing to do *for the time being*.
58. **The best way to learn** English is to go to England or America where it is spoken.
59. He is so *busy attending* to his own business that he has *no time to think* of another's.
- 【注意】 another's の次には business を省略してある。
60. a. He has a large family to support, and it is **a thing unthought of to save money**.

- b. He has to provide for a large family, and saving money **is out of the question for him**.
61. He **took serious** what I said *in joke*, and got angry.
62. a. She *may well be proud of* her son, because he has passed the entrance examination of the First High School **first on the list**.
 b. She *is proud of* her son, and *well she may*, because, etc.
63. At first the enterprise seemed promising, but ^{resulted} _{ended} **in a failure**.
64. The boy is so premature that he *talks as if he were a man*.
65. **In spite of repeated failures**, he did not swerve from his purpose.
66. I thought him to be **generous**, but he ^{proved} _{turned out} **to be a** ^{close-} _{tight-} **fisted** man.
67. **It matters a great deal** ^{whether} _{if} Mr. Sato will be elected in the coming general election.
68. During the last ten years chemical industry has **made a remarkable progress**, but we cannot **remain satisfied with what it is**.
69. a. If it *is* rainy to-morrow, I shall **put off** my departure.
 b. If it *rains* to-morrow, I shall postpone my departure.
- 【注意】 If it rains と Future であるべき所を Present で云ひ表はすのは Adverbial Clause であるからである。
70. a. **If you happen to know of any well-qualified person**, will you kindly recommend him to me?
 b. *Would you be kind enough to* recommend me any fit person for the position (that) **you have in mind?**
71. ^{Since} _{Now that} he has often been in America, *it is quite natural* that he *should* ^{have a good command of} _{be well posted up in} English.
72. a. He is **not only** a man of learning **but** a man of common sense.
 b. He has common sense as well as much learning.
73. *It is less than three years since* he began ^{to study} _{studying} English, but he can read most newspapers and magazines ^{with ease.} _{without any difficulty.} _{easily.}
74. a. He has **made himself sick** *by overworking himself*.
 b. He has **brought on an illness** *by overwork*.

75. a. When the doctor arrived, **he had already breathed his last.**
 b. The doctor arrived **too late to find him alive.**
76. **It goes without saying that it is one thing to** ^{own} _{possess} a library and *another to make good use of it.*
77. He has two brothers, **one** drinks and smokes, *while the other* _{entirely abstains from wine.} **is a total abstainer.**
78. The two brothers resemble each other so closely that **one is sometimes taken for the other** even by his friends.
79. As he was sickly, he **remained single** _{throughout life.} _{to the end of his life.}
80. **It is** ^{natural} _{a matter of course} **that we should be called upon to be** punctual in society.
81. *It is not because of his lack of ability but through neglect of duty that he has been dismissed.*
82. I **am** ^{determined} _{resolved} **to** ^{accomplish} _{carry out} what I have once made up my mind to do *whatever may come in my way.*
- 【注意】 決心するは to determine, to resolve と Active Form を用ゐるがこゝでは決心の状態を云ふのであるから to be determined, to be resolved と Passive Form を用ゐる方がよい。
83. a. **It goes without saying that** newspapers give us various kinds of information.
 b. **It is needless to say that** we can get a variety of information from newspapers.
84. a. **No matter how humble a man may be,** he is, *in my opinion,* the most *worthy of* praise if he does his duty faithfully.
 b. The man who does his duty faithfully is, *to my mind,* the most *praise-worthy however humble his station in life may be.*
85. a. Teachers of English **are in great demand** at present.
 b. **There is a great demand for** English teachers at present.
86. ^{Of late} _{Lately} **prices of commodities** have risen remarkably, and those who have a large family will find it difficult **to keep out of debt.**
87. The art gallery at Ueno *was opened to the public free of charge* yesterday, and it *was crowded to* _{the doors.} _{its limits of capacity.} _{excess.}
88. We Japanese should **be ready to** ^{lay down our lives for} _{die in the cause of} our

- fatherland _{when an emergency arises.} _{in time of need.}
89. Mr. Kato, Professor of the ^{delivered a lecture} _{gave a lecture} _{spoke} **Imperial University,** **on** the relations between Japan and America in the lecture hall yesterday, which was _{both interesting and instructive.} _{not only interesting, but also instructive.} _{instructive as well as interesting.}
90. The secret ^{was brought} _{came} **to light through carelessness on the part of those concerned.**
- 【注意】 on the part of は「……の側に於て」の意。
91. Will you ^{be kind enough to} _{please} **post this letter if you happen to pass the post office?**
92. As I was ^{poring over} _{absorbing in} **a novel,** I *was not aware* _{of the night} _{that the night} **wearing on.**
 was advanced.

[B]

93. a. Since the invention of the train, the steamer, the telegraph, the telephone, the motor-car, the aeroplane, the moving picture, the radio, and ^{so on} _{so forth,} the world has gradually been made smaller.
 b. Since the train, the steamer……were invented, the world has gradually become smaller.
- 【注意】 縮小されつゝあると現在の進行形を用ゐるやうになつて居るが Since は現在完了と共に用ふべきものであるから譯文のやうにすることが必要である。
94. ^{As I heard} _{Hearing} **that he was seriously** ^{injured} _{got hurt} in the playground _{last Thursday} and that he was taken _{in the neighbourhood} _{on Thursday last} to the hospital _{near by} I went to inquire after him, but **not only did** I find him *in high spirits* **but also** I heard from the doctor there was no longer any danger.
- 【注意】 did I find としたのは not only……but also といふ語句が前にあるためである。
95. **Not only** we Japanese, **but** foreigners recognize that our country has made ^{a remarkable progress} _{great progress} during the past fifty years.

96. Last century was the age of steam, but $\left. \begin{array}{l} \text{it is not too much to say} \\ \text{I can safely say} \end{array} \right\}$ that the present century is that of the wireless, the motor-car, and the flying machine.

97. a. By this trip he has **not only** recovered his former health, **but also** $\left. \begin{array}{l} \text{added much to his stock of information.} \\ \text{seen more of life.} \end{array} \right\}$

b. Thanks to this trip, he has **not only** been restored to his usual health, **but also** he has extended his knowledge.

〔注意〕 健康を回復するは to be restored to one's health で to restore one's health とは云はない。

98. Many delicate machines such as aeroplanes, submarines, wireless, moving pictures, and so on which people in former times **never dreamed of** have been invented, and improvement is continually being made in them.

〔注意〕 is being made は現在の進行形の受動態である。

99. a. Almost all articles have now come to be made in this country, but it is said that in quality they **are** still inferior to those made in Europe and America.

b. Nearly all things have now come to be manufactured in Japan, but they say that they *are of inferior quality in comparison with* those made in Europe and America.

100. In the examination in $\left\{ \begin{array}{l} \text{actual} \\ \text{practical} \end{array} \right\}$ life questions are generally simple, but you must solve them every day.

101. a. I was **absorbed in reading a book**, and was carried unconsciously beyond the station where I ought to have got off.

b. I was **thoroughly engrossed in reading**, and was carried unconsciously beyond the station I should have alighted at.

102. I **have been so busy** this week that I have had no time to go to ask after him.

103. a. I have got this watch from my uncle; it is somewhat old-fashioned, but **it keeps very good time**.

b. This watch was given me by my uncle; though it is somewhat of the old type, it keeps very good time.

104. **After the examination is over**, I will go the Peace Exhibition, and then play hard.

105. **As there is a sick member in my family now**, I am very sorry to say that I cannot attend the reception to which you were kind enough to invite me.

第三章 文の種類

第一節 構造による文の種類

第一項 Simple Sentence

【問題 81】 **The League of Nations does not restrict itself to deal only with** questions of peace and war.

【語句】 to restrict = to limit 制限する, to deal with 扱ふ、處理する。
例: He is hard to deal with. 彼は手におへない男だ。 He is easy to deal with. 與し易い男だ。

【考へ方】 restrict itself to deal with は「何々を何々に限る」となるからこゝでは「……の問題だけを取扱ふ」となる。

【譯】 國際聯盟は單に平和と戦争の問題を取扱ふとは限らない。

【重要語句】 to deal with, to restrict.

【構文上の要點】 本文のやうに一つの Subject と一つの Predicate だけで他の Clause を含んで居ない文を Simple Sentence といふ。Infinitive, Gerund, Participle, Phrase は幾つ含んで居ても差支ない。

【語誦】 (1) A friend in need is a friend indeed. まさかの時の友こそ眞の友、歳寒知松柏後凋 (論語)。零落 (おちぶれて) 袖に涙のかゝるとき人の心の奥ぞ知らるゝ (古歌)。 (2) An easy conscience is a continual feast. 疚しからざる良心は不斷の饗宴なり。

【問題 82】 **Accumulations** of knowledge and experience of the most valuable kind **are** the result of the careful treasuring up of little bits of knowledge and experience.

【語句】 accumulation [ækju:mju:leɪʃən] 蓄積, experience 経験, 参考: experiment 實驗, to treasure [ˈtreɪzə] up = to store up 秘藏する。

【考へ方】 of the most valuable kind は knowledge and experience を修飾する。

【譯】 最も貴重な知識と経験の蓄積は少量の知識と経験を丹念に秘藏した結果である。

【重要語句】 accumulation, to treasure up.

【問題 83】 Year after year **he performed** the prodigious labours, *inspired by* the thought of being able to liquidate the mammoth debt, and thereby vindicate his honour.

【語句】 prodigious [prə'di:dʒəs]=extraordinary 非常な。inspired=being inspired=being animated 激励されて。『参考: inspiration 靈感, to liquidate [li:kwaɪt]=to pay 支拂ふ。mammoth [mæməθ] マンモス(古代の巨象)、こゝでは huge (巨大なる)の意。to vindicate=to defend 擁護する。

【考へ方】 inspired は Predicate Verb ではなく前に being の省略された Past Participle で performed を修飾する。vindicate は Infinitive で able につづく。

【譯】 年々歳々彼はこの巨額の借財を辨済し以て自分の名譽を擁護することが出来るといふ考に力を得て非常な努力をした。

【重要語句】 to perform, prodigious, to inspire, to vindicate.

【問題 84】 Good manners cannot be too much valued.

—大正 15・陸士

【語句】 cannot be too much valued 多過ぎるほど尊重することは出来ない、即ちどんなに尊重しても尊重しすぎるといふ事はない。例: You cannot be too careful in this world. この世ではどんなに用心しても用心しすぎる事はない。

【譯】 立派な動作は如何に尊重してもしすぎるゝ云ふことはない。

【重要語句】 cannot be too much valued.

【問題 85】 Denied all external outlet good thought fills our soul the more.

—大正 15・長岡高工

【語句】 to deny=to refuse 拒む。external [ekstɜ:nl] 外部の。『参考: internal 内部の、outlet=vent 出口。』参考: inlet 入口。例: He wants an outlet for his energy. 彼は勢力のはけ口を欲しがって居る。the more それだけ多く。the は指示副詞に用ひられてゐる。

【考へ方】 denied は Predicate Verb ではなく前に being が略されて居る Past Participle である。

【譯】 外部の出口が凡て塞がれてゐると善良な思想は益々精神に充ちて来るものだ。

【重要語句】 external, outlet, to deny.

第二項 Complex Sentence

【問題 86】 In the case of the ambitious athlete, **what usually happens is** that physical weariness puts him to sleep *over* his books.

【語句】 ambitious 野心ある、功名心の盛んな。『参考: ambition 功名心。athlete [æθli:t] 運動家。』参考: athletic 運動の。physical 身體上の。over=participating, engaged with.....,に従事して。例: I heard her singing *over* her work. 彼女が仕事をしながら歌つてゐるのを聞いた。

【考へ方】 what usually happens が Noun Clause で Subject である。is が Predicate Verb. physical weariness puts him to sleep over his books が Noun Clause で is の Subjective Complement である。

【譯】 功名心の盛んな運動家の場合に於ては、肉體的の疲勞のため本を讀みながら眠つて了ふといふ事はよくあることだ。

【重要語句】 athlete, physical.

【構文上の要點】 文が一つ以上の Dependent Clause (Noun Clause, Adjective Clause, Adverbial Clause) を有するものを Complex Sentence といふ。

【問題 87】 We can be *but* partially acquainted *with* the events **which actually influence our course through life and our final destiny.**

【語句】 but=only. partially=partly 一部分。actually=really ほんとに。to influence 影響を及ぼす、左右する。『参考: influential [influénʃ-əl] 有力な、勢力ある。final 究極の。destiny 運命。』

【考へ方】 but partially は acquainted を修飾する。which actually influence.....destiny は events を修飾する Adjective Clause.

【譯】 吾々は生涯の進路と究極の運命を實際に左右する出来事をほんの一部しか知り得いな。

【重要語句】 partially, actually, final destiny.

【問題 88】 **Commonplace though it may appear,** this doing of one's Duty *embodies* the highest ideal of life and character.

【語句】 commonplace=ordinary 平凡な。to embody 具体的に表現する。ideal 理想。『参考: idea 観念。』

【考へ方】 commonplace though (or as) it may appear=though it may appear commonplace 平凡の様に見えるが。これは Adverbial Clause で、embodies を修飾する。この場合 though の代わりに as が用いられることがよくある。

【譯】 陳腐のやうであるがこの自分の「本務」を果すさいふ事は生活と品性の最高理想を具体的に表現するものである。

【重要語句】 commonplace, to embody, ideal.

【問題 89】 *It might be owing to the pleasing serenity that reigned in my own mind, that I fancied I saw cheerfulness in every countenance throughout the journey.* 一大正 14. 高校

【語句】 owing to=due to.....による。pleasing=agreeably 心地よい。serenity [siréniti]=calmness, composure, 平静、落着。to reign=to dominate 勢力を有する、支配する。countenance 容貌

【考へ方】 that が二つ出て居るからこれを適當に解決しないと文脈がわからない。文頭の it は形式上の主語で that I fancied がその内容を示すのである。即ち It.....that の構文である。that reigned in my own mind は serenity を形容する Adjective Clause。I saw cheerfulness.....journey は fancied の Object になる Noun Clause である。

【譯】 私が旅行中どの顔を見ても愉快さうに見えたやうにおもつたのは、私の心を支配してゐた心地よい落着きのあつたためであつたかも知れない。

【問題 90】 *The characteristic of our age is not the improvement of science, rapid as this is, so much as its extension to all men.* 一大正 13. 高校

【語句】 characteristic [kærɪktərɪstɪk]=distinctive feature, peculiarity 特質、特性。『参考: characterize 特性を表はす。extension=expansion 擴張。』『参考: extensive 廣大な。to extend 擴げる。extent 範圍。』

【考へ方】 is not.....so much as.. 「...ほどは.....は多くない」。だから「.....と云ふよりもむしろ.....である」となる。例: In the affairs of life or of business it is not intellect that tells so much as character.—Character. 日常生活の用務や商賣上の事にかけて有力なものは智力ではなく寧ろ品性で

ある。rapid as this is=though this is rapid 進歩は急速には速ひはないが。これは Adverbial Clause である。

【譯】 現代の特質は科學の進歩——それも急速ではあるが——と云ふよりは寧ろ凡ての人類に廣く科學が行き渡つて居ると云ふ點である。

【重要語句】 characteristic, extension, not.....so much as.....

第三項 Compound Sentence

【問題 91】 *A distress signal was made by tying a couple of handkerchiefs, and, to the joy of the castaways, the steamer was seen to head for them.*

【語句】 distress signal=signal of distress 遭難信號。castaways [kástəweɪz] 難船者。and 「すると」の意。to the joy of.....,にとつて嬉しい事には。例: He came back in safety to her great joy. 彼女が大變喜んだ事には彼は無事歸宅した。to head 船首を.....に向ける。

【考へ方】 to the joy of the castaways は was seen を修飾する。

【譯】 二枚のハンカチを結びつけて遭難信號を發した。すると遭難者にとつて嬉しい事には汽船が彼等の方に船首を向けるのが見えた。

【重要語句】 distress signal, to the joy of....., to head.

【構文上の要點】 Co-ordinate Conjunction で結ばれた二つ以上の Independent Clause から成立する文を Complex Sentence と云ふ。

【問題 92】 *To associate with depraved persons argues a low taste and vicious tendencies, and to frequent their society leads to inevitable degradation of character.*

【語句】 to associate with=to keep company with 交際する。depraved 墮落した。『参考: depravity 墮落。to argue=to prove 證明する。vicious 惡徳の、不道徳の。to frequent [frɪkwənt]=to go often to 屢々行く。inevitable=unavoidable 免れがたい。degradation=depravity 墮落。』

【考へ方】 a low taste and vicious tendencies が argues の Object。ここまでが一つの Independent Clause で to frequent 以下が又一つの Inde-

pendent Clause である。

【譯】 墮落した人間と交際するところは趣味の下等である事と背徳的傾向があるといふ事を示し、然かも彼等の社會と屢々交際すると避け難い品性の墮落を招くに到るものである。

【重要語句】 to associate with, to argue, vicious, tendencies, to frequent, inevitable, degradation.

【問題 93】 No doubt I have often repented speaking; **but not less often** have I repented keeping silence.

【語句】 to repent = to regret 後悔する。not less often = as much often それにも劣らず屢々。have I repented と have が Subject の前に来たのは not less often といふ Adverbial Phrase が前に来たからである。

【譯】 成程私は喋つて後悔した事もよくあるが黙つてゐて後悔した事も同じ位ある。

【重要語句】 no doubt, to repent, not less often.

【問題 94】 A few steps across the lawn brought him to the summer-house, **and** in it, close by the window, *absorbed in a book*, sat a boy, with a bright yet gentle face, fully three years younger than himself.

—大正 11. 商船

【語句】 summer-house 四阿(亭)。to be absorbed in = intent uponに餘念がない。

【考へ方】 absorbed in a book は sat を修飾する。boy が Subject で sat が Verb, with 以下は boy を修飾する。

【譯】 芝生を横切つて五六歩行くに彼は四阿に来た。そして四阿の窓の直ぐそばに聰明らしくはあるが温和な顔をした年の頃は彼よりも確かに三つは若い少年が讀書に餘念なく腰かけてゐた。

【重要語句】 summer-house, to be absorbed in.

【問題 95】 He showed masterly statesmanship **and** soon brought the general current of opinion completely over to himself.

—大正 11. 東京高藝

【語句】 masterly 熟練な、見事な。statesmanship 政治的手腕、經國の才。general current of opinion 輿論の趨勢。bring over (自分の方に)引き

入れる、心に向けさせる。

【譯】 彼は見事な政治的手腕を示し間もなく輿論の趨勢を自分の方に全然惹きつけて仕舞つた。

【重要語句】 masterly, the general current of opinion, statesmanship.

第四項 Mixed Sentence

【問題 96】 **If you are forced to refuse a favour**, do so in gentle tones, and give your reasons whenever you can.

—大正 12. 盛岡高農

【語句】 to be forced to = to be obliged to 嫌でも願でも……しなければならぬ。to refuse 断る。favour 頼み事。tone 調子。

【考へ方】 do so の so は refuse it である。

【譯】 若し諸君が人から頼まれた事をどうしても断らなければならぬ場合には穏かな調子で断りなさい、そして出来る時には何時もその理由を述べなさい。

【重要語句】 to be forced to, to refuse a favour, tone.

【構文上の要點】

- (1) { If you are forced to refuse } Adverbial Clauses
 { whenever you can }
- (2) { do so in gentle tones } Independent Clauses
 { give your reasons }

即ち本文は Complex S. と Compound S. が混合してゐるからかゝる文を Mixed Sentence と云ふ。

【問題 97】 By the treaties **which ended the war** a League of Nations was formed **and** it included the opponents of Germany and *such* neutral nations, large and small, **as chose to join it**.

【語句】 treaty 條約。to include [inklú:d] 包含する。『参考: to exclude 除外する。opponent [əpóunənt] 反対者。『参考: to oppose 反対する。opposition 反対。opposite 反対の。neutral [nju:tr(ə)] 局外中立の。『参考: neutral state 中立國。neutral zone 中立地帯。neutrality [nju:trælitɪ] 中立。to neutralize 中立を宣言する、中和する。

【考へ方】 by the treaties which ended the war は was formed を修

飾し such.....as chose to join it は「これに参加する事を欲する大小の中立國」となる。

【譯】 この戦争の終結をなしてある條約によつて國際聯盟は組織され、これには獨逸の敵對國並に之に加入を欲する大小の中立國を包含した。

【重要語句】 treaty, to end, to form, to include, opponent, neutral, such.....as.

【構文上の要點】

- (1) { A League of Nations was formed it }
 { included the opponents of Ger- } Independent Clauses.
 { many and such neutral nations }
- (2) { which ended the war }
 { as chose to join it } Adjective Clauses.

【問題 98】 A lad whose leisure time is given up to such light reading can never acquire any but a light, trifling cast of mind; and will be wanting in that solidity and steadiness needed by one who means to "get on" in life.

【語句】 to be given up to = to be devoted to 全然それに向ける。light reading 軽い讀物。『参考: light literature 軟文學。light = fickle, inconstant 移り氣の。trifling 取るに足らない。cast of mind 心の型、氣だて。to be wanting in = to be lacking in, 缺く。solidity [sɒlɪdɪti] 堅實味。『参考: solid 堅實な。to get on in life = to succeed in life 立身する。

【考へ方】 whose leisure time is given up to such light reading は主語である lad を修飾してゐる。can never acquire any but.....,より以外の如何なる氣立も得られない。needed は solidity and steadiness を修飾する。

【譯】 閑暇を云ふ閑暇をかうした軽い讀物に全然つぎして了ふ青年はふらふらした取るに足らぬ氣立の人間にしかねない。そして「出世」しようと思ふ人にはなくてならぬ堅實味を缺くものだ。

【重要語句】 to be given up to, light reading, trifling, cast of mind, to be wanting in solidity, to get on in life.

【構文上の要點】

- (1) { A lad can never acquire... cast of mind }
 { he will be wanting... in steadiness } Independent Clauses.

- (2) { whose leisure time.....reading }
 { who means to get on in life } Dependent Clauses.

【問題 99】 We want to get into good society not that we may have it, but that we may be seen in it; and our notion of its goodness depends primarily on its conspicuousness.

昭和 2. 東京高工

【語句】 society [sə'saɪəti] 社會、交際社會、人中。not that we may..... but that we may.....が出来る様にはなく.....が出来るやうに。例: Not that he has no time to do it, but that he has no mind to do it. 時間がないのでなくする氣がないのである。notion = idea 考へ。primarily = chiefly 主として。conspicuousness [kəns'pɪkjʊəsni:s] 顯著。『参考: conspicuous 目立つた。

【考へ方】 not that we may....., but that we may..... は to get into を修飾する。it は good society を指す。

【譯】 吾々は上流社會に出たがるが、これはそれ等の人達と交るためではなくてその中に居るのを見られたいためだ。そして吾々の上流さいふ概念はその社會が人目につくか否かさいふ事に依つて定まるのである。

【重要語句】 not that we may....., but that we may, conspicuousness.

【構文上の要點】

- (1) { that we may have it }
 { that we may be seen in it } Adverbial Clauses.
- (2) { We want to get into good society, }
 { our notion of its goodness..... } Independent Clauses.

【問題 100】 Criminals are observed to grow more anxious as their trial approaches; but after their sentence is passed, they become tolerably resigned, and generally sleep sound the night before its execution.

—昭和 2. 明專

【語句】 criminal 罪人。『参考: crime 犯罪。to observe = to take notice of 認める。trial = judicial examination 裁判。sentence = verdict 判決。『参考: to sentence 刑に處す。tolerably [tə'lərəbli] かなり。『参考: to tolerate 大目に見る。toleration 黙認。resigned [rɪ'záɪnd] 諦めて居る。『参考: to resign 請める、辭職する。resignation [rɪ'zɪgneɪʃən] 請め、辭職。

execution 実行、死刑執行、『参考 to carry into execution 実行する。

【考へ方】 as their trial approaches は more を修飾する Adverbial Clause.

【譯】 罪人は裁判の日が近づくに従つて益々心配になつて来る様子が認められるが、判決がすむさかなり諦めてしまつて大概死刑執行の前夜は熟睡するものだ。

【重要語句】 criminal, trial, sentence, tolerably, to be resigned, execution.

【構文上の要點】

- (1) { Criminals are observed.....anxious,
they become tolerably resigned the } Independent Clauses.
night before its execution
- (2) { as their trial approaches } Adverbial Clauses.
after sentence is passed }

第二節 叙述による文の種類

第一項 Declarative Sentence

【問題 101】 *It sometimes happens that men are much better than they have credit for being, and as often men are much worse than they appear to be; that is, men may have a reputation either better or worse than their character.*

【語句】 credit 評判、信用, they have credit for being = they are believed to be. reputation 評判, to appear to be, 外部から見える、見かけ。

【考へ方】 it は that 以下の Clause を指す、as often は sometimes と同じ程度に於て。that is = that is to say, namely 即ち。

【譯】 人はかうたといふ評判よりも遙かに勝れてゐることもあるが又同時に見かけよりも遙に劣つてゐることもある、即ち人はその品性よりも以上か以下の名聲を有するのである。

【重要語句】 credit, reputation, to be appear to be, that is.

【構文上の要點】 この文のやうに事實をそのままに述べる文を Declarative Sentence といふ。

【問題 102】 *There are few who do not know the difference*

between character and reputation, though there are few who have analyzed and defined their own ideas. A man's inward habits and mental condition form his character. This will work out to the surface in some degree, and in some persons much more than in others.

【語句】 to analyze [æ'nəlaiz] 解剖する、分解する、『参考: analysis [ənə'leɪsɪs] 解剖、『参考: analytic [æ'nəlɪtɪk] 解剖上の、to define [dɪ'faɪn] 定義を下す、意味を明かにする、『参考: definition 定義、to work out 次第に表はれる、in some degree = to some extent 或程度まで。

【考へ方】 a few と few とを區別して考へねばならぬ。例: There are a few honest people here. こゝには正直の人は少しは居る。There are few honest people here. こゝには正直の人は少い。a few は肯定の言ひ方、few の方は否定の言ひ方。

【譯】 品性と評判との區別を知らない人は殆どないが自分の考を分解し説明した人も殆どない。人の内的習慣と心的状態とがその品性を形成するものである。この品性なるものは或る程度迄表面に顯はれるものであるが他の人に比較して餘計に顯はれる人もある。

【重要語句】 reputation, to analyze, inward, to work out, in some degree.

【問題 103】 *The great use of a school education is not so much to teach you things, as to teach you how to learn—to give you the noble art of learning, which you can use for yourselves in after life on any matter to which you choose to turn your mind.*

【語句】 not so much.....as.....,ではなくてむしろ.....である(前出)、to give you.....は is にかゝる、which は the art of learning を受け、use の Object となり on につづく、which は matter を受ける、to choose to 進んで.....する。

【譯】 学校教育の大用途は事物を教へること云ふよりも寧ろ學習法を授ける事に存するのである。學習法は即ち立派なる學問の技術であつて、諸君が進んで爲さうとする如何なる事に對しても、後年に

及んで諸君が獨力で用ひられるものである。

【重要語句】 not so much..... as, for oneself, to choose to.

【問題 104】 **That** the scientific progress has been wonderful cannot be denied, but that it of itself gives us the right to *look upon* ourselves as the most highly civilized people that the world has ever seen *is open, at least, to question.*

—昭和 2. 高校第一班

【語句】 scientific [saiəntifik] 科學の。『参考: science 科學, scientist 科學者, of itself ひとりにて、自然と。 to look upon..... as..... = to regard..... as.....,を.....と見做す。 civilized people 文明人, open to question = open to doubt 疑ひの餘地がある。『参考: open to discussion 審議の餘地がある。

【考へ方】 第一段 That the scientific progress..... wonderful は Noun Clause で Subject. cannot be denied は Predicate Verb. 第二段 that it of itself..... seen までは矢張り Noun Clause で、 is open to question に對する Subject. to look upon ourselves as the most civilized people は right を修飾する。 that the world has ever seen は people を修飾する Adjective Clause である。

【譯】 科學の進歩に驚異に値するものがあつたことは何人も否定することは出来ないが、それだけで自然に吾々を世界未曾有の文明國人であると思ふ権利ありとする事は少くとも疑問の餘地がある。

【重要語句】 scientific, to deny, to look upon..... as....., civilized, to be open to question.

【問題 105】 *Viewed purely from an intellectual standpoint,* as a man accomplishing worldly ends by worldly arts,—by generalship, by faculty of combination, by administrative genius,—he was undoubtedly the greatest that ever lived.

—大正 15. 東京外語

【語句】 viewed = when he is viewed. intellectual [intiléktsjuəl] 知的の。『参考: intellect 智力, standpoint = point of view 見地, worldly ends 俗界の目的, generalship 統御の技倆, combination 結合。『参考: to combine 結合する, administrative [administrativ] 行政上の。『参考:

administration 行政, undoubtedly = no doubt, doubtless 疑もなく、確に。

【考へ方】 第一段 この文の如きはその主眼である Subject を第一に求めねばならぬ。前半は皆形容文句で Subject は he である。即ち he was undoubtedly the greatest that ever lived はこの文の主眼であり他は皆手足である。 第二段 viewed from an intellectual standpoint は was を修飾する。 as a man accomplishing worldly ends は viewed を修飾し、 by worldly arts は accomplishing にかゝり、以下は by worldly arts の説明である。

【譯】 世俗的の手腕、即ち統御の才、結合の才、天才的行政の才に依つて俗界の目的を達成した人間として單に知的見地から觀れば彼は空前の偉人であつた。

【重要語句】 viewed, intellectual, standpoint, accomplish, administrative.

第二項 Interrogative Sentence

【問題 106】 **Would there be** fun in adding to his troubles by such a petty annoyance?

【語句】 to add to 附け加へる。 petty = small, insignificant つまらない。 annoyance [ənɔɪəns] 迷惑。『参考: to annoy 迷惑をかける。

【譯】 そんなつまらない迷惑をかけて彼の苦勞を増した處で面白いことがありますか。

【重要語句】 petty, annoyance.

【構文上の要點】 疑問を表はす文を Interrogative Sentence と云ふ。

【問題 107】 **Is it worth while being** rich, if one is never to eat or drink anything nice, and *do nothing but* heap up money?

【語句】 worth while + Gerund (or Infinitive)..... する價值がある。例: It is *worth while to read* this book twice = This book is *worth reading* twice. この本は再讀の價值がある。 do nothing but heap up money 金を貯へる事より以外に何もしない、金を貯へることばかりする。例: The boy *does nothing but cry* all day. その子供は終日泣いてばかりゐる。

【考へ方】 it は being rich を指す。この場合 to be rich となつて居る事もある。 one は人を指す。

【譯】 人が何一つうまいものを飲みもせず食ひもせず貯金はかりして居たとしたら金持になる価値があらうか。

【重要語句】 it is worth while to (or Gerund), to do nothing but + Root.

【問題 108】 The important thing is **not so much** that every child should be taught, **as** that every child should be given the wish to learn. **What does it matter** if the pupil knows a little more or a little less?

【語句】 not so much.....as..... は前出。to matter 重大の関係がある。What does it matter? 何の関係があるかどうかでもよいではないか。例: It *does not matter* much what kind of business you follow for a living, provided it is honest and harmless. 正直で害がなければ生活上どんな仕事に従事しても大した関係はない。

【考へ方】 the important thing は Subject だから「重要な事は.....である」となるが、譯文としては that 以下を主語として「.....といふ事は重大である」と云つてよい。a little more, a little less は knows にかゝつて「それよりも少し餘計に、又は少し少く知る」の意である。

【譯】 重大なことはごの子供にも教へなければならぬといふのではなく、寧ろ學ぼうといふ欲望を起させなければならぬといふ事である。生徒が少し餘計に覚えやうが、少し少く覚えやうが、そんな事は大きな問題ではない。

【重要語句】 What does it matter?

【問題 109】 **Has there been** a time when no stories were told? **Has there been** a people who did not care to listen? I think not. When we were little, before we could read *for ourselves*, did we not gather eagerly round father and mother, friend or nurse, at the promise of a story? When we grew older what happy hours did we not spend with our books?

—大正 14 東京高師

【語句】 to care to listen = to like to listen 聴くのを好む。for ourselves 獨力で。a people = a nation 國民。people に “a” がなければ「人々」の意味となるから注意しなければならぬ。例: The Japanese are a brave *people*.

日本人は勇敢な國民である。I think not. は I do not think so. ではなく I think there has **not** been a time....., and there has **not** been a people..... の意である。

【譯】 嘗て物語が話されなかつた時代があつたらうか。物語を聴くことの好きでない國民があつたらうか。私はなかつたと思ふ。吾々が小さくて獨りで本が讀めなかつたときに吾々は物語をして聴かせるからといふ両親や友人や乳母の周りに熱心に集らなかつたらうか。成人してからは讀書して極めて楽しい時をすごさなかつたであらうか。

【重要語句】 to care + Infinitive, I think not.

【問題 110】 Why do I give so much of my time to the reading of history? **Is it** in any sense profitable to me? What new light **can I hope** for on the nature of man? What new guidance for the direction of my own life through the few years that may remain to me? But *it* is with no so much purpose *that* I read these voluminous books; they gratify—or seem to gratify—a mere curiosity; and *scarcely* have I closed a volume, *when* the greater part of what I have read in it is forgotten.

—大正 14 長崎高商

【語句】 in any sense 何等かの意味で。profitable 利益のある。『参考: profit 利益を得る、利益。light 光明。』『参考: to bring to light 明かにする。to give (throw) light on.....,を明かに説明する。guidance [gáid-(ə)ns] 指導。』『参考: guide 道案内、to guide 案内する、guide-book 案内記。for the direction of.....,の指圖の爲の。voluminous [vɒl(j)ú:mɪnəs] 浩蕩なる、大部の。』『参考: volume 巻。to gratify = to give satisfaction to 満足させる。』『参考: gratifying 満足な。gratification 満足。curiosity [kjʊəri'ɒsɪti] 好奇心。』『参考: curious 好奇心の強い。curio 骨董品。』

【考へ方】 that may remain to me は few years を修飾する Adjective Clause, it is with.....purpose の it は that 以下を指す。scarcely have I closed a volume when の scarcely have.....when は hardly have.....before..... するや否や.....したとなる。

【譯】 何故私は歴史の鑑讀にこれほどの時間をかけるのか。何等

かの意味で自分の利益になる事でもあるのか。人性を説明するためのさういふ新事実を期し得るか。老先の短い年月を通じて自分の生活を指導するさういふ新しい手引が得られるか。然し私が浩瀚な数々の本を読むのはかうした目的のためではない、これ等の本は單に好奇心を満足させる—或は満足させる様に思はれる。そして一巻を閉ぢるや否やその本で自分が讀んだ大部分は忘れて了ふ。

【重要語句】 profitable, guidance, voluminous, to gratify.

第三項 Exclamative Sentence

【問題 111】 **How many a time have I taken it** (my penholder) **up**, loathing the necessity, heavy in head and heart, my hand shaking, my eyes sick-dazzled! **How I dreaded the white page I had to foul with ink!**

【語句】 to loathe [louð]=to detest, to abominate 大いに嫌ふ。

【考へ方】 have I taken it の have が Subject の前に来て居るのは how many a time といふ Adverbial Phrase が文頭にあるからである。heavy, sickdazzled の前には being が省略されてある。

【譯】 自分は餘儀なさをひざく嫌ひながら、頭も心も重苦しく、手先はふるへ、目は眩みながらいく度びペン軸をさり上げたことであらう。私はインキで汚さねはならぬ白い紙面をどんなにか恐れた事であらう。

【重要語句】 to loathe.

【構文上の要點】 本文のやうに感嘆の意を述べたる文を Exclamative Sentence と云ふ。

【問題 112】 **How well would the revenues of a country be expended**, if, by mere pensioning, one-fifth of its population could be induced to live as I do!

【語句】 revenue [révinju:] 歳入、収入, to expend=to spend 費す。『参考: expenditure 消費、費用, to pension 恩給を給する。』『参考: pension 恩給。例: He was granted a pension. 彼は恩給を貰つた。』 to induce 説いて……させる。

【考へ方】 by mere pensioning は could be induced にかゝる。

【譯】 若し單に恩給を支給するだけで國民の五分之一が私のやうな生活をする氣になれば一國の歳人はどれ程善用される事たらう。

【重要語句】 revenue, to expend, to induce.

【問題 113】 **Heavens, how I laboured in those days!** And how far I was from thinking of myself as a subject for compassion!—

【語句】 heavens=good (great, gracious) heavens 本當に。to be far from+Gerund ……することから遠い、即ち……するなど思ひもよらぬ。例: I was far from asking him for money. 彼より金を借りやうなど、いふ考は全然なかつた。compassion [kəmpəʃən] 憐み。『参考: compassionate 同情ある。』

【譯】 全くあの當時私はどんなに働いたことたらう。そして自分を憐みの種(か)であるなごころは微塵も考へなかつた。

【重要語句】 heavens, to be far from+Gerund, compassion.

【問題 114】 **How many are wicked only because they are physically weak!** Many a youth becomes mortally depraved simply because he has been a stranger to fresh air, cold water and exercise.

—大正 12. 上田露糸

【語句】 mortally=fatally, exceedingly 致命的に、非常に。depraved 墮落した。『参考: depravity 墮落, to be a stranger to……, ……を知らぬ。例: He is a stranger to poverty. 彼には貧乏の味は分らぬ。』

【考へ方】 only, simply は何れも because を修飾する。many a youth は many youths の Emphatic Form でこれを受けるには單數の代名詞及び動詞を以てする。

【譯】 單に身體が虚弱であるだけの理由で悪人となつたものが何人あることたらう。新鮮な空氣、冷水、並に運動を知らないさういふだけの理由で非常に墮落した青年が幾人居るか知れぬ。

【重要語句】 mortally, to be a stranger to.

【問題 115】 線を施したる部分 (1), (2), (3) を譯すべし。

(1) Time and again it has been found that people who lost

heart under fire were just this side of victory over their difficulties when they threw down their weapons and gave up the battle in despair. (2) How often has a letter or a telegram with good news, that would have heartened and encouraged a discouraged one to fight on, come just after the sufferer had ended it all! (3) How often has a friend bearing relief come just after the irrevocable deed had been done! Yet we continue to read daily in the newspapers of people, young and old, who lose faith and commit suicide because of failure in business, loss of property, loss of friends, trouble in the home—for a thousand and one reasons. 一大正 11. 商大専門部

【語句】 time and again = frequently 幾度も。under fire 砲火を浴びて。to lose heart = to be disheartened 意氣沮喪する。just this side of victory 勝利のすぐ手前。to give up battle in despair 絶望のあげく戦を断念する。to hearten = to cheer up 勵ます。↑参考: to take (pick up) courage 元氣を出す。to end it all, it は Indefinite の it で特に指すものなく漠然と事業を指す、萬事終つて了ふ。a friend bearing relief 救助を齎す友人。irrevocable [irévokəbl] 取返しのつかない。

【考へ方】 第一段 it は that 以下の Clause を指し who は people を修飾する。were の Subject は people, when 以下の Adverbial Clause は were にかゝる。第二段 with good news は letter, telegram 兩方を修飾する。letter or telegram が Subject でその Predicate Verb は has come である。has が Subject の前にあるのは前述の様に how often といふ Adverbial Clause が前にあるためである。第三段 bearing relief は friend を修飾する。

【譯】 (1) 砲火を浴びて交戦中志氣沮喪した人々が武器を投げ捨て、絶望のあげく戦を断念した時には今一息で困難に打ち勝つ瀬戸際であつたといふやうな事が今日まで幾度もなくあつた事だ。(2) 吉報を告げる手紙や電報が順當に配達になれば失望して居る人も氣を取り直して勵みがついて更に戦ひ続けやうものを、當の遭難者が覺をつけて仕舞つてからおくれはせについたといふやうな事がこれまで幾度あつた事たらう。(3) 取り返しのつかない行爲をして仕舞つたすぐ後に救助を齎す友人が来たことも幾度あつた事たらう。

【重要語句】 time and again, to lose heart, to give up.....in despair, relief, irrevocable, to hearten.

第四項 Imperative Sentence

【問題 116】 Go at your business, let it be what it may, with a hearty good will, and go ahead in it.

【語句】 to go at (仕事などを) 始める。例: I will now go at my lesson. これから課業をやらう。let it be what it may = whatever it may be, no matter what it may be, それは何であらうとも。例: Do your work with all your might, let it be what it may. 仕事の何たるを問はず一生懸命にやれ。with a hearty good will 本氣で勇んで。to go ahead ぐんぐん仕事を進める。

【考へ方】 let it be what it may も with a hearty good will も go at を修飾する。

【譯】 何事であらうと仕事には本氣で勇んで取りかゝりぐんぐん進めて行きなさい。

【重要語句】 to go at, let it be what it may.

【構文上の要點】 本文のやうに命令を云ひ表はす文を命令文 (Imperative Sentence) といふ。

【問題 117】 Never despise anyone for anything that he cannot help—least of all, for his poverty.

【語句】 to despise = to look down upon 輕んず、侮る。cannot help 救済の方法がない、仕方がない。例: It cannot be helped. 仕方がない。what cannot be helped, forbear. 仕方がない事は我慢しなさい。least of all 殊に.....するな。

【考へ方】 least of all は despise にかゝる。

【譯】 仕方がない事で人を侮つてはならぬ、殊に貧乏だからとて輕んじてはならない。

【重要語句】 to despise, cannot help, poverty.

【問題 118】 Remember, then, as long as you live, that nothing but strict truth can carry you through the world with either

your conscience or your honour unwounded.

【語句】 nothing but の but は except の意, strict 厳密な, conscience [kɒnʃ(ə)ns] 良心, 『参考: conscientious [kɒnʃiəns] 實直な。

【考へ方】 as long as you live は remember を修飾し, that 以下の Noun Clause は remember の Object である。

【譯】 そこで厳密な誠實を以てしなければ到底良心も名譽も傷けないで世渡りをすることは出来ないさういふことを一生涯記憶しなさい。

【重要語句】 nothing but, conscience.

【問題 119】 **Do not lose your temper; that never pays in America.** The natives would only enjoy it. Take the matter laughingly. This is the advice the American gave me, and I recommend it to you, if ever you are similarly placed.

—大正 14 徳島高工

【語句】 to lose one's temper = to lose one's patience 癩癩を起す, 『参考: to keep one's temper = to control oneself 怒らずに居る, to be in a good temper = to be in good humour 機嫌がよい, to be in a bad temper 機嫌が悪い, to pay (自動詞) 割に合ふ, 引き合ふ, 例: This kind of work *does not pay*. かういふ仕事は割に合はない, native 土人, こゝでは米國人, to take the matter laughingly 物事を餘りつきつめて考へない, 笑ひながら事を處理する, 『参考: to take things seriously 物事を眞面目に考へる, to take things easy 物事を呑氣に考へる, to recommend [re-kə'mend] 推薦する, 『参考: recommendation 推薦, to be similarly placed 同じ地位に置かれる。

【考へ方】 that は lose your temper を指す。

【譯】 癩癩を起すな。米國では癩癩を起しては引合はない。米國人はそれを面白がるだけたらう。笑ひながら事を處理せよ。これが米人が僕への忠告だ、君が將來僕と同じやうな地位につく場合があつてもこの忠告をお薦めする。

【重要語句】 to lose one's temper, to pay, to recommend, similarly.

【問題 120】 **Keep in mind, in the first place, that though the library-shelves groan with books, there are in each depart-**

ment only a few great books, *in relation to* which others are but auxiliary.

—大正 14 京都高工

【語句】 to keep in mind = to bear in mind, to remember 心に留める, in the first place 先づ第一に, library-shelves 圖書館の棚, to groan with books 書物がぎつしりと積んであるので呻吟する(と人に譬へていふ), department 部門, in relation to.....に關して, but auxiliary [ɔ:gzɪljəri] 補助に過ぎない, 『参考: auxiliary cruiser 補助巡洋艦, auxiliary verb 助動詞。

【考へ方】 in the first place は keep in mind にかゝる, keep の Object は that 以下の Clause を指す, though the library-shelves groan with books は are を修飾する Adverbial Clause, which は great books を受ける。

【譯】 圖書館の書棚には唸る程書籍が一杯積んであるが、各部門に互つて、外の本はよい本に對してほんの補助的のもので名著は極めて少い、さういふことを第一に念頭におきなさい。

【重要語句】 to keep in mind, in relation to, auxiliary.

第五項 Optative Sentence

【問題 121】 **May the charity of God and the care of His angels go with him, keep him from poverty, shield him from sickness, guard him from evil, and ever lift his heart with warmth and joy, as he has filled mine this day!**

【語句】 charity 慈善, 『参考: charitable 慈悲心の深い, to shield...from.....,から保護する, 庇ふ, to guard.....from..... = to defend from.....,から防禦する。

【考へ方】 may + Subject + Root で「何々が何々することを祈る」といふ祈願文の形式を構成する, 例: *May you succeed!* 御成功あらん事を, God bless you! 貴君の上に神様の加護がありますやうに。(この God の前には May が省かれてゐる)。

【譯】 神様の御慈悲と天使の加護さが彼の人を離れず、彼の人を貧困から救ひ、病氣から保護し、禍から防ぎまして、いまし私の心をみだし給ふ様に、温情と歡喜を彼の人の心に湛えて下さいませ!

【重要語句】 charity, to shield.....from....., to guard.....from.....

【構文上の要點】 本文のやうに祈願を表はす文を祈願文 (Optative Sentence) といふ。この文は may が主語の前に来て居る事が本體であるがこの語は往々省略され、多くの場合 (!) で文を結んで居る事に注意を要する。

【問題 122】 All honour to those great hearts, who, from their high station, send down bounty to the widow, and to the fatherless child.

【語句】 All honour to those great hearts! = May all honour be given to those great hearts! あの慈悲深い方々に凡ての名譽の恵まれますやうに! bounty = charitable gift 恩恵。

【考へ方】 who は great hearts を受け send down とつゞく。

【譯】 高貴の身分でこの寡婦と父のない子供に恩恵を下された慈悲深い方々にあらゆる名譽の恵みがありますやうに!

【重要語句】 bounty.

【問題 123】 Peace and goodwill to Irish people everywhere! Throughout the English-speaking nations this prayer comes from the hearts of men, for the prospects of a Great Peace for Ireland has sent a thrill of thankfulness around the world.

—大正 11. 京都醫大豫科

【語句】 prospect 見込, thrill ぞつとする思ひ。Peace の前に May を入れ goodwill の次に come を補ふ。

【考へ方】 the prospects of a Great Peace... ..the world は「アイルランドが大平和を得るといふ見込が全世界に感謝の身震ひを送つた」といふのだが、主語を手段のやうに譯して全世界の人達を主語として譯す方が日本文として明瞭となる。

【譯】 到る所アイルランド人に平和と好意があれかし。英語を話す國民を通じてこの祈禱は人々の心から湧き出るのである。さういふのは、アイルランドに大平和が恵まれさうたさういふ見込がついたので全世界の人々は感謝の念で身内がぞくぞくしたからである。

【重要語句】 prospect, thrill.

【問題 124】 Woe to him that claims obedience, when it is

not due; woe to him that refuses it when it is!

—大正 11. 廣島高師

【語句】 woe to him = may woe come to him, 禍あれかし。to claim = to demand as one's due 當然の權利として要求する。when it is not due 服従が當然與へられるべきでない時、即ち服従を要求すべきでない時の意。to refuse 拒絶する。参考: refusal 拒絶。

【譯】 當然の理由もなく服従を要求する者に禍ひあれかし。當然の理由あるとき之を拒む者に禍ひあれかし。

【重要語句】 to claim, to refuse.

【問題 125】 God grant, when the noon of my life comes, it may find some work finished!

—昭和 3. 長岡高工

【語句】 to grant.....する事を許容する。God grant = may God grant 神よ願はくば.....する事を許させ給へ。例: God grant that we get there alive! 神よ願はくば我等をして生きて彼地に到達するを得しめ給へ。本文には Conjunction の that を省略した型で出している。the noon of my life = the prime of my life 働き盛り、壯年時代。it = the noon of my life.

【考へ方】 finished は Past Participle で find の不足を補ふ Objective Complement として用いられ「何等かの仕事が完成されてあるのを見る」の意となる。

【譯】 神よ願はくば私が壯年に達した時には何か仕事を完成せしめ給へ。

【重要語句】 God grant that....., the noon of one's life, the prime of one's life.

總 括

I. 文の種類

A. 構造による文の種類

1. Simple Sentence
2. Complex Sentence
3. Compound Sentence
4. Mixed Sentence

B. 叙述による文の種類

1. Declarative Sentence
2. Interrogative Sentence
3. Exclamative Sentence
4. Imperative Sentence
5. Optative Sentence

II. 應用和文英譯問題 (3)

[A]

106. 國際聯盟は戦争と平和の問題を取扱ふために創設されたものであることを記憶せねばならぬ。

創設する to form, to organize, 記憶する to remember.

107. 我國の輸入は年々増加して行く。

輸入 imports, 年々 year by year, year after year, every year, 増加する to increase (減ずる to decrease).

108. 長上に対してはさんなに禮をつくしてもつくしすぎることはない。

長上 a superior, 禮をつくす to be polite to.

【考へ方】 本問題については(問題84)参照。

109. 運動もすぎるゝ害になる。

害になる to be injurious to, to injure.

【考へ方】 「運動もすぎるゝ」は「餘り多くの運動は」とか「過度の運動は」として考へる。

110. 肉食は私の性に合ひません。

肉食 to eat meat, animal food, meat-eating [菜食 a vegetable diet], 性に合ふ to agree with.

111. 人々は食物の不足に苦しんでゐる。

食物 food-stuffs, 不足 want, scarcity, 苦しむ to suffer from.

112. 我國では徴兵は國民の義務である。

徴兵 military service. 國民の義務 a national duty.

113. 近頃の世界戦争では飛行機と潜水艦とが目醒ましい働きを

なしてゐる。

世界戦争 the World War, 目醒ましい働きをする to play an important part in.

114. 私はロンドン滞在中にあの人と知合になつた。

知合になる to get acquainted with, to become acquainted with.

115. 妙に聞えるかも知れないがそれは全く事實だ。

聞える to sound, (to hear はこゝでは不適當である)。

116. 私が現在の地位を得たのは全く彼の周旋によるのです。

現在の地位 my present position (post), 全く entirely, 彼の周旋による owing to (through) his good offices, (offices と複數にすることに注意)。

117. 吾々を墮落させるのは貧困でなくて富である。

……でなくて……であるについては(問題90)参照。墮落させる to deprave one, to degrade one, to corrupt one, 貧困 poverty.

118. 僕は君の成功を聞いて言葉に顯はし得ぬ位に嬉しかつた。

言葉で云ひ顯はす事が出来ない inexpressible, indescribable, to be beyond expression (description).

119. 嘘をつくのは悪いといふ事は誰も知つて居る。

嘘をつく to tell a lie, (眞實の事を云ふ to speak the truth).

120. 井戸の水が悪いので何處かへ引越さうと思つてゐる。

井戸 well, 何處かへ somewhere, 引越す to move, to remove.

121. 大雨であつたが盛會でした。

大雨 to rain heavily, 盛會 to be a great success.

122. 彼は年はまた若い分別がある。

分別がある to be discerning, prudent.

123. 失禮ですが停車場に行く道を教へて下さいませんか。

失禮ですが Excuse me, but…….

124. 突當りまで眞直にいらつしやいそれから右に御曲りになれはすぐ停車場に來ます。

突當り the end of the street, 右に曲る to turn to the right.

125. 今月の初めから雨が一滴も降らないので道は非常な埃りです。

雨が一滴も降らない not to have a single drop of rain, 埃です to be dusty.

126. 海が荒れて終日家に居なければならぬこともある。

荒れる to be rough, to run high.

127. 世の中には節儉と吝嗇との區別を知らない者が多い。

節儉 economy, thrift, frugality, 吝嗇 stinginess, parsimony.

128. この事件について彼が取つた態度は道徳的見地からすると決して感心出来ない。

事件 affair, question, 態度 attitude, 道徳的見地からすると viewed from a moral standpoint, 決して by no means, anything but, far from, 感心な admirable, praiseworthy.

129. この本は一讀の價值がある。

「する價值がある」については(問題 107)参照。

130. どちらが勝つても負けても構はない。

勝つ to win, 負ける to lose, 「構はない」については(問題 108)参照。

131. 「あなたは洋行したことがありますか。」「いえ、一度もありません。」

洋行する to go abroad であるが、ここでは過去の経験を尋ねるのであるから to have been abroad の型を用るなければならない。

132. 「あなたはどこに行つて来ましたか。」「友人を見送りに停車場に行つて来ました。」

「行つて来た」は to have gone を使つてはならぬ。to have been (to) を用るなければならない。見送る to see off.

133. 「お父さんは何時から御病氣ですか。」「この前の月曜日から病氣で床について居ります。」

何時から how long, この前の月曜 last Monday, 病氣で床につく to be ill in bed, to be confined to one's bed.

134. 今日出来ることは明日まで延すな。

延す to put off, to postpone.

135. 飲食を慎みなさい。

飲食を慎む to be moderate in food and drink, to be temperate in

eating and drinking.

136. 他人の感情を害するな。

感情を害する to hurt another's feelings.

137. 貴下の長壽を祈る。

長生する to live long.

138. 貴下の繁榮を祈る。

榮える to prosper.

139. 御成功を祈る。

140. 貴下の幸福を祈る。

[B]

141. 僕は時勢に遅れないやうに新聞は毎朝讀むことにしてゐる。(大正 15・廣島高師)

時勢に遅れないやうにする to keep abreast of the times, to keep pace with the times, (時勢に遅れる to fall behind the times,).....ここに居る to make it a rule to....

142. 雨が降つてはいけないと思つて僕は傘を持つて行つた。(大正 15・横濱高商)

.....いけないと思つて lest.....should, for fear.....should.

143. 運動会は來週土曜日に開催の筈。(大正 15・鳥取高農)

運動會 athletic sports, an athletic meeting, 開催する to take place, to be held.

144. 電車が故障でもあつて後れるといけなから早めに家を出る方がよい。(大正 15・高校一班)

故障 a break-down, 後れる to be delayed, to be late, いけなから lestshould, 早めに a little earlier than usual, 方がよい had better + Root.

145. 身體の鍛錬もまた修養の一要素たることを忘れてはならぬ。(大正 15・高校二班)

身體の鍛錬 physical (bodily) training, 修養 culture, 要素 an element, a factor.

146. 彼が立派に難關を切り抜けたのは天才や境遇の力ではなくて全く彼の努力と勉強のお蔭だ。(大正 15・高校一班)

立派に successfully, to succeed in+Gerund, 難關を切り抜ける to tide over the difficulty, to overcome the difficulty, 天才 a genius, 境遇 circumstances (複數に注意), 「力ではない」は「……によるのではない」と考へて owing to, to be due to 等を用ゐる、全く solely, 努力 efforts, exertions, 勉強 industry, diligence, お蔭だ owing to.

147. 昨日買った机はあまり上等ではありませんが當分はこれに間に合はせようと思ひます。(昭和 2. 高校一班)

當分は for the present, for the time being, 間に合はせる to make a thing do, 間に合ふ to serve (answer) the purpose, to be useful, to be of use.

148. 必要は發明の母といふが近時の發明は果して必要の生んだものだらうか。(昭和 2. 高校二班)

必要 necessity, 發明 invention, 近時 the present day, the present age, 「果して」は意味を強めるためであるから必ずしも譯さないでもよい。「生んだもの」は結果と考へる result, だらうか I wonder.

149. 健康、經濟、道德、何れの方面から考へても禁酒の必要が有るやうに思はれる。(昭和 2. 大阪醫大豫科)

何れの方面から考へても Viewed from any standpoint (angle) of, 經濟 economy, 道德 morality, 禁酒 temperance, total abstinence, 必要がある there is need of.

150. その日吾々は暴風雨のため山に登ることが出来ず山麓の小さな宿屋に一泊した。(昭和 2. 東京高師)

暴風雨のため owing to the storm, on account of the storm, 山麓の at the foot of the mountain, 小さな宿屋 an inn, 泊る to put up at, to stay (stop) at.

151. 近頃我國の大都會に自動車の殖えた事は驚く程で同時に自動車による事故も激増した。(昭和 2. 東高師)

近頃 lately, of late, 殖える to increase in number, 驚くべき It is surprising how……, 事故 accident,……による resulting from, caused by.

152. いくら丈夫な人でも不養生をすれば健康を害するのは當然です。(昭和 2. 陸士)

いくら丈夫な人でも however strong one may be, no matter how healthy one may be, 不養生をする, to be careless of one's health, to

neglect one's health, 健康を害する to injure one's health, to break down in health, 當然です It is natural that……should……

153. 田舎にゐた時英語を學んだのですから會話は極めて不得手です。(昭和 2. 宇都宮高農)

不得手 to be poor in.

154. 何でもお好きなものをあがつて下さい。(昭和 2. 長岡高工)
あがつて下さい Please help yourself to……

155. 眼鏡を持つて来い、眼鏡なしではさうにもならぬ。(同上)
どうにもならぬ cannot do without.

156. 君のあの時計は何處で買ひましたか、僕が昨日買ったのと同じのですね。此種類の時計は時間がよく合ひますね。(昭和 2. 濱松高工)

君のあの時計 that watch of yours, 同じ the same as……, 時間がよくあふ to keep good time.

157. 歐米の驚くべき工業の進歩は主として鐵と石炭の豊富なるに基因する。(昭和 2. 仙臺高工)

驚くべき進歩 wonderful progress, 工業 the industries, 主として chiefly, 基因する owing to, due to, 豊富 abundance.

158. 今年の寒氣は特に烈しくて風邪で苦しんだ人々が多かつた。(昭和 2. 横濱高工)

特に especially, 烈しい to be intense, severe, 苦しむ to suffer from.

159. 私は昨晚買った万年筆を學校から歸る途中で失くしてしまいました。(昭和 2. 桐生高工)

万年筆 a fountain pen, 學校から歸る途中 on my way from school.

160. 健康ほど貴いものはありませんから私達は我身を十分注意せねばなりません。(同上)

貴い valuable, precious, 我身を注意する to take care of oneself.

161. 本日突然山田君にお目にかかり、久しぶりに國元の様子色色伺ひ申候。皆様には何時も御壯健の由何よりの事に御座候。(昭和 2. 東京商大薬門部)

突然 to happen to, quite unexpectedly, 久しぶりに for a long time, for

ages, 國元 home, 様子 news, 色々 a lot of.

【考へ方】「何よりの事に御座候」は「非常に嬉しく存じます」の意であるから I am very glad to hear that....., 又は It delights me to hear that..... でよい。

162. 追々暖くなりますが櫻が咲くには早いでせう。御機嫌如何。僕は近頃事務多忙で誠に御無沙汰してゐます。来週土曜日の午後に御差支なくは御足勞を顧つて色々御話し致し度いと思ひますが御都合は如何ですか御返事を戴き度う存じます。(昭和 2. 福井高工)

追々 day by day, 御機嫌如何 How are you getting along? 「誰にも御無沙汰して居ます」は先日來今日までの意であるから Present Perfect Tense を用るなければならぬ I have seldom written to anyone, I have hardly had any time to write to anyone, I have hardly ever sent one a line, 御差支なくば if convenient, could you manage to.....? 「御話ししたい」は「御相談したい」の意であるから to talk over.....with you.

【考へ方】「御足勞を顧つて」と「御都合如何ですか」を一緒にして Could you manage to come to see me.....? 又は May I trouble you to come to see me.....? とすればよい。

163. 今曉錦地に強震有之被害多大の由唯今ラヂオの放送にて承知仕り候。尊邸は如何に御座候や御伺申上候。(昭和 2. 逓官練習所)

強震 a severe earthquake, a terrible shock of earthquake, 被害多大 considerable damage, ラヂオの放送 broadcasting, radio news.

【考へ方】「被害多大」は Participle を用ゐて causing great damage とするか又は Preposition を用ゐて with considerable damage とする。

164. 御相談申上げ度い事が御座いますので御伺致し度う存じます。何日の何時頃が御都合よろしう御座いませうか折返し御一報煩はし度く存じます。(昭和 3 明大論科)

御相談申上げる to talk over.....with you, 何日の何時頃 what time and what day, 都合よろしう to be convenient to one, 折返し by return of post, at your earliest convenience.

165. 當地は閑靜で風景がよく電車の便もありますから御暇の節御來遊下さい。(昭和 2. 専檢)

閑靜 to be quiet, a quiet place, a secluded spot, 風景がよい to command a fine view, 電車の便がある to be near the car-line, to be close by the car-line, to be convenient for the cars.

166. 拜啓先般大阪朝日新聞に廣告相成候貴店發行の「英和辭典」一部下記住所宛至急御送附被下度右代金及郵税ごして拾圓爲替券封入此段御依頼申上候 敬具。

昭和三年二月一日

京城本町一丁目三番地

吉田一郎

K アンド W 商會御中 (昭和 4 京城帝大豫科)

廣告する to advertise, 貴店發行の your, 一部 a copy, 「下記住所」は英語にては住所は上を書くを以て the above-mentioned address, the above address, 至急 at your earliest convenience, 代金 the cost, 郵税 postage, 拾圓爲替 a P. O. for 10 yen, 封入 to enclose.

167. 今度の日曜に筑波登山を試み度いと思ひますから御都合がよかつたら午前八時までに停車場に御出で下さい。(昭和 4 水戸高校)

登山する to climb a mountain, to make an ascent of a mountain, 思ひます I am planning to, I plan to, までに by (till を用ゐてはならぬ)。

【考へ方】「御都合がよかつたら」を if it is convenient to you としては當らない。「同行御希望でしたら」の意であるから if you wish to join me, if you have a mind to go with me としなければならぬ。

168. 御無沙汰に打ち過ぎ申譯これなく候。(昭和 4 弘前高校)

無沙汰 one's long silence, 申譯がない to have no words to apologize for, I do not know what excuse to make.

169. 小生學友濱田一郎君を御紹介申上候。同氏は御地には全く不案内に御座候間何分御世話下され度御願申上候。(昭和 4 福島高商)

御紹介申上候 Allow me to introduce to you Mr.—, Will you kindly pardon the liberty I take in introducing to you Mr.—, 全く不案内 an utter stranger, an entire stranger.

【考へ方】「何分御世話下され度」は「彼に對する貴君の御親切は私の大に感謝する所であります」の意に書き表はす。

170. 来る木曜日の遠足には參加希望致居り候處止むを得ざる用事のため残念ながら同行致し難く候。級友諸君に宜敷御傳言下され度候。(昭和 4 彦根高商)

遠足 an excursion, 參加する to join, to take part in, to be one of the number in, 止むを得ざる用事 unavoidable business, pressing business, 變

念ながら to my regret, I am sorry to say, 宜しく御傳言下さい。 Please send my compliments to... Please give my best regards to... Please remember me to...

解 答

[A]

106. The League of Nations has been formed **to deal with the questions** of war and peace.
107. Our imports steadily increase $\left\{ \begin{array}{l} \text{year after year.} \\ \text{from year to year.} \\ \text{year by year.} \end{array} \right.$
108. You **cannot** be **too** polite to your $\left\{ \begin{array}{l} \text{superiors.} \\ \text{elders.} \\ \text{seniors.} \end{array} \right.$
109. *a.* Too much exercise is $\left\{ \begin{array}{l} \text{injurious} \\ \text{detrimental} \end{array} \right\}$ **to one's health.**
b. If you take too much exercise, you will $\left\{ \begin{array}{l} \text{break down in} \\ \text{injure your} \end{array} \right\}$ **health.**
110. *a.* Meat does not **agree with** me.
b. I cannot **stand** meat.
c. Meat **upsets** me.
111. People **are suffering from** $\left\{ \begin{array}{l} \text{scarcity} \\ \text{want} \end{array} \right\}$ of food.
112. *a.* In our country **military service** is a national duty.
b. Every male subject **is liable for** military service.
113. Aeroplanes and submarines have **played an important part in** the recent World War.
114. I **got acquainted with** him $\left\{ \begin{array}{l} \text{while (I was) staying} \\ \text{during my stay} \end{array} \right\}$ in London.
115. **Strange as it may sound,** it is quite true.
116. It is entirely $\left\{ \begin{array}{l} \text{owing to} \\ \text{through} \end{array} \right\}$ his **good offices** *that* I have got my present position.
117. It is **not** poverty **but** wealth *that* degrades (or corrupts) us.
118. *a.* I was **inexpressively delighted** to hear of your success.
b. **My joy was beyond description** when I heard of your success.
119. Everybody knows that **it is wrong to tell a lie.**
120. As the water of the well is $\left\{ \begin{array}{l} \text{anything but good,} \\ \text{not good,} \end{array} \right\}$ **I am thinking of** moving somewhere.
121. *a.* It rained very hard, but the meeting was **a great success.**
b. In spite of the heavy rain, the meeting **proved successful.**

122. *a.* Though he is young, he is **prudent.**
b. Young as he is, he **has good sense.**
123. **Excuse me, but** will you show me the way to the station?
124. **Go straight on to the end of the street,** then turn to the right, and you will soon come to the station.
125. As **we have had no single drop of rain** *since* the beginning of this month, the road is very dusty.
126. **It sometimes happens that** the sea is so rough that I have to stay at home all day long.
127. There are many people in the world who do not know **the difference between** economy and parsimony.
128. The attitude he took *in connection with* this question is $\left\{ \begin{array}{l} \text{far from} \\ \text{anything} \\ \text{by no} \end{array} \right.$ **being** $\left. \begin{array}{l} \text{but} \\ \text{means praiseworthy} \end{array} \right\}$ **admirable from a moral point of view.**
129. *a.* This book **is worth reading once.**
b. It is worth while $\left\{ \begin{array}{l} \text{reading} \\ \text{to read} \end{array} \right\}$ **once.**
130. **It matters nothing** to me which side may win or lose.
131. **Have you ever been** abroad? No, I **have never been** abroad.
132. **Where have you been?** I **have been to** the station to see off a friend of mine.
133. *a.* **How long has your father been ill?** He has been ill *since* last Monday.
b. How long is it since your father got ill? He has been ill since Monday last.
134. **Never put off** till to-morrow what you can do to-day.
135. *a.* **Be temperate in** food and drink.
b. Be moderate in eating and drinking.
136. **Never hurt the feelings of others.**
137. **May you live long!**
138. **May you prosper!**
139. **May you succeed!**
140. **May you be happy!**

[B]

141. *a.* I **make it a rule** to read newspapers in the morning **to keep abreast of the times.**

b. I make a point of reading newspapers every morning so as not to fall behind the times.

142. *a.* I took an umbrella with me lest it should rain.

b. I took an umbrella with me for fear I should be caught in the rain.

143. The athletic sports are to $\left\{ \begin{array}{l} \text{be held} \\ \text{take place} \end{array} \right\}$ next Saturday.

144. You had better leave home a little earlier than usual lest you should be delayed by a break-down on the tram-car.

145. You must $\left\{ \begin{array}{l} \text{not forget} \\ \text{bear in mind} \end{array} \right\}$ that $\left\{ \begin{array}{l} \text{physical} \\ \text{bodily} \end{array} \right\}$ training is also one of the elements of culture.

146. *a.* It is not his genius and circumstances, but his efforts and industry that has enabled him to overcome the difficulty.

b. It is altogether owing to his exertions and diligence, not to his genius and circumstances that he has succeeded in tiding over the difficulty.

147. The desk (which) I bought yesterday is not very good, but I think I will make it do $\left\{ \begin{array}{l} \text{for the present.} \\ \text{for the time being.} \end{array} \right\}$

148. It is said that necessity is the mother of invention, but I wonder if all the inventions on the present age are the results of necessity.

149. *a.* Viewed from any standpoint of health, economy, or morality, there seems to be the necessity of $\left\{ \begin{array}{l} \text{temperance.} \\ \text{total abstinence.} \end{array} \right\}$

b. Whatever view we may take of health, etc.

150. *a.* On that day we could not climb the mountain on account of a storm, and we had to put up at an inn at its foot.

b. Owing to a storm on that day, we were obliged to stay at an inn at the foot of the mountain, giving up the idea of climbing.

151. *a.* It is surprising how motor-cars have increased in number in the large cities in Japan of late, and at the same time more accidents are caused by them.

b. Motor-cars have surprisingly increased in number in the large cities in Japan lately, and consequently the number of accidents is mounting up.

152. It is natural that, however strong a man may be, he should injure his health if he neglects his health.

153. As I learned English while I was staying in the country, I am very poor in conversation.

154. Please help yourself to anything you like.

155. *a.* Go and get my spectacles; I cannot do without them.

b. Fetch my spectacles; I $\left\{ \begin{array}{l} \text{cannot get along} \\ \text{require them badly.} \end{array} \right\}$ without them.

156. Where did you buy that watch of yours? It is the same as I got yesterday. This kind of watch keeps very good time.

157. *a.* The wonderful strides in the industries in Europe and America are chiefly due to the abundance of iron and coal.

b. The abundant iron and coal in Europe and America $\left\{ \begin{array}{l} \text{have} \\ \text{are} \end{array} \right\}$ brought about $\left\{ \begin{array}{l} \\ \text{at the bottom of} \end{array} \right\}$ the remarkable progress in the industries there.

158. *a.* The cold this year was especially severe, and many people suffered from colds.

b. It was especially cold this year, and there are many people who caught (took) cold (or who were laid up with colds).

159. On my way home from school I have lost the fountain pen which I bought last night.

160. Nothing is $\left\{ \begin{array}{l} \text{so precious as health} \\ \text{more precious than health} \end{array} \right\}$, and we must take great care of ourselves.

161. *a.* I happened to meet Mr. Yamada to-day, who told me a lot of news about home from which I had not heard for a long time. I am very glad to hear that you are all as well as ever.

b. I met Mr. Yamada to-day quite unexpectedly. He gave me a lot of news about home from which I had heard nothing for ages. It delights me to learn that you are all still in excellent health.

162. *a.* Dear Mr. A:

It is getting warmer day by day, but it is still early for the cherry-trees to bloom. How are you getting along? As I have been very busy lately, I have seldom written to anyone. May I trouble you to come to me on Saturday afternoon next week, if convenient, as I have several things to talk over with you?

Hoping to hear from you,

Truly yours,

B.

b. Dear Mr. A:

Excuse me for my long silence. So busy have I been of late that I have hardly $\left\{ \begin{array}{l} \text{had any time to write to anyone} \\ \text{ever sent one a line} \end{array} \right\}$. How are you getting

along? It is getting warmer and warmer, but it is still early for the cherry-blossoms, I am afraid.

Would it be too much trouble to you to come over and see me next Saturday in the afternoon, as I do want to see you particularly about many things?

Hoping to hear from you,
Sincerely yours,
B.

163. a. According to the broadcasting over which I have just heard, there was a severe earthquake in your place this morning causing great damage. Was any damage done to your house? I am very anxious to hear from you.

b. The radio news has just reported that a terrible shock of earthquake with considerable damage was experienced in your city this morning. Will you please let me know how your house is?

164. a. I want to call on you and talk over something with you. Will you please let me know the time which is most convenient to you? I hope to hear from you by return of post.

b. I have something to talk over with you. Would you be good enough to let me know at your earliest convenience what time and what day will suit you best?

165. As the place is quiet, commands a fine view, and is convenient for the cars, please do come to see me whenever you are free.

b. This is a

}	retired place
	quiet place
	secluded place

, commanding a fine view, and besides it is

}	near	the car-line.
	close by	

 Do come to see me, if you please, any time you are free.

166. a. 3, Itchome, Honcho, Seoul.
Feb. 1st, 1928.

K and Co.
Gentlemen:

Enclosed you will find a P. O. for Y 10 including postage, for which please send at your earliest convenience to the above address a copy of your English-Japanese Dictionary which was advertised in the Osaka Asahi-shimbun the other day.

Yours truly,
Ichiro Yoshida.

3, Itchome, Honcho, Seoul.
Feb. 1st, 1928.

b.
K and W Co.
Dear Sirs:

Enclosed please find a P. O. value 10 yen to cover the cost and postage for one copy of your English-Japanese Dictionary as advertised in the Osaka Asahi-shimbun a few days ago. Kindly forward the same to the above address at your earliest convenience.

Yours truly,
Ichiro Yoshida.

167. a. I

}	want
	plan

 to climb Mt. Tsukuba on Sunday next, and if you wish to join me, please come to the station by 8 o'clock in the morning.

b. I am going to make an ascent of Mt. Tsukuba next Sunday. What do you say to going with me? If you have a mind to do so, do not fail to come to the station by 8 a.m.

168. a. I have no words to apologize for my long silence.

b. I do not know what excuse to make for my long silence.

c. Excuse me for not having written to you for a long time.

169. a. Allow me to introduce to you Mr. Ichiro Hamada, one of my school friends. As he is an utter stranger to your place, any service rendered him will be

}	greatly
	much

 appreciated by me.

b. Will you kindly pardon the liberty I take in introducing to you Mr. Ichiro Hamada, one of my school friends. As he is an entire stranger to your city, any kindness you will be able to show to him during his stay there I shall accept as shown to myself.

170. a. I intended to join the excursion which will take place next Thursday, but unavoidable business prevents me from doing so, I am sorry to say. Please give my best regards to my classmates.

b. I had a mind to

}	take part
	be one of the number

 in the excursion on Thursday next, but I am sorry to say that I must give up my idea on account of pressing business. Please present my compliments to my classmates (pressing business の代りに business which

}	I cannot
	cannot be

 put off としてもよい).

第四章 Tense

第一節 Present Tense

【問題 126】 Books **are** to mankind what memory **is** to the individual.

【語句】 individual [individju(ə)] 個人。『参考: adj. 個人の。individualism 個人主義。A is to B what C is to D. A の B に於けるは C の D に於ける関係である。例: Religion is to society what cement is to the building. 宗教の社會に對する關係はセメントの建築物に對する關係に等しい。

【譯】 書籍の人類に對するは恰かも記憶の個人に對するが如し。

【重要語句】 A is to B what C is to D, individual.

【構文上の要點】 Present Tense の一用法として一般眞理を示す。

【問題 127】 Sometimes one **considers** another his friend because he is flattered by him. This flattery may be either direct or indirect. It **is** direct when it is open praise. It **is** indirect when it is a conformity to one's moods, tastes, or prejudices.

【語句】 to flatter 媚びる、諂ふ。『参考: flattery 諂ひ、御世辭。conformity [kən'fɔ:miti] 一致、調和。『参考: to conform [kən'fɔ:m] 一致する。mood 気分。prejudice [prɛdʒudis] = bias 偏見。

【考へ方】 another は consider の Object, his friend は Objective Complement 即ち第五型に屬する構文である。

【譯】 人は人から御世辭を云はれるとその人を友人と思ふ事がある。この御世辭は直接である場合と間接である場合とある。公然褒める時は直接であり、その人の気分なり、趣味なり、偏見なりに迎合するときは間接である。

【重要語句】 to flatter, flattery, conformity, mood, prejudice.

【問題 128】 There **is** nothing too little for so little a creature as man. It **is** by studying little things that we **attain** the great art of having *as* little misery and *as* much happiness *as* possible.

—大正 14. 福島高商

【語句】 creature 動物。『参考: create [kri:ɛit] 創造する。creation [kri:ɛiʃən] 創造。misery 不幸。『参考: miserable 不幸な。

【考へ方】 so は as と照應して人間のやうな小動物にとつてはとなる、it は that 以下の Noun Clause を受ける。as は二つとも as possible と照應して出来得る限り不幸を少くし、幸福を多くするとなる。

【譯】 人間のやうな些々たる動物にとつては如何なることでも決して小さ過ぎるに云ふことはない。吾々が出来る丈不幸を少くし、幸福を多くする秘訣を得るのは小事の研究によるのである。

【重要語句】 creature, misery.

【問題 129】 Work **is** not of course, any more than play, the object of life; both **are** means to the same end.

—大正 12. 仙臺高工

【語句】 means 手段。end 目的。例: The end justifies the means. 目的は手段を正當なものにする、即ち、唯も方便。

【考へ方】 この文の前半は Work is not of course the object of life any more than play. とあるものと同じ。not.....any more than = no more.....than... は後者に明白な誤謬をあげ「前者も同様.....でない」といふ云ひ方で結局この文は Just as play is not the object of life, so is work not the object of life, of course. と云ひ直すことも出来る。これを前後誤ると本末顛倒となるから注意を要する。例: A whale is no more a fish than a horse is. 馬が魚でないと同様に鯨も魚でない。(即ち A whale is not a fish を云はんとするのが目的で a horse is a fish といふ明白な誤りを引き合に出したのである)。

【譯】 遊戯が人生の目的でないと同様に仕事も勿論人生の目的でない。両者は同一目的(人生の目的)に對する手段である。

【重要語句】 not.....any more than...

【注意】 本問は大正 10. 慶應の問題にも出た。

【問題 130】 My doctrine is this, that if we **see** cruelty or wrong that we **have** the power to stop, and yet **do** nothing, we **make** ourselves sharers in the guilt. —昭和 2. 高校第一班

【語句】 doctrine [dɔ:ktrin] 主義。『参考: the Monroe doctrine モンロー主義。cruelty 殘酷な行。wrong 非行、不正行爲。sharer = participator

關係者, guilt 罪, 『参考: guilty 罪のある。』

【考へ方】 that 以下の Clause 全部が this と同格である。第二の that は cruelty と wrong を受け stop の Object となつて居る、if は nothing までかゝる。

【譯】 私の主義はかうである。若し吾々が抑止する力があるのに残忍な行ひや不正行爲を見て而も何等手を下さないで居るならば吾も亦その罪に與るものである。

【重要語句】 doctrine, sharer, guilt.

第二節 Past Tense

【問題 131】 His brave heart never **failed** him under any circumstances, and he **became** *the first to plant* his countrymen on the shores of America.

【語句】 his heart never failed him = he never lost heart, his heart never sank within him. 彼はがっかりしなかつた。 under any circumstances 如何なる事情の下に於ても。 to plant = to colonize 植民する。

【考へ方】 to plant は the first を修飾し、先頭第一に植民するとなる。

【譯】 如何なる事情の下に於ても勇敢な彼は意氣沮喪するごいふやうなことは決してなかつた、そして先頭第一に同國人をアメリカ海岸に移住させた。

【重要語句】 His heart never failed him, to plant, the first + Infinitive.

【構文上の要點】 Past Tense は過去の動作状態を述べる。

【問題 132】 He **could not deny** *himself the pleasure of uttering* a harsh and clever sarcasm *at another's expense*.

【語句】 to deny = to refuse 拒む。『参考: denial 拒絶。 to utter 口に出す。 harsh 手酷しい。 sarcasm = bitter irony 皮肉。『参考: sarcastic 皮肉の。 at another's expense 他人に迷惑をかけて。『参考: at any expense どんなに費用がかゝつても。 at one's own expense 自費で。

【考へ方】 a harsh and clever sarcasm は uttering の Object.

【譯】 彼は人に迷惑をかけてまでも手酷しい巧みな皮肉を口に出す愉快を制することは出来なかつた。

【重要語句】 to utter, sarcasm, at another's expense.

【問題 133】 Napoleon Bonaparte **was accustomed** to say that the future good or bad conduct of a child **depended entirely on** the mother.

【語句】 was accustomed to say = used to say よく云つたものだ。 conduct 行爲。

【考へ方】 that 以下の Noun Clause は say の Object である。

【譯】 子供が將來善行をなすか悪行をなすかは全く母親次第である、ミナポレオン・ボナパルトはよく云ひ云ひした。

【重要語句】 to be accustomed to, conduct.

【問題 134】 *Free as he was* in meeting people, and *easy as the poorest and plainest men were in his presence*, he invited no cheap familiarity. 一大正 14 東京高工

【語句】 free as he was = though he was free 勿體ぶらなかつた。 easy as... were = though... were easy... は肩が凝らなかつたが。 familiarity [familiarity] = intimacy 親交、心やすだて。『参考: familiar 親しい。

【考へ方】 in his presence は彼の面前で、彼と一緒に居て、 invited no cheap familiarity 安價な親交を招かなかつたとは、さう心安だてにはしなかつた。

【譯】 成る程彼は人さ會ふのに勿體ぶらないし、どんな貧乏な無位無官の人でも彼と一緒に居て肩も凝らなかつたが、おいそれと狎れさせはしなかつた。

【重要語句】 free as he was, familiarity.

【語誦】 Familiarity breeds contempt. 餘り狎れ狎れしくすると侮を招く(親しい仲にも垣をせよ)。

【注意】 本問題の示す型は各校の入試によく出て居る、二三の例を挙げると、大正 11. の仙臺高工、大正 12. の彦根高商、大正 13. の福島高商、大正 14. の熊本醫大豫科、大正 15. の商大豫科等である。

【問題 135】 He **looked** straight to the heart of questions and

problems, with no fear of consequences. He never **yielded** except when he **was** actually wrong, opposition only *stiffening* him. —大正 11. 東京外語

【語句】 to look straight to the heart 中心を洞察する。 consequences = results 結果。 to yield = to give way 屈する。 actually = really 實際。 opposition 反対。『参考: to oppose 反対する。 opposite 反対の。 opponent 敵手。 to stiffen 頑固にする。』『参考: stiff 頑強な。』

【考へ方】 with no fear of consequences は looked を修飾するのであるが下から戻るよりも上から読み下して「結果については少しも心配しない」と譯す方がよい。 opposition only stiffening him は and opposition only stiffened him と見ればよい。

【譯】 彼は各種の問題の核心を洞察して其結果については少しも心配しなかつた。自分が實際悪かつた時以外は決して屈することがなく、反対は益々彼を頑強にするだけであつた。

【重要語句】 consequence, to yield, to stiffen.

第三節 Future Tense

【問題 136】 “The next rascal that *imposes upon* me **shall** surely suffer for it,” he said, for by this time he had *lost patience*.

【語句】 rascal [rá:skəl] = knave, rogue 野郎、悪漢。 to impose upon = to deceive だます。 to suffer = to smart 處刑される。 patience = endurance 忍耐。

【考へ方】 that imposes upon me は rascal を修飾する Adjective Clause で、こゝまでが Subject である。 shall suffer の shall は三人稱に対する shall で speaker の意志を表すから結局 I will make the next rascal that imposes upon me suffer for it. と同じ、it は Indefinite の it で格別指すものがない。即ち今度私を騙すものがあればさつとひどい目にあはせてやるの意となる。

【譯】 「今度私を騙すやうな悪漢はきつとひどい目に合せてやるぞ」と彼は云つた、彼はもう勘忍袋の緒を切らして居たのである。

【重要語句】 rascal, to impose upon, to lose one's patience.

【構文上の要點】 平叙文に於て二人稱三人稱の shall は speaker の意志を表すことを忘れてはならぬ。

【問題 137】 No citizen who values his rights and responsibilities **will fail** to *keep himself abreast of* the great movements in thoughts and ideals of his country, by reading the works of authors who have studied long and deeply the intricate problems—social, political, and commercial—which rise with the progress of time and the advance of civilization.

【語句】 to value = to prize 尊重する、重ずる。 responsibility [risponsəbiliti] 責任。『参考: responsible for 責任ある。 will not fail to keep = will surely keep. to keep oneself abreast of the great movements = to keep pace with the great movements 大運動に後れないやうにする。 intricate = difficult to follow or to understand, complicated 複雑な。 social 社會の。』『参考: society 社會。 political 政治上の。』『参考: politics [pólitiks] 政治。 politician [pólitifən] 政治家。 policy 政策。』

【考へ方】 who values his rights and responsibilities は citizen を修飾する Adjective Clause で、こゝまでが Subject, by reading..... civilization までは to keep himself abreast にかゝる、who have studied..... は authors を修飾し、social..... commercial は intricate problems の説明をなし、which rise..... は problems を修飾する。

【譯】 自己の権利と責任とを重ずる市民は時勢の進歩文明の發達と共に起る社會、政治、商業上の複雑な問題を多年に亘り深刻に研究した著者の著書を読み取って自國の思想並に理想上の大運動に必ず後れないやうに努めるものた。

【重要語句】 responsibility, will not fail to, to keep oneself abreast of, intricate, political, social.

【問題 138】 “If we succeed, what **will** the world **say**?” asked Captain Berry in delight, when Nelson had explained his carefully formed plan before the battle of the Nile. “*There is no if in the case,*” replied Nelson. “*That we shall* succeed is certain. Who may *live to tell* the tale is a very different question.”

【語句】 in delight = with joy 喜んで。 There is no if in the case. この場合に「若し」などといふ事はない。「若しも」の沙汰ではない。この場合の

if は Supposition (假定) の意。

【考へ方】 That we shall succeed is certain. は It is certain that we shall succeed. と同じ、即ち that we shall succeed が is に對して Subject となる Noun Clause である。

【譯】 ネルソンがナイル河の戦前に緻密な計畫を説明したときに「若し吾々が成功したら世間の人は何さいふでせう」とベリー大佐は欣然として尋ねた。「若しもの沙汰ではない、吾々が成功するのは明瞭な事だ、誰が生き残つて戦争談をするかは全然別問題だが」とネルソンは答へた。

【重要語句】 That we shall succeed is certain.

【問題 139】 I shall always look back upon the days I spent with the Smiths as some of the most enjoyable of my life, for all of them did their best to make me feel thoroughly at home with them as though I were one of them. 一大正 14. 横濱高商

【語句】 to look back upon 回顧する。例: I can not look back upon my school days without feeling ashamed of myself. 學校時代の事を回顧すると自分の事が恥しくて仕方がない。the Smiths Smith 一家の人達、to make oneself feel at home = to make oneself at home 寛ぐ。例: Make yourself (feel) at home. お寛ぎ下さい。as though = as if 恰も。

【考へ方】 as は look back upon.....as.....,として...を回顧するとなる。I spent with the Smiths は the days を修飾する。

【譯】 私は何時もスミス一家の人達と一緒に暮した當時を回顧して一生涯の中で一番愉快な時と思ふ事でせう、さういふのは同家の人達は皆私が家族の一人でもあるやうに私を皆さ十分打ち寛ろける様に全力をつくして下さつたからです。

【重要語句】 to look back upon, to make one (feel) at home.

【問題 140】 We have made strides, but we have still far to go and we shall not get far until the agricultural population itself is determined to have the best educational advantage.

一大正 11. 大阪高工

【語句】 to make strides, to advance by long strides 長足の進歩をす

る。例: He has made (taken) great strides in his studies. 彼の學問は長足の進歩をした。to have still far to go 尙遠くに行かねばならぬといふ事から、進歩の餘地がある、前途遠慮である。agricultural population 農民。参考: agriculture 農業, advantage 利益。参考: advantageous [æd-vantéidzəs] 有益な。

【考へ方】 until the agricultural population.....advantage は get far にかゝる Adverbial Clause, to have the best educational advantage は determined にかゝる。

【譯】 吾々は長足の進歩をしたが前途尙遠慮である。そして農民自身が最高の教育上の利益を得ようと思つて覚悟するまでは十分の進歩は不可能である。

【重要語句】 to make strides, agricultural population, advantage.

第四節 Present Perfect Tense

【問題 141】 To those who have never experienced a walk through a tropical jungle, it is almost impossible to convey any adequate picture of an Amazon forest.

【語句】 tropical 熱帯の。参考: tropical zone 熱帯, jungle 叢林, to convey = to communicate 傳へる。adequate 適當な。

【考へ方】 who have never experienced 経験したことがない、経験を表はす Adjective Clause で those を修飾する、it は to convey 以下を指す。

【譯】 熱帯地方の叢林を歩いた経験のない人達にはアマゾン森林の情景を十分傳へることは殆ど不可能である。

【重要語句】 to experience, tropical, jungle, to convey, adequate.

【構文上の要點】 本文の Present Perfect は経験を表はす。

【問題 142】 The newspaper has grown in power and importance with the development of modern inventions. The steam-engine, the telegraph and telephone, the wireless telegraphy, the various means of quick transit, have all of them helped not only to increase the size and number of newspapers, magazines,

and periodicals, *but* to spread them broadcast over the land.

【語句】 wireless telegraphy 無線電信, transit=conveyance 運搬, periodical [piəri'ɔːdik(ə)] 定期刊行物。『参考: period 時代, 終止符, periodic 時代の, 週期的, broadcast ばらまきに。』

【考へ方】 to increase, to spread は helped の Object で not only...but は to increase, to spread を修飾する。

【譯】 新聞紙は近代的發明品の發達と共に力を増し重きを加へるやうになつて來た。蒸氣機關、電信、電話、無線電信など各種の速達の方法が何れも新聞紙、雜誌、定期刊行物の型と數を増大するばかりでなくこれを國中に撒布するに與つて力があるやうになつて來た。

【重要語句】 transit, periodical, broadcast.

【構文上の要點】 本文は過去の動作が現在に影響することを示す。

【問題 143】 You **have** hitherto **been** a *spoiled child* and **have been used to have your own way** a good deal, both in the house and among your play-fellows, with whom you were too fond of being a leader; but you have good nature and good sense, and will *get the better of* this in time.

【語句】 hitherto [hið'ɔːtu:] = up to this time 今まで, spoiled child 甘つたれた子, have been used to = have been accustomed to..... に慣れた, to have one's own way = to be selfish 我儘をする, 例: Being the only son, he would *have his own way* in everything. 一人息子なものだから何事にも自分の思ひ通りにしなければ承知が出来なかつた, good sense 分別, to get the better of = to defeat, to overcome 負かす, 例: He *got the better of* his indolence. 自分の怠惰を制した, in time = sooner or later 早晚。

【考へ方】 a good deal は to have を修飾し, both in the house and among your play-fellows も to have にかゝる。

【譯】 お前はこれまで家の中でも遊び仲間の間でも非常に我儘をし慣れてゐて、その仲間の大將になるのが馬鹿に好きであつたのだ。然しお前は人が良く分別もある事だから早晚この癖に打勝てるだろう。

【重要語句】 hitherto, spoiled child, to have one's own way, good sense, to get the better of.

【問題 144】 The rapid increase of travel between different lands during the last generation **has tended** to awaken an intelligent appreciation of the life and achievements of other nations, out of which **has grown** inevitably a new and deeper international sympathy.

—大正 15. 東京商大

【語句】 rapid = quick 迅速な, generation — 時代 (約三十年), to tend to = serve to 役立つ, 與つて力ある, intelligent 聰明な, 『参考: intelligence 聰明, appreciation 玩味, 感得, 『参考: to appreciate 玩味する, 感得する, achievement 偉業, 『参考: to achieve = to accomplish, to perform 成就する, inevitably 餘儀なく, 必ず, international 國際的の, sympathy 同情, 『参考: to sympathize 同情する, sympathetic 同情的の,』

【考へ方】 out of which の which は intelligent appreciation を指し, a new and deeper international sympathy が Subject で has grown が Predicate Verb であるが, out of which といふ Adverbial Phrase が先に出てゐるために Verb が後に來たのである。

【譯】 過去卅年間に各國間の旅行が急激に盛んになつたことは他國民の生活と偉業を理知的に理解する念を喚起するに役立つやうになつて來て、これがために新たなより深い國際的同情が必然に發達して來た。

【重要語句】 generation, to tend to, intelligent, appreciation, achievement, inevitably, international, sympathy.

【問題 145】 Photography **has been brought** to such a degree of perfection that there is *scarcely* an object in nature that is *beyond the reach of the camera*.

—大正 12. 横濱高工

【語句】 photography [fə'tɒgrəfi] 寫眞術, 『参考: photograph 寫眞, photographer 寫眞師, to bring to such a degree of perfection 完成の域に達する, beyond the reach of.....,の届かぬ所, 『参考: within the reach of.....,の届く所, 例: The flower is *beyond my reach*. その花には手が届きません。

【考へ方】 such は that..... と續いて非常な完成の域に達して其の結果.....であるとなる, scarcely..... 殆ど.....ないと打消の意味になる。

【譯】 寫眞術は今日までに非常に完成されたので自然界の事物で寫眞機の力の及ばないものは殆どない。

第五節 Past Perfect Tense

【問題 146】 He **had journeyed** several miles from home, *when he had the misfortune to fall in with* three robbers, *famous* in that country *for* their boldness and cunning.

【語句】 to have the misfortune to fall in with = to be unfortunate enough to happen to meet 不幸にして出會ふ。 to have + the + Abstract Noun + Infinitive = to be + Adjective + enough + Infinitive. 例: He *had the kindness to show* me the way to the station. = He *was kind enough to show* me the way. = He kindly showed me the way. 彼は親切にも停車場へ行く道を教へて呉れた。

【考へ方】 He had.....robbers は「不幸にして三人の盜賊に出會つたときには既に數哩行つて居た」が文字通りであるがこれは読み下しにして「數哩行くど不幸にして三人の盜賊に出會つた」とする方がよい。 famous の前に who were が省略してあるものと見ればよい。 robbers を修飾して居る。

【譯】 彼は家から數哩行くど不幸にしてその國では大膽で狡猾で名代な三人の盜賊に出會つた。

【重要語句】 to have the misfortune to, to fall in with.

【構文上の要點】 本文は過去の或る時まで動作の完了したことを示す。

【問題 147】 These men **had formerly been on very friendly terms**, but *owing to* an unfortunate quarrel *over a trifle* they had avoided each other for a long time.

【語句】 to be on friendly (good) terms with = to be intimate with 仲がよい。 terms は交際關係の意。『参考: to be on bad terms with 仲が悪い。 to be on visiting terms with 行つたり、來たりする仲。 例: It is chiefly because they will have their own way that they *are on bad terms with* each other. 彼等がお互に仲の悪いのは主として我儘を通さうとするからである。 owing to = because of.....,のために。 trifle = thing of slight value or unimportance 些細な事、つまらない事。『参考: trifle with one's feeling 人の感情を弄ぶ。 trifling (adj.) つまらない。

【譯】 この人達は以前は非常に親密な間柄であつたが、不幸にしてつまらない事から喧嘩をしたのがもて久しい間お互に交際を絶つてゐたのであつた。

【重要語句】 to be on friendly (good, excellent, intimate) terms with, trifle.

【構文上の要點】 本文は過去の或る時より或る一定の過去までの状態の繼續を示す。

【問題 148】 I **had stepped** into a new life. Between the man I **had been** and that which I now became there was a very notable difference. In a single day I **had matured** astonishingly; which means, no doubt, that I suddenly entered into conscious enjoyment of powers and sensibilities which **had been** developing unknown to me.

【語句】 notable = remarkably striking 顕著な、目立つた。 to mature [mə'tjʊə] 成熟する。『参考: adj. 成熟せる。 maturity 成熟。 conscious 意識せる。『参考: consciousness 意識。 conscientious 忠實な。 sensibility 感受性。『参考: sensible 知覚し得る、分別のある。 sensible man 物の分つた人。 sensitive 感じ易い。 sensitive man 神経質の人。

【考へ方】 the man I had been あの時より以前にあつたところの人となり、 that which I now became 今度新しくなつた人となり、この二つを between にかけてこの兩者の間にはと成る、 between 以下が there was の was にかゝる。 which had been developing unknown to me は powers and sensibilities を修飾する。

【譯】 私は新生活に一步踏み込んだのであつた。今までの自分と今度の自分との間には人間として實に著しい相違が出来た。一日にして私は驚くほど老成の域に入つたのであるが、これは確かに自分には解らずに發達して來てゐた能力と感受性を自ら突然意識的に享受するやうになつたといふ意味である。

【重要語句】 notable, to mature, astonishingly, conscious, sensibility.

【問題 149】 I **had taken** my aunt into my confidence; without her, *in truth*, I *should have made* but little advance, for to her belonged the credit of the most sensible piece of advice. *It was she who* suggested the solution which opened the path out of our difficulties.

—大正 13 東京外語

【語句】 to take a person into one's confidence = to confide a secret to

another 秘密を打ち明ける。confidence 信用、秘密。『参考: to have confidence in.....,を信用する。in confidence 内々で。to confide 信用する、打ち明ける。confidential 信頼せる、内々の。but=only. credit 信用、面目。『参考: He is a credit to his family. 彼は家の譽れだ。『参考: creditable 頼むべき。to suggest はのかす、暗示する。『参考: suggestion 暗示。suggestive 暗示的の。solution 解決。『参考: to solve 解決する。

【考へ方】 I should have made but little advance はんの僅かしか進展しなかつたらう。the credit of the most.....advice は belonged の Subject であるが to her が前にあるため belonged が前に置かれたのである。It was she who (that) suggested..... は she suggested..... の Emphatic Form (強勢法)である。which opened..... は solution を修飾する。

【譯】 私は叔母に一切の事を打ち明けたのであつた。叔母がみなかつたら實際の處解決の方法は一向發展しなかつたらう、こいふのは至極分別のある意見を述べたのは叔母の手柄であつたから、吾々の苦境を脱する解決法を暗示したのは叔母であつた。

【重要語句】 to take a person into one's confidence, in truth, credit, sensible, to suggest, solution.

【問題 150】 *It was not, however, till sunrise on the following morning that they saw land, and then it was not the land they had expected to see; for they had been swept by a current some thirty miles in the wrong direction.* 一大正 11. 高校

【語句】 swept, sweep の過去及過去分詞。to sweep 洗ひながす。current 潮流。『参考: adj. 廣く行はれる、現代の。some=about. direction 方向。

【考へ方】 It was not till sunrise that they saw..... の It は that 以下を指して居る、「彼等が見たのは日の出まで、はなかつた」といふが原意であるが「日の出になつて初めて見た」といふ意味になる。例: *It was not till I came home that I became aware that I had left my umbrella on the rack.* 帰宅して初めて網棚に雨傘を忘れた事に気がついた。they had expected は land を修飾する Adjective Clause である。

【譯】 然しその翌朝日の出になつて彼等は初めて陸を認めたのであるが、それは彼等が豫期してゐた陸ではなかつた、こいふのは、彼等は潮流のために反対の方向に約三十哩も流されてゐたからである。

【重要語句】 It was not till sunrise that they saw land.

總 括

I. Tenses

1. Present Tense
 2. Past Tense
 3. Future Tense
- } **The Three Primary Tenses**

	Indefinite	Progressive
Present	I write it.	I am writing it.
Past	I wrote it.	I was writing it.
Future	I shall write it.	I shall be writing it.

4. Present Perfect Tense
 5. Past Perfect Tense
 6. Future Perfect Tense
- } **Perfect Tenses**

	Indefinite	Progressive
Present P. T.	I have written it.	I have been writing it.
Past P. T.	I had written it.	I had been writing it.
Future P. T.	I shall have written it.	I shall have been writing it.

即ち The Six Tenses に各々 Progressive Form があるから總計 The Twelve Tenses になる。

II. 應用和文英譯問題 (4)

[A]

171. 書籍の精神に対する關係は食物が身體に対する關係と同じである。

【考へ方】 この問題については(問題 126)を参照。

172. 水の魚に対する關係は空氣の人類に対する關係と同じである。

人類 mankind, the human race, humanity.

173. 世人は彼を紳士と考へてゐるが決してさうでない。

世人 people, they, 決して……でない by no means, anything but.

174. あの人は信用出来ると思ふ。

信用出来る to be worthy of confidence.

175. 幾年も研究しなければ外國語に通ずる事は出来ない。

幾年も for many years, 通ずる to master, to acquire a good command of.

【考へ方】 本問は「外國語に通ずるのは幾年も研究する事によつてである」と考へれば(問題 128)の應用となる。

176. 外觀によつて人を判断する事が出来ないのは恰も装釘によつて書物の内容を判断する事が出来ないのと同様である。

外觀 appearance, looks, 判断する to judge of, 装釘 binding, 内容 contents.

【考へ方】 この問題については(問題 129)参照。

177. 僕はその少年を蘇生させようご百方手をつくしたが甲斐がなかつた。

蘇生させる to bring one to life again, 百方手をつくす to make every effort, to try every means, to do everything in one's power, 甲斐がない to be in vain, to no purpose.

178. その悲報に接して彼女はがっかりして仕舞つてさうしてよいのか途方にくれた。

悲報に接して at the sad news, がっかりする to lose heart, to be disheartened, one's heart sinks within one, one's heart (or courage) fails one, 途方に暮れる to be at a loss.

179. 當分の間あらゆる娛樂を遠ざけなければならぬ。

當分の間 for the present, for the time being, あらゆる all kinds of, all sorts of, 娛樂 amusement, pleasure, diversion, 遠ざける (問題 132) 参照。

180. 彼は粗食に慣れてゐた。

粗食 humble (plain) fare, 美食 good (delicious) fare, good living.

181. 彼は人は萬一の覺悟をしてみなければならぬさよく云ひ云ひした。

萬一の覺悟をする to be prepared for the worst, 云ひ云ひした (問題 133) 参照。

182. 彼は人前で侮辱されたがじつと耐へた。

人前で in the presence of others, 侮辱する to insult, じつと耐へる to keep one's temper.

183. 人をだますやうな人ではありませんよ。

だます (問題 136) 参照, よ I tell you.

184. あの人は保守的であるから時勢に後れないやうにすることは至難であらう。

保守的な conservative, 時勢に後れないやうにするは (問題 137) 参照, 至難 very difficult.

【考へ方】 「至難であらう」は「至難である事がわかるであらう」と考へて find it very difficult として it の内容を Infinitive の型で表はすやうにする。

185. 弟が歸りましたらすぐ伺はせませうか。

すぐ as soon as, ませうか shall he……? shall I……?

186. あんな事は決して二度と致させませんから此度だけは彼を赦してやつて下さい。

「致させない」は speaker の意志であるから shall を用ゐて表はす, 此度だけは for this once, 赦す to excuse.

187. 誰が君を見捨てようとも僕はごままでも君の味方になるよ。

見捨てる to desert, to turn one's back upon, 味方になる to stand by.

188. 年をさるご自然少年時代を回顧する事でせう。

自然 naturally, in spite of oneself, 少年時代 one's boyhood, 回顧する (問題 139) 参照。

189. 「君は鎌倉に行つたことがありますか。」「はい、數回行つたことがあります。」

行つたことがある have been in (at), 數回 several times.

190. 私は生れてからこのかた醫者にかゝつたことはありません。

生れてからこのかた……したことがない not in one's life, 醫者にかゝる to consult a doctor.

191. 「君は奈良に行つたことがありますか。」「僕は昨年見物に行きました。」

見物に for sight-seeing, to do the sights.

192. 「あなたのお父さんは何時から御病氣ですか。」「二年前から病氣です。」

何時から how long, 二年前から since two years ago.

193. 父は今月中旬來鎌倉で保養してあります。

今月中旬 the middle of this month, 「保養して」は「保養のため」と考へる for one's health.

194. 轉地したのが大變身體によかつた。

轉地 change of air, change, 身體によい to do one good.

195. 今月の初めから少しも雨がなないので東京市民は水不足で困つてゐる。

少しも雨がないう to have no rain, 東京市民 the people (citizens) of Tokyo, 水不足 the scarcity of water, water famine.

196. 君は博覽會を見に行つたのか。僕も一緒に行けばよかつた。博覽會 an exhibition, 行けばよかつた I wish I had gone.

197. 貸家拂底のため家賃が非常に高くなつた。

のため owing to, 拂底 scarcity, 貸家 a house to let, 非常に greatly, considerably, 高くなる to rise.

198. あの外人は日本に来て以來ずっと此學校で教鞭を執つてゐる。

教鞭を執る to teach.

199. 暫くお待ち下さいましたか。遅れて済みません。

暫く for some time, 遅れる to come so late, 「済みません」は「許して下さい」と考へる to excuse one.

200. 私はそれまでに船に乗つた事がなかつたから船に酔ふかどうか分らなかつた。

それまでに before, 船に乗る to go on board a ship, 船に酔ふ to get sea-sick, 分る to know.

201. 翌朝彼が目を覺した時はもう家の人々は朝飯を済してゐた。

翌朝 the next morning, the following morning, 目を覺す to wake up, 済す to finish.

202. 昨日十年振であの人に上野で逢つた、誰であつたか初めは

さうしても思ひ出せなかつた。

「十年振で」は「十年間逢はなかつた」と考へる whom I had not seen for ten years, 初めは at first, どうしても for the life of one, 思ひ出す to recognize.

203. 今朝あの本を買ひに行つたらもう賣れてゐた。

賣れる to be sold.

204. 今晚七時迄に投函すれば明後日の今頃迄には手紙が彼に届いてゐるでせう。

迄に by, (迄 till) by と till との用法の差は次の例で了解する事が出来る。

a. I will come back by three this afternoon. 午後三時までに歸つて来る (三時までなら二時に歸つても二時半に歸つてもよい)。

b. I will wait for him till three this afternoon. 午後三時まで彼を待つて居らう。

明後日の今頃 this time the day after to-morrow, 届く to reach, 「届いてゐるでせう」は明後日といふ未來に届くといふ動作が完了するのだから未來完了型即ち will have reached を用ゐなければならぬ。

205. 父が六十になる迄に僕は大學を出て實務に就いてゐませう。

大學を出る to graduate from the university, 實務に就く to go into business.

206. 私はこの町は隅から隅まで知つてゐます。今年の八月で十年此所に住む事になります。

隅から隅まで every inch of....., every nook and corner of.....

[B]

207. 此頃の學生にして萬年筆を持たぬ者は殆ど一人も無いほど萬年筆は一般に流行してゐる。(大正 15. 慶大豫科)

「此頃の」は Adverb として取扱ふ方がよい、of late, lately, nowadays, 殆ど一人もない there is scarcely any student, 一般に流行してゐる to be in great fashion, to come into great fashion, to be widely used.

208. 外國語を學ぶには餘程の根氣が要る、之を習得する秘訣は度々其國語を話したり書いたりするにある。(昭和 3. 高校入學資格)

餘程 a great deal of, much, 根氣 patience, perseverance, 習得する to

master, to acquire a good command of, to get to the bottom of.

209. 彼は意志の鞏固な男で正しいと信ずるところを**実行する**點に於て**彼に及ぶものはない**。(昭和3・廣島高師)

意志の鞏固な男 a man of strong (iron) will, 実行する to carry out, 彼に及ぶものはない He is second to none in.....

210. 日本は**四面環海の島國**で綿も砂糖も機械類も外國から**商船**で持つて來なければならぬ。(昭和3・海軍經理)

四面環海の島國 a country surrounded by the sea, a sea-girt country, 島國は island country であるが surrounded by the sea とか sea-girt country とすれば island は必要なくなる。機械類 machinery, (Collective Noun だから Plural Form にしない)。

211. 今朝目を覺したのは八時十五分前だった。**朝食もそこそこ**に學校に出かけた。電車を下りるとき**學校の鐘が鳴るのが聞えた**。(大正15・高松高商)

目を覺す to awake, 八時十五分前 a quarter to eight, (八時十五分 a quarter past eight), 「朝食もそこそこに」は「急いで朝食を済して」と考へる taking a hasty breakfast, taking breakfast in haste, 電車を下りる to get off the tram.

212. 停車場へ行く途中友達を訪問したので**汽車に乗り遅れた**。(昭和3・高松高商)

停車場へ行く途中 on one's way to the station, 訪問する to visit, to call on, 乗り遅れる to miss the train, (汽車に間に合ふ to be in time for the train, to catch the train).

213. 「君の万年筆は**幾ら**しましたか。」「六圓五拾錢しました。」
幾ら how much.

【考へ方】「幾らしましたか」は「幾ら價がしたか」と考へるか、「幾ら拂つたか」と考へればよい。

214. **噂によれば**當地に在住する日本人の生命財産を保護するために**軍艦天龍**がやつて來るさうである。(昭和3・海軍經理)

噂によれば It is rumoured that....., Rumour has it that....., According to a report, 當地に在留する日本人 Japanese residents here, 生命財産 life and property, 保護する to protect, 軍艦 warship, やつて來る will come, will be sent (despatched).

215. 今度入學試験に合格して**旅順工科大学**に參ります。**あちら**にお知合の方がありましたら御紹介を願へませんか。(大正15・旅順工大)

今度 lately, recently, 合格する to pass the examination, to succeed in the examination (失敗する to fail in the examination), 旅順工科大学 the Ryojun Technical College, あちらに there, 知合 acquaintance, 紹介する to introduce one to another, to give one an introduction to another.

【考へ方】お知合がございましたらば if you know anyone, if you happen to have any acquaintances を用ゐる。

216. **お手数かけて済みませんが**此小包を山田さんの御宅へ御届け下さいませんか。

手数がかかる to trouble, 済みません I am sorry, 小包 parcel, 届ける to take.

217. この時計を買つてから五年になるが**未だ一度も修繕した事**がない、**日本製**で堅牢な時計である。(昭和2・福島高商)

.....してから何年になる It is.....since, 修繕する to mend, to repair, 日本製 of Japanese make, made in Japan, 「堅牢な」は「善い、當になる」の意に解して good, reliable を用ゐる。

【考へ方】修繕するは自分で修繕するのではなくて時計屋に修繕して貰ふのであるから to have it mended (repaired), to get it mended と to have (get) + Object + Past Participle の型を用ゐなければならぬ。「修繕したことがない」は過去の経験を表して居るからこゝでは現在完了を用ゐべきである。

218. **一昨夜から雨が降り通しです**、今日の午後は晴れるかも知れませんかから僕等と一緒に京都見物に行きませんか。(大正15・海軍機關)

雨が降る it rains, 今日の午後 this afternoon, 晴れる it clears up, 京都見物 to do (see) the sights of Kyoto.

【考へ方】「一昨夜から雨が降り通しです」は過去から現在までの動作の繼續であるから現在完了の進行形を用ゐなければならぬ。It has been raining since the night before last.

219. 彼は**工業視察**のため先月渡米しました。**未だ何の便りもありません**。(大正15・仙臺高工)

工業視察のため in order to investigate (observe) industrial affairs, 渡米する to go over to America, 便りがある to hear from.

【考へ方】「便りがありません」は「その後今日まで便りがない」といふのであるから現在完了を用るなければならぬ。

220. 雪が大變降り出しました、もう少し小降りになるまでうちに這入つてお待ちになつた方がよろしう御座いませう。(昭和3・高校資格)

大變 heavily, 小降りになる the snow holds up a little more, the snow shows signs of stopping, the flakes get smaller.

221. 昨年の秋から全力を盡して準備して居た入學試験も愈々今日から始まりました。(昭和2・大分高商)

全力を盡して with all one's strength, with might and main, 準備する to prepare oneself for, 愈々 at last.

222. 數名の警官が其處へ到着した時には患者共は既に逃げ出して仕舞つてゐて硝子の破片や毀れた机や椅子が床の上に散在してゐたのみであつた。(昭和3・海兵)

警官 a policeman, 悪者 a rascal, 逃げる to run away, to make off, to take to one's heels, 散在して leaving in disorder.

【考へ方】「のみであつた」は「……の外は何も残さなかつた」と考へる。

223. 餘り遅くならないうちにお暇しようぢやないか、天氣が怪しくなつて來たから。(昭和3・廣島高師)

餘り遅くならないうちに before it is too late, お暇する to take leave of, to say good-bye to, 怪しくなる to come threatening, to change at any moment, to get doubtful.

224. あの婆さんは非常に健康で三十年前に此町へ來てからまた病氣にかゝつた事はありません。(昭和3・四高)

健康な to be healthy, to be well, to be in good health, 病氣にかゝる to get ill, to be taken ill, to fall ill.

【考へ方】「非常に健康で……がない」は so healthy that…… の型を用ゐる。「……した事がない」は過去の経験であるから現在完了を用るなければならぬ。

225. 自動車を呼びにやりませうか。電車は込みますしそれに餘り時間もありませんから。(昭和3・福岡高校)

呼びにやる to send for, 込む to be full, to be crowded.

226. 大分夜が更けました。また母が心配するさいけませんから

これで失禮いたします。(昭和3・水戸高校)

更ける to be late, 心配する to feel uneasy about, to worry about, これで失禮致します I must wish you a good night.

227. 私は非常に疲れて居たので汽車が京都を出發するさ直ぐにぐつすり寢込んでしまつた。翌朝眼が覺めた時には汽車はもう沼津を通過してゐた。(昭和3・海機)

ぐつすり fast, 寢込む to fall asleep, 眼が覺める to wake up.

228. 一ヶ月以上も雨が降らないため街路はひどい塵で風の吹く日などは目をあけて歩けない程である。(昭和3・長岡高工)

街路 the streets, 塵で to be dusty, 風の吹く日などは on a windy day, 目をあけて with one's eyes open.

【考へ方】「一ヶ月以上も雨が降らない」は現在と考へてはならぬ。「一ヶ月以上も前から今日まで降らぬの意味であるから現在完了を用るなければならぬ」。

229. 二十年振に會うた友人と昨日は終日昔を語り合つた。(昭和3・八高)

二十年振 whom I had not seen for twenty years, 終日 all day (long), 昔を about one's past, 語り合ふ to talk together, to have a talk together.

230. 近來諸種の戶外運動が大いに流行するので青年の身體が一般に強壯になつて來た。(昭和3・仙臺高工)

近來 of late, lately, 諸種の戶外運動 outdoor sports of various kinds, 大に流行する to be in great vogue, to be very popular, 身體 constitution, physique.

231. 近來我國民間に運動競技が盛んに行はるゝに至りたるは大に喜ぶべき事である。(昭和3・山梨高工)

我國民間に among our people, 運動競技 athletic sports, 盛んに行はれるに至る to become popular, 大に喜ぶべき事 it is a matter for congratulation.

232. 近頃當市には自動車が増えたので左側通行が益々必要である。(昭和3・鹿兒島高農)

増える to increase in number, 左側通行 to keep to the left, 必要な to be necessary.

233. 私は冬は外套を着ない事にしてから三年餘になりますがそのためか風をひく事が少くなりました。(昭和3・一高)

着ない事にする to make it a rule not to wear, to get along without, to do without, してから何年になります it is.....since....., そのためか perhaps on that account, thanks to it, 風をひく to catch cold, to take cold.

解 答

[A]

171. Books **are to** the mind **what** food **is to** the body.
 172. Water **is to** fish **what** air **is to** mankind.
 173. a. People consider him a gentleman, but he is by no means one.
 b. He is **anything but** a gentleman though he is considered to be one.
 174. a. He **is worthy of** confidence.
 b. He is trustworthy.
 175. a. We cannot master a foreign language **without studying it for many years**.
 b. **It is by studying for many years** that we can acquire a good command of a foreign language.
 c. **It will be many years before** we can *be at home in* a foreign language.
 176. a. We **cannot judge of** another *by his looks* **any more than** the contents of a book by its binding.
 b. **As** you cannot judge *of* a person *by appearance*, **so** you cannot tell anything about the contents of a book by its binding.
 177. a. I **did everything in my power to bring the boy to life again**, but in vain.
 b. I **tried every means to no purpose to bring the boy to life again**.
 178. a. She **lost heart at the sad news**, and **was at a loss what to do**.
 b. Hearing of his death, *her heart sank within her*, and she **was at her wits' end what to do**.
 179. I $\left\{ \begin{array}{l} \text{have to} \\ \text{must} \end{array} \right\}$ **deny myself all** $\left\{ \begin{array}{l} \text{kinds} \\ \text{sorts} \end{array} \right\}$ **of amusement** $\left\{ \begin{array}{l} \text{for the pres-} \\ \text{ent.} \\ \text{being.} \end{array} \right\}$

180. a. He **was accustomed to** humble fare.
 b. He **was used to** plain fare.
 181. He $\left\{ \begin{array}{l} \text{used} \\ \text{was accustomed} \end{array} \right\}$ *to say* that one **must be prepared for the worst**.
 182. He was insulted **in the presence of others**, but he *kept his temper*.
 183. He is not the man **to** $\left\{ \begin{array}{l} \text{impose upon} \\ \text{deceive} \end{array} \right\}$ others, *I tell you*.
 184. a. He is of a conservative disposition, and will *find it very difficult to keep* (himself) **abreast of the times**.
 b. He being conservative in disposition, it will be very hard for him to keep pace with the times.
 185. a. **Shall my younger brother call on you** as soon as he comes home?
 b. **Shall I make my younger brother visit you** as soon as he comes home?
 186. As he **shall not do** such a thing again, please excuse him *for this once*.
 187. a. No matter who may desert you, I will **stand by you through thick and thin**.
 b. Whoever may forsake you, I will **help you to the best of my ability**.
 188. a. When you are old, you will naturally **look back upon your boyhood**.
 b. When we get old, we shall **think of our boyhood in spite of ourselves**.
 189. "Have you ever been $\left\{ \begin{array}{l} \text{at} \\ \text{to} \end{array} \right\}$ Kamakura?" "Yes, I have been there several times."
 190. I have never $\left\{ \begin{array}{l} \text{seen} \\ \text{consulted} \end{array} \right\}$ **a doctor** in my life.
 191. "Have you ever been $\left\{ \begin{array}{l} \text{at} \\ \text{to} \end{array} \right\}$ Nara?" "Yes, I went there last year for sight-seeing."
 192. a. "**How long has your father been ill?**" "He has been ill since two years ago."
 b. "**How long is it since your father got ill?**" "It is two years since he got ill."
 193. My father has been staying at Kamakura since the middle of this month **for the benefit of his health**.
 194. The change of air **has done me much good**.

195. We have had no rain since the beginning of this month, and the $\left\{ \begin{array}{l} \text{people} \\ \text{citizens} \end{array} \right\}$ of Tokyo are suffering from the scarcity of water.

196. Have you been to the exhibition? I wish I had gone with you.

197. Owing to the scarcity of houses to let, rents have considerably risen.

198. That foreigner has been teaching at this school $\left\{ \begin{array}{l} \text{ever since he} \\ \text{since his ar-} \end{array} \right\}$ came to Japan.
rival in Japan.

199. Have you waited for me for some time? Excuse me for coming so late.

200. As I had never gone on board a ship before, I did not know whether I should get seasick or not.

201. When I woke up $\left\{ \begin{array}{l} \text{the next morning} \\ \text{the following morning} \end{array} \right\}$ my family had already finished breakfast.

202. Yesterday I met him whom I had not seen for ten years. At first I could not, for the life of me, recognize him.

203. This morning I went there to buy the book, and found it had already been sold.

204. If you post the letter by seven o'clock this evening, it will have reached him by this time the day after to-morrow.

205. I shall have graduated from the university and gone into business by the time my father is sixty years old.

206. I know every nook and corner of this town; I shall have lived here for ten years by August this year.

[B]

207. $\left\{ \begin{array}{l} \text{Of late} \\ \text{Lately} \end{array} \right\}$ fountain-pens are in such great fashion among students that there is scarcely any student $\left\{ \begin{array}{l} \text{who has not one.} \\ \text{who does not carry one.} \end{array} \right\}$

208. a. A great deal of patience is required in order to learn a foreign language. The secret to master it is to speak and write it as often as possible.

b. Much perseverance must be exercised in learning a foreign tongue. It is the secret of mastering it to speak and write it as often as you can.

209. He is a man of strong will, and is second to none in carrying

out what he believes to be right.

210. a. Japan is a country surrounded by the sea, and cotton, sugar, and machinery must be brought from abroad by merchant ships.

b. Japan is a sea-girt country, and there is no help for it but to introduce cotton, sugar, and machines by merchantmen.

211. It was a quarter to eight when I woke up this morning. $\left\{ \begin{array}{l} \text{After taking a hasty breakfast} \\ \text{After taking breakfast in haste} \end{array} \right\}$, I $\left\{ \begin{array}{l} \text{started for school.} \\ \text{left home for school.} \end{array} \right\}$ When I got off the tram, I heard the school bell ring.

212. I $\left\{ \begin{array}{l} \text{called on} \\ \text{visited} \end{array} \right\}$ a friend of mine on my way to the station and $\left\{ \begin{array}{l} \text{missed the train.} \\ \text{was late for the train.} \\ \text{failed to catch the train.} \end{array} \right\}$

213. a. "How much did you pay for your fountain-pen?" "I paid six yen and fifty sen for it."

b. "What $\left\{ \begin{array}{l} \text{What} \\ \text{How much} \end{array} \right\}$ did your fountain-pen cost (you)?" "It cost (me) six yen and a half."

214. It is rumoured that the warship *Tenryu* will $\left\{ \begin{array}{l} \text{be sent to protect} \\ \text{come as a protec-} \end{array} \right\}$ tion for $\left\{ \begin{array}{l} \text{the lives and property of the Japanese residents here.} \end{array} \right\}$

215. I have lately passed the entrance examination of the Ryojun Technical College, and am going there. If you happen to have any acquaintances there, will you please give me a letter of introduction?

216. a. I am very sorry to trouble you, but will you be kind enough to take this parcel to Mr. Yamada's?

b. May I trouble you to take this parcel to Mr. Yamada?

217. It is five years since I bought this watch, but I have never got it mended. It is a $\left\{ \begin{array}{l} \text{good} \\ \text{reliable} \end{array} \right\}$ watch of Japanese make.

218. It has been raining since the night before last. As it may clear up this afternoon, will you go to do the sights of Kyoto with us?

219. He went over to America last month for the purpose of observing industrial affairs there; I have not heard from him yet.

220. It has begun snowing very heavily. You had better come in out of the wet, and wait $\left\{ \begin{array}{l} \text{till the snow holds up a little.} \\ \text{till the snow shows signs of abating.} \end{array} \right\}$

221. The entrance examination for which I have been preparing my-

self {with all my strength } since last autumn, has begun to-day at last.
 {with might and main }

222. When several policemen *arrived on the scene*, the rascals **had**
already {took to their heels } *leaving nothing but* broken pieces of glass,
 {run way }
 {made off }

broken desks and chairs *in disorder* on the floor.

223. Let us {take leave of him } before it is too late, because the
 {say good-bye to him }
 weather {has come threatening }
 {may change at any moment }.

224. The old woman is so healthy that she {has never got ill }
 {has never been taken ill }
 since she came here thirty years ago.

225. **Shall I send for a** motor-car? The tram-car is full, and be-
 sides we have not much time.

226. It is very late now; I **must say good night to you**, because my
 mother may worry about me.

227. I was so tired that, as soon as the train left Kyoto Station, I
 fell fast asleep. When I woke up the following morning, I found that
 the train **had already passed Numazu**.

228. As it has not rained for more than a month, the streets are so
 dusty that **on a windy day** we can scarcely walk along **with our eyes**
open.

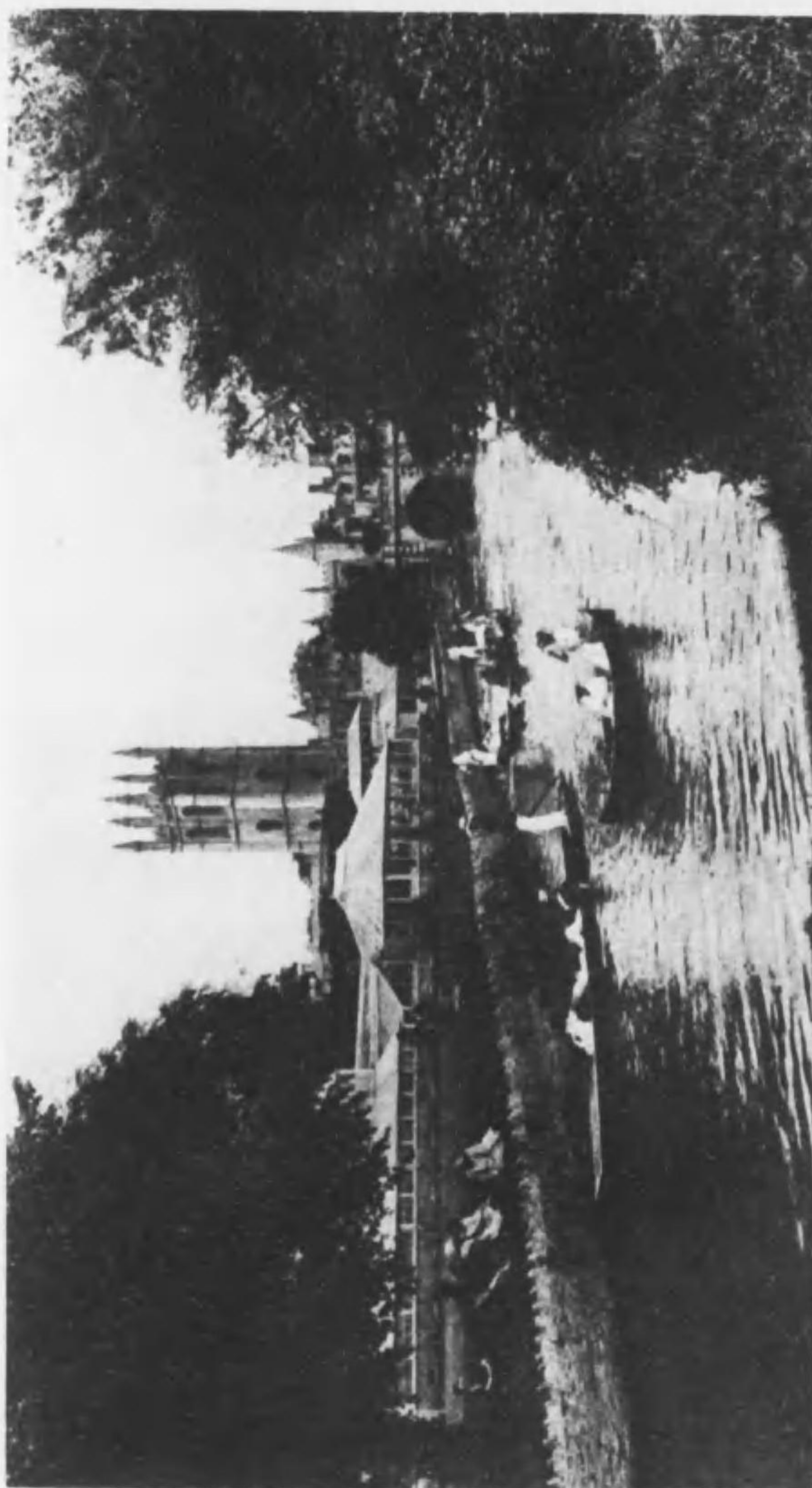
229. All day yesterday I **talked together about the past** with one of
 my friends **whom I had not seen for twenty years**.

230. Of late various kinds of **outdoor sports** are in great vogue, and
 the {physique } of young men has generally become strong.
 {constitution }

231. **It is a matter for congratulation that** athletic sports have be-
 come very popular among our people.

232. Lately motor-cars have increased in number in this city, and
 {we find it more necessary } **to keep to the left**.
 {it is more necessary }

233. It is more than three years **since I** {made it a rule not to wear }
 {got along without }
 an overcoat and {perhaps on that account } I have seldom taken cold.
 {thanks to it perhaps }



The Tower of Magdalen College, Oxford

第五章 Infinitives

第一節 Noun Infinitive

第一項 Noun Infinitive が Subject となる場合

[A] Infinitive をそのまま Subject とする場合

【問題 151】 *To save money means to go without some pleasure now, for the sake of the future.*

【語句】 to go without = to dispense with 無しですます。例: He goes without an overcoat in winter. 彼は冬外套なしで間に合はせる。for the sake of のために。

【考へ方】 to save money は means に對する Subject. 金を貯へる事のはの意。

【譯】 金を節約することは未来のために現在多少の娯樂を節するさといふ意味である。

【重要語句】 to go without, for the sake of.

【構文上の要點】 動詞の Root (原形) の前に to の加はつたものを Infinitive と云ひ之をそのまま Subject に用ゐてある。

【問題 152】 *To be successful does not always mean to get riches, honours, and power. Some of the richest and most praised and powerful men are perhaps the greatest failures since they have got what they wanted at the cost of a clean conscience.*

—昭和 2. 明尊

【語句】 not always = not necessarily 必ずしも でない (問題 1 參照)。riches = wealth 富、この意味に於ては複數なる事に注意。failure 失敗、失敗者 (こゝでは後者の意)。since = because, at the cost of = at the sacrifice of, at the price of, at the expense of, を犠牲にして。例: Do not imagine that to be successful means to get riches and power; for if you get them at the cost of your conscience, it is rather a great failure.—(44. 陸士)。成功とは富と權力を得る意味であると想像してはならぬ、といふのは若し良心を犠牲にして之を得るならば、それは大なる失

敗であるからである。conscience 良心。『参考: conscientious 實直な。

【考へ方】 to get riches は mean の Object, what they wanted は get の Object になつてゐる Noun Clause, at the cost of..... は get を修飾する Adverbial Phrase.

【譯】 成功は必ずしも富、名譽、權力を得る意味ではない。最も裕福で賞讃を博したる有力者の中には事による最大の失敗者がないでもない、さういふのは彼等は潔白なる良心を犠牲にして己の欲望を遂げたからである。

【重要語句】 not always, failure, at the cost of a clean conscience.

【問題 153】 To do something, however small, to make others happier and better, is the highest ambition, the most elevating hope, which can inspire a human being.

【語句】 ambition 功名心。『参考: ambitious 功名心の盛んな。elevating 向上せしむる。『参考: to elevate 向上せしむる。elevated 高擧な。elevation 氣高さ。elevator=lift 昇降機。to inspire 息をすひこむ、鼓舞する。『参考: inspiration 靈感、鼓吹。to expire 息を吐き出す、死ぬ。human being=mankind。『参考: humanity 人道。humane [hju(:)méin] 人情ある。humanism 人道主義。

【考へ方】 however small=however small it may be どんなに小さい事であつても。to make others happier and better は Subject をなしてゐる To do something の to do を修飾する、the most elevating hope は the highest ambition と同格、which は that でもよく the highest ambition を修飾する。

【譯】 他人を今までよりも幸福に向上させるためさんな些事であつても何事かをする事は人間を鼓舞させる最高の功名心であり、最も高尚な希望である。

【重要語句】 ambition, elevating, to inspire, human being.

【問題 154】 To read well is to read with insight and sympathy, to become one with your author, to let him live through you, adding what he is to what you are without losing your own characteristics.

—昭和 2. 高校第二班

【語句】 insight 洞察、見識。『参考: man of insight 見識ある人。例:

He has an insight into a man's character. 彼は人を見抜く明がある。sympathy 同情、同感。『参考: to sympathize with 同情する。sympathetic 同情ある。what he is 彼の人となり。characteristics [kæriktəristiks] 特性。『参考: characterize 特性を表はす。

【考へ方】 to read with insight and sympathy は is の Subjective Complement, to become one with your author, to let him live through は何れも to read with insight and sympathy と同格、adding what he is to what you are..... は and is to add..... と見ればよい、what he is は adding の Object, what you are は to の Object である。

【譯】 眞の讀書は洞察力と同情を以て讀むことであり、著者と一體になることであり、自己を通して著者を活かし著者の人となり自己の人なりに附加し而も自己の特性を失はない事である。

【重要語句】 insight, sympathy, characteristic, what one is.

【問題 155】 To read well—that is, to read true books in a true spirit—is a noble exercise and one that will task the reader more than any exercise which the customs of the day esteem.

—大正 15. 高校第二班

【語句】 that is=that is to say, namely 即ち。exercise=practice, training 修業。to task=to assign task to 仕事をあてがふ重荷を負はす。the day=the present age 現代。to esteem=to value, to think highly of, to make much of 尊重する。

【考へ方】 to read true books in a true spirit は Subject である To read well と同格、one=an exercise, that will task the reader more than any exercise は one を修飾する Adjective Clause, which the customs of the day esteem は exercise を修飾する Adjective Clause, which は esteem の Object となつてゐる。

【譯】 眞の讀書即ち眞の精神で眞の書物を讀むことは高尚な修業で、而も現今の風習が尊重する如何なる修業にも増して重荷を讀者に負はす修業である。

【重要語句】 that is, to task, to esteem.

[B] It を Formal Subject とし、Infinitive をその内容とする場合

【問題 156】 It is not too much to say that from every kind

of honest work, performed to the utmost limit of our power, we are able to attain this pride and satisfaction.

—大正 12. 海兵

【語句】 It is not too much to say = It is no exaggeration to say..... と云ふのは過言でない。例: *It is not too much to say that poverty has made him what he is now.* 彼の今日あるのは貧乏の御蔭であると云つても過言ではない。to perform = to accomplish 成し遂げる。『参考: performance 成就、演奏。performer 成就者、演奏者。to the utmost limit of one's power = to the best of one's abilities (power), as far as it lies in one's power 力の及ぶかぎり。pride 誇り。『参考: to pride oneself on = to be proud of を自慢する。

【考へ方】 It は that 以下の Noun Clause を指す、performed の前に that has been を補つて見る。

【譯】 そんな仕事に限らず正當な仕事を力のあらん限り成し遂げて初めて吾々はこの誇りと満足を得る事が出来るのであると云つても過言ではない。

【重要語句】 It is not too much to say }
It is no exaggeration to say }
to the utmost limit of one's power }
to the best of one's abilities } , pride.

【構文上の要點】 It を Formal Subject (形式上の主語)としてその内容を Infinitive で示してある。

【問題 157】 It is quite easy for a man to get himself a reputation. He has only to practise upon the imagination and credulity of the public.

【語句】 reputation = good fame 名聞、名聲。to have only to....., ... さへすればよい。to practise upon = to impose upon (前出) 瞞す。imagination 想像。『参考: to imagine 想像する。imaginative 想像力に富める。imaginary 想像丈の、實在性のない。credulity [kridjúliti] 輕信。『参考: credulous 信じ易い。

【譯】 人間が名聲を博することは極めて容易な事である。彼は公衆の想像と輕信さに附け込んで瞞しさへすればよいのである。

【重要語句】 reputation, to have only to....., to practise upon,

imagination, credulity.

【問題 158】 It is one thing to own a library; it is quite another to use it wisely.

—大正 3. 水産講習

【語句】 one thing..... (quite) another 甲乙両者が似てゐてもその實違ふ場合に用ひられる。例: *It is one thing to read extensively; it is quite another to read intensively.* 多讀と精讀とは全然違ふ。to own = to possess 所有する。library 圖書館、藏書。

【譯】 書物を所有すること、これを賢明に利用すること、は全然別問題である。

【問題 159】 It is always a mistake to miss an opportunity to meet with our kind, and especially to mix with those who are above us, because we can always carry away something of value. It is through social intercourse that our rough corners are rubbed off, that we become polished and attractive.

—昭和 2. 大阪高商

【語句】 opportunity 機會。our kind = our equals 同等の人間、同輩。to mix with = to associate with, to keep company with 交る。social intercourse 社交。our rough corners are rubbed off 圭角がとれる。polished off 磨き上げた、垢抜のした。attractive 人を引きつける、愛嬌のある。『参考: to attract 引きつける。attraction 誘引、呼び物。

【考へ方】 第一段 to meet with our kind, to mix with those..... は opportunity を修飾する Infinitives, who are above us は those を修飾する Adjective Clause. 第二段 It は that 以下の Noun Clause を指す、第二番目の that も it に對してゐる。

【譯】 吾々が同輩と交り殊に目上の者とつき合ふ機會を失ふことは常に誤りである、何となれば吾々は常に何等か價值あるものを持ち歸ることが出来るからである。吾々の圭角がとれ、垢抜けがし愛嬌が出来るのは社交に依るのである。

【重要語句】 opportunity, to mix with = to associate with = to keep company with, social intercourse, our rough corners are rubbed off, polished, attractive.

第二項 Complement なる場合

【問題 160】 In the words of Dugald Stewart, the great secret of happiness *is to accommodate* ourselves to things external rather than to struggle to accommodate external things to ourselves.

【語句】 in the words of = according to..... 氏の意見に依れば。 to accommodate [akómádeit] 適慮させる。『参考: to accommodate oneself to circumstances 境遇に適慮する。 accommodation 適慮、客扱ひ。 external [ekstá:nál] 外界の。『参考: internal 内部の。 to struggle = to strive hard 骨折る、踴(ぶ)ぐ。

【考へ方】 to accommodate は is を補ふ Subjective Complement, things external は external things に同じ。

【譯】 デューガルト・スチュワード氏の言によれば、幸福の大秘訣は外界の事物を自己に適慮せしめやうとして腕くよりも、寧ろ自己を外界の事物に適慮せしめる事にある。

【重要語句】 to accommodate, external, internal.

【問題 161】 He did not take up the sword, but he had a ready and powerful pen, which he jealously used *in defence of* what he *believed to be* the right.

【語句】 ready pen まのな筆。 jealously 妬んで、熱心に。『参考: jealous 妬み深い。 jealousy 嫉妬。 in defence of..... の保護のため。例: He spoke *in defence of* his friend. 彼は友人の辯護をした。『参考: defenceless 防禦なき(既出)。 to defend 防禦する。

【考へ方】 which は pen を受けるのであるが Antecedent である pen の次に comma があるから下から戻るのでなく上から読み下しにして and he jealously used it..... と見なければならぬ。 what he believed to be the right 彼が正義であると信ずる事即ち what は believed の Object, to be は believed を補ひ what を修飾する Objective Complement である。

【譯】 彼は剣は取らなかつたがまめで有力な文筆を持つてみて自分が正義と信ずる事を保護する爲に熱心に使用した。

【重要語句】 a ready pen, jealously, in defence of.

【問題 162】 It will be difficult for boys and girls still at school to recognize these facts. But they *must have* often *heard* their older relatives and friends **express** the wish that their schooling had been better and more complete, and that they had had the advantages which are given to the scholar of to-day.

【語句】 to recognize 認める。『参考: recognition 認識。 must have heard 聞いたに相違ない。

一般に $\left\{ \begin{array}{l} \text{must have + P. P. は したに相違ない} \\ \text{cannot have + P. P. は した筈がない} \\ \text{may have + P. P. は したかも知れぬ} \end{array} \right\}$ の意。

例: He *must (cannot, may) have* arrived in England. 英國に到着したに相違ない(到着した筈がない、到着したかも知れぬ)。 relative 親戚。 to express 發表する、述べる。『参考: expression 發表。 to impress 印象を興へる。 impression 印象。 schooling = school education 學校教育。 advantage 便益。『参考: advantageous 有利な。 scholar 學者、生徒。

【考へ方】 It は to recognize 以下を受ける、that their schooling had been..... 自分等の學校教育は(實際はよくなく完全でなかつたが)もつとよいものであり完全なものであつたらといふ the wish (希望)を修飾する Adjective Clause, that they had had the advantages も同様に the wish にかゝる Adjective Clause, which are given... は advantages を修飾する Adjective Clause.are given と Present Tense を用ゐたのは habitual action を示すからである。

【譯】 また修學中の少年少女にまつてはこれ等の事實を認めることは六ヶしいたらう。然し彼等は年上の近親者や友達が自分等の學校教育がもつとよくもつと完全なものであり亦今日の生徒に與へられて居る利益を受けられたらよかつたらうに云ふのを聞いた事が度々あつたに相違ない。

【重要語句】 to recognize, must have + P. P., cannot have + P. P., may have + P. P., advantage, scholar.

【問題 163】 Habits are easily formed—especially *such as* are bad; and what to-day *seems to be* a small affair, will soon become fixed, and hold you with the strength of a cable.

【語句】 to form 形成する。fixed 固定した。cable 鎖鎖。

【考へ方】 such as are bad は such habits as are bad で悪い風習の意。what seems to be a small affair の what は that which の意味の Relative Pronoun で小さい事のやうに思はれる事の意、これが Noun Clause で will become の Subject となつて居る。

【譯】 習慣のつくのは容易なものだ——悪い習慣に於ては殊にさうである、だから今日小さい事のやうにおもはれる事もすぐ固定して鎖鎖のやうな力で諸君を縛りつけることになる。

【重要語句】 to form, cable.

【問題 164】 An aspiration is a joy *for ever*, a possession as a landed estate, a fortune which we can never exhaust and which gives us year by year a revenue of pleasurable activity. To have many of these *is to be spiritually rich*.

—題和 2. 大阪高商

【語句】 aspiration 熱望、抱負。『参考: to aspire 熱望する。landed estate = landed property 地所、所有地。to exhaust = to consume entirely, to use up 使ひ盡す。revenue = income 収入。pleasurable 愉快な。activity 活動。spiritually 精神的に。『参考: spirit 精神。high-spirited 元氣のある。low-spirited 元氣のない。

【考へ方】 a possession は a joy と同格、a fortune も同様、which は fortune を受ける Relative Pronoun、To have many of these は Noun Infinitive で Subject、to be spiritually rich も Noun Infinitive で Subjective Complement である。

【譯】 希望は永久の喜びであり、所有地の様に財産であり、吾々が到底使ひ盡す事の出来ない又年々歳々吾々に愉快な活動力といふ収入を興へる財産である。この希望を多量に所有するといふ事は精神的に富裕なる所以である。

【重要語句】 aspiration, landed estate, revenue, activity, spiritually.

第三項 Infinitive が Verb の Object となる場合

【問題 165】 It would be very difficult to tell the reason in

simple words; but whoever reads Shakespeare's works *for himself*, and thinks about them, will *begin to see* a little why he deserves such praise.

【語句】 whoever = any one whoする所のものは誰でも。work 著書。for himself 獨力で。to see = to understand 了解する。to deserve 受ける價值がある。

【考へ方】 it は前述のやうに Formal Subject で to tell 以下がその内容を示す、to see は begin の Object であるが would be..... に対する condition を含んで居る。

【譯】 この理由を簡単な言葉で述べるさなるさ至難な事になる、然し誰でもシェークスピアの著書を自分で読みこれについて考へるさ、何故彼がかゝる賞讃を受ける價值があるかといふ事が多少なりとも解らう。

【重要語句】 whoever, to deserve.

【構文上の要點】 Infinitive がそのまゝ他動詞の Object となる。

【問題 166】 It is only after repeated trials that he *dares to think himself equal to* undertakings, with which those who succeed have secured the admiration of mankind.

【語句】 trial, to try の Noun, たのし、試み。to dare = to venture, to make bold to 思ひきつて.....する、.....する勇氣がある。to be equal toに均しい、任に堪へる。例: Young as he is, he *is equal to* the task. 年こそ若い彼はその仕事に堪へられる。undertaking = enterprise 事業。『参考: to undertake 引き受ける、着手する。admiration 賞讃。『参考: to admire [ədmaɪə] 賞讃する。admirer 讚美者。admirable [əd'mɪrəbl] 賞讃すべき。

【考へ方】 第一段 it は Formal Subject, that 以下の Clause が it の内容を示す、to think himself equal to 自分を任に堪へ得るものと考へる、dare to think.....,と考へる事を敢てする、即ち大膽にも.....と考へる、この to think は dare の Object となつて居る。第二段 with which の which は undertaking を受ける Relative Pronoun, who succeed は those を修飾する Adjective Clause で those は have secured の Subject である。

【譯】 成功者が人類の賞讃を博した事業に自分も堪へ得るさ自ら大膽にも考へるのは幾度も繰返してやつて見て初めて出来る事だ。

【重要語句】 trial, to be equal to, undertaking, admiration.

【問題 167】 No one *wishes to underrate* the importance of success in examinations, for the certificates which are obtained as a result of them are frequently the passports to higher education, to entrance into business life and work of many kinds.

【語句】 to underrate = to underestimate 安く見積る、軽視する。『参考: to overrate = to overestimate 見積りすぎる、買被ぶる。certificate [sə(:)'ɪfɪkɪt] 證書, to obtain = to get 得る, frequently = often 屢々, passport 旅券、手段, entrance, to enter の Noun 進入の事。

【考へ方】 to underrate は wishes の Object, which are obtained as a result of them は certificates を修飾する Adjective Clause, them は examinations を指す, to entrance into business life..... は to higher education と同様に passport にかゝる。

【譯】 誰しも試験にうまく及第する事の重要さを軽視しようと思ふ者はない、さういふのは試験の結果手に入れた證書は高等教育を受けるための又は實務生活やその他各種の事業に這入る旅券である事がよくあるからである。

【重要語句】 to underrate, certificate, passport.

【問題 168】 Unpractised persons will at first find *it* desirable to make their sentences as short as possible, that they may have them completely under control. Long sentences, even when well constructed, frequently *occasion* some degree of obscurity and are less forcible than short ones.

—大正 11. 小樽高商

【語句】 unpractised = inexperienced 無経験な、未熟な。『参考: unpracticable 實際に遠い、迂遠な。desirable 望ましい。『参考: to desire 望む。desire 慾望, to have.....under controlを支配する、纏める, to construct 組立てる。『参考: to contrive 解譯する, construction 構造、解譯, to occasion = to cause, to bring about 起す、來す。obscurity 曖昧。『参考: obscure 不明瞭な、微暗な。forcible 力ある。

【考へ方】 第一段 find it desirable to make their sentences as short as possible の it は find の Object, it の内容は to make..... を指す, desirable は Objective Complement, their sentences は to make の Object で

short は Objective Complement である, that they may have them..... 彼等が文を纏められるやうになる。第二段 even when well constructed の when の次には they are が省かれて居る, less forcible は力が弱くなる, ones は sentences.

【譯】 不慣れな人は文をきちんと纏めるため出来るだけ短くすることが最初は望ましいと思ふ。長文は立派に組立てゝある時でも幾分不明瞭となり短文よりも力が弱くなる事がよくある。

【重要語句】 desirable, to have.....under control, to occasion, obscurity, forcible.

【構文上の要點】 1. it を Verb の Object としその内容を Infinitive で示して居る。2. 時の副詞句で主文の Subject と其句の Subject とが同一で然かもその動詞が “to be” の時は副詞句の Subject と “to be” 動詞とを省くことが出来る。本文の when は此の場合である。

【問題 169】 What a misfortune it is to be handicapped throughout one's life *because of* not starting right! When one finds his right place in life, even if late, the dwarfed powers *begin to expand*, the hampered ability looks up, and the man aspires toward his natural goal; his ideal *begins to unfold*, and he feels himself *for the first time* a man. —大正 13. 長崎高商

【語句】 misfortune = bad luck 不幸, to handicap = to place at disadvantage 不利の地位に立てる、妨げる, to start right 順境に身を起す, dwarfed powers 發育を阻止されてゐた力, to expand = to develop 發展する, hampered ability 自由を妨げられた能力, to aspire 大望をいだく, natural goal 生れるとから定つた運命, unfold 開く (fold は折る), for the first time 初めて。

【考へ方】 第一段 it は Formal Subject で to beを指す, 第二段 even if late = even if it is late 適當な地位を見付ける事がよし晩年になつてからでも, a man は feel を補ふ Objective Complement である。

【譯】 出發點を誤つたために生涯不利の地位に立つことは何さういふ不幸であらう! 若し人が生活上適所を見出しきへすればよしそれが晩年になつてからでも、いぢけた力は伸展し始め、自由を妨げられて居た能力は向上し、彼は天賦の目的に向つて大志を懷き、彼の

理想は芽を出し始め、かくして彼は初めて自分が一人前の人間であると感じる。

【重要語句】 misfortune, to handicap, dwarfed powers, to expand, to hamper, to aspire, natural goal, to unfold, for the first time.

第二節 Adjective Infinitive

【問題 170】 A right-minded man will have the *courage to live* honestly *within his own means*, rather than dishonestly *upon the means* of other people.

【語句】 right-minded 心の正しい、律義な。to have the courage to live = to be courageous enough to live 生活する勇氣がある。例：He *had the courage to start* in the face of the storm. 彼は勇敢にも嵐を冒して出發した。means 財産、収入。『参考：a man of means 財産家。to live upon (on)..... で暮しを立てる。例：He *lives on* 100 yen a month. 彼は月百円で暮しを立て、居る。

【考へ方】 the courage to live honestly の to live は courage を修飾する Adjective Infinitive である、rather than の次に live を補つて見る。

【譯】 心の正しい人は他人の収入で不正な生活をするよりも自分の収入の範囲内で正直な生活をする勇氣を有するものだ。

【重要語句】 right-minded, to have the courage to, means, to live on.

【構文上の要點】 Infinitive がその直ぐ前の Noun を修飾する。

【問題 171】 Manner has *a great deal to do with* the estimation *in which* men *are held* by the world; and it has often more influence in the government of others *than* qualities of much greater depth and substance.

【語句】 a great deal = much 大なる分量、非常に。to do with 関係する。例：He seems to have something *to do with* the company. 彼はその会社と多少関係があるらしい。estimation 評價、尊敬。to hold one in estimation 人を尊敬する。例：The admiral has been *held in high esteem* since he rendered distinguished services to the country during the Russo-Japanese War. 提督は日露戦役中國家に偉勳をたて、以來尊敬されてゐる。in fluence 影響、勢力。in the government of others = governing others 他

人を統御する事に於て。substance 實質。

【考へ方】 to do with は a great deal を修飾する Adjective Infinitive, the estimation in which men are held by the world は the world holds men in the estimation (世人は人を尊敬する) の estimation が with の Object となつてゐるからその estimation の説明を Passive Voice でかく表はしたものと見ればよい。即ち「人が世人に拂はれてゐる尊敬」となる。

【譯】 態度と云ふものは其人が世人から拂はれてゐる尊敬と非常な關係を持つてゐる。そして人を統御する點に於てはもつと深みがあり實質のある性質より多くの勢力を有する事が往々にしてある。

【重要語句】 a great deal, to do with, to hold one in estimation, influence, government, quality, substance.

【問題 172】 The very *effort to advance—to arrive at* a higher standard of character than we have reached—is inspiring and invigorating; and even though we may *fall short of* it, we *cannot fail to be* improved by every honest effort made in an upward direction.

【語句】 the very effort この very は effort を強めるために用ゐる Adjective, 努力そのもの、努力こそ。例：This is *the very* book that I want. これこそ僕の用ゐる本だ。standard 標準。inspiring 鼓舞する。invigorating 元氣を附ける。fall short of.....に届かない、.....に達しない。cannot fail to = to be sure to きつと.....する。

【考へ方】 to advance, to arrive 何れも effort を修飾する Adjective Infinitive, it は standard を指す。made の前に which is を補つて見る、これは effort を修飾する Past Participle.

【譯】 向上發展せんとする努力こそ即ち吾々が到達したよりも更に高い品性の標準に到達せんとする努力こそ人を鼓舞せしめ活氣づけるものである。そしてよしや吾々がこの標準に達しないやうな事があつても高きに向つて眞面目に努力を拂ふ毎に必ず進歩するものである。

【重要語句】 effort, to advance, standard, inspiring, invigorating, to fall short of, cannot fail to, to improve.

【問題 173】 I should be *the last man to speak* lightly of the

profession of a clergyman or to urge anyone to enter the Church whom I thought *unfitted for* the sacred office. But in your case there can be no such misgiving. I *entertain no doubt whatever of* your fitness—your moral fitness, and I will *go so far as to say* that with competent aid you might, in no very long time, *be prepared for* the necessary examination.

—昭和 2. 高岡高商

【語句】 to be the last man to speak 「話す最後の人となる」といふ事から「容易に……しない」の意味となる。例: He is *the last man* to break his word. 彼は容易に約束を破る人でない。to speak lightly of = to make light of = to think little of 軽んずる。profession 職業, clergyman 牧師, unfitted 不適當な, sacred office 聖職, misgiving 不安、懸念, to entertain 懐く, to go so far as to say……とさへ云ふ。例: He *goes so far as to say* that he can live on ten yen a month. 彼は極端にも月拾圓で生活が出来ると云つてゐる。competent 相應の。『参考: competence 能力, incompetent 無能な, in no very long time = at no distant date 遠からず。

【考へ方】 第一段 to speak lightly, to urge anyone は man にかゝる Adjective Infinitive, whom は anyone を受ける Relative Pronoun で thought の Object である, unfitted は Objective Complement. 第二段 whatever は no doubt を強めるだけで、これはなくても意味は通ずる。that with competent aid you might…… は say の Object になつてゐる Noun Clause である。

【譯】 私は決して牧師の職を軽んじたり聖職に不適任であると思ふ人を勧めて教會に入らせたりしない。然し君の場合には決してそんな懸念はある筈がない。君の適任である事——道徳的見地よりして適任である事については毫も疑を懐いてゐない。だから適當な援助を得て遠からず牧師になるに必要な試験の準備をしてよいと云はうと思ふ。

【重要語句】 to be the last man to, to speak lightly of, to urge, sacred office, misgiving, to entertain, doubts of, to go so far as to, competent.

【問題 174】 I believed *in* poverty as a *condition to experience, to go through* and then *to get out of*—not as a condition

to stay in.

—大正 15. 山口高商

【語句】 poverty 貧困, condition 状態, to experience 経験する。『参考: to experiment 実験する, to get through 通過する, to get out of = to get rid of 脱する。

【考へ方】 as は……としての意, to experience, to go through, to get out of は何れも condition を修飾する Adjective Infinitive, to stay in も直ぐその前の condition にかゝる。

【譯】 私は貧困はこゝに止まるべき状態ではなく、経験し通過し然る後に之を脱すべき一状態であるを信じて居た。

第三節 Adverb Infinitive

【問題 175】 The new is supplanting the old everywhere. The machinery of ten years ago must soon be *sold* as old iron *to make room for* something more efficient.

【語句】 the new 新しい物, to supplant [səplɑ:nt] = to drive out and take the place of ……を追ひ出して代る, machinery [məʃi:nəri] 機械(集会的に), 『参考: a machine [məʃi:n] 機械(個別的に), to make room for = to make way for 席をあける, efficient = capable, competent 効力のある、技術のある。

【考へ方】 to make は sold を修飾する Adverb Infinitive, efficient は something を修飾する。

【譯】 新しい物は到る所古いものを押し退けてこれに代りつゝある。十年前の機械は更に有効な機械に席を譲るために古金として買られなければならぬ。

【重要語句】 to supplant, to make room for.

【構文上の要點】 Infinitive が Verb を修飾して Adverb の役目をする。

【問題 176】 The works which have influenced the opinions, or charmed the leisure hours, of millions of men in distant times and far-away regions *are well worth reading* on that *very* account, even if to us they *seem* scarcely *to deserve* their reputation.

【語句】 to influence 影響を及ぼす、動かす。leisure hours 閑暇、million 百萬、region=land 國、to be worth reading=to be worth while to read 読む価値がある。一般に to be worth + Gerund は「……する価値がある」。例：This book is worth reading twice.=It is worth while to read this book twice. この本は再讀の価値がある。on that very account=for that very reason たゞそれだけの理由で、very は語勢を強めるために用いたのである。例：This is the very book that I want. この本こそ僕の入用な本だ。reputation 評判。

【考へ方】 which have influenced the opinions……regions までは Subject である books を修飾する Adjective Clause, are が Predicate Verb, even if to us they seem……reputation までは are を修飾する Adverbial Clause, to deserve は seem にかゝる Adverb Infinitive である。

【譯】 遠い時代や又遠方の國々に於て幾百萬の人々の意見を動かしその閑暇を慰めた書物は、そんな名聲を博する価値は殆どないさへ思はれても、たゞそれだけの理由で十分精讀の意義がある。

【重要語句】 to influence, leisure hours, million, far-away regions, to be worth reading, on that very account, scarcely, to deserve, reputation.

【問題 177】 The chains of habit are generally too small to be felt till they are too strong to be broken.

—大正 15. 熊本醫大豫科

【語句】 chain 連鎖、generally=generally speaking 概して。

【考へ方】 too small to be felt 「感じられるには餘りに小さ過ぎる」で to be といふ Adverb Infinitive は too を修飾してゐるのであるがこれは譯する時には上から讀み下して「餘り小さ過ぎて感じられない」と云ふ方がよい。till they are too strong to be broken も、同様に取扱へばよい。例：This book is too difficult for me to read.=This book is so difficult that I cannot read it. この本は餘り六ヶし過ぎて私には讀めない。

【譯】 習慣の鎖(き)は極めて些々たるもので殆ど感ぜられないが、遂にはそれが牢固抜くべからざるに到るのが常である。

【重要語句】 to be too strong to be broken.

【語誦】 It is never too late to mend. 過つて改むるに遅る勿れ。

【問題 178】 The days come to us like friends in disguise, bringing priceless gifts from an unseen hand; but if we do

not use them, they are borne silently away never to return. Each successive morning new gifts are brought, but if we failed to accept those that were brought yesterday and the day before yesterday, we become less and less able to turn them to account, until the ability to appreciate and utilize them is exhausted.

—大正 13. 廣島高工

【語句】 in disguise 變装して、priceless=invaluable, inestimable 非常に貴重。『参考：valueless, worthless 価値のない。unseen hand 目に見えぬ手(神を指す)。borne away=carried away 持ち去られて了ふ、successive 連続する。『参考：to succeed=to follow in order 後に来る。in succession 連続して。less and less able だんだん出来なくなる。to turn them to account=to make use of them 利用する。例：It was characteristic of Johnson to take the intended sarcasm in good part, and even to turn it to account. 人が故意に皮肉を云ふ事があつても善意に解するばかりでなく更に之を利用するのがジョンソンの特性であつた。to appreciate 其價が解る。『参考：appreciation 鑑賞、to utilize 利用する。『参考：utilization 利用。to exhaust 盡す。『参考：exhausted 疲れ切つた、exhaustion 消耗、疲勞。

【考へ方】 第一段 in disguise は friends を修飾する Adjective Phrase, bringing=and bring. 第二段 never to return は are borne にかゝる Adverb Infinitive で結果を表はす。例：He tried again only to fail. 彼は再びやつて見たが失敗したゞけであつた。第三段 Each successive morning は are brought にかゝる Adverbial Phrase, those=the gifts, that were brought…… は those を修飾する Adjective Clause, until 以下は Adverbial Clause で appreciate と utilize とは ability を修飾する Adjective Infinitive である。

【譯】 月日は變装した友達のやうにやつて来て目に見えぬ神の御手から無上の賜物を齎す。然し若し吾々がこれを使用しなければ音もなく運び去られて再び戻つて來ない。來る朝も來る朝も新しい賜物は送られるが若し吾々が昨日一昨日に送られた賜物を受け容れ損ふと、これを利用することが次第に不可能になつて來て、遂にはその眞價を知り且利用する能力が全く無くなつて了ふ。

【重要語句】 in disguise, priceless, successive, to turn a thing to account, to appreciate, to utilize, to exhaust.

【構文上の要點】 Adverb Infinitive が結果を示す。

【問題 179】 The spring is a season that approaches slowly with timid steps, although on occasion it dances forward joyously for one day only to retire again the next. There are bright, warm, sunny days in the depth of winter when Nature seems to awake from her sleep, and only the chill in the shadow and the bare branches remind us that the time of spring is still a long way off.

—昭和 2. 横濱高商

【語句】 to approach=to come near 近づく。 with timid steps 臆病な足取りで。 on occasion=from time to time 折々、時々。 in the depth of winter 冬の最中に。 chill 身にしむ寒さ。 to remind=to put in mind 思ひ出させる。 a long way off=far away 遠い。

【考へ方】 第一段 that approaches slowly.....steps は season を修飾する Adjective Clause, although.....the next は Adverbial Clause であるがこの although を but と見做して了ふ方が意味を表はすに都合がよい。 it は spring を指す。 the next=the next day, only to retire again は結果を表はす Adverb Infinitive である。 第二段 when Nature seems to awake from her sleep は sunny days にかゝる Adjective Clause, that the time of spring.....off は Noun Clause で remind の Object である。

【譯】 春はおづおづと近寄る季節ではあるが時折一日位はいそいそと跳り出て翌日はすぐ退いて仕舞ふ。冬のさ中でも「自然」が眠から醒めるらしく晴々した温かな日當りのよい日も幾日もあるが、物蔭の身にこたへる冷さと裸の枝さだけで春また浅きを思はせる。

【重要語句】 to approach, with timid steps, on occasion, in the depth of winter, chill, to remind.

第四節 Absolute Infinitive

【問題 180】 To add to the horror of the situation, lake steamers at that time seldom carried boats.

【語句】 To add to the horror of the situation その時の状態を尙恐ろしくした事は。 例: to make a long story short 早い話が。 to be , and

with you 打ちあけて云へば。 to be brief 約言すれば。 to speak the truth 實を云へば。

【譯】 その時の恐ろしさにかへて、加へて當時の湖水通ひの汽船は滅多にボートを載せて居なかつた。

【重要語句】 to add to the horror of the situation.

【構文上の要點】 この Infinitive は重に文頭にあつて文の他の部分と文法上の關係がない、そこで之を Absolute Infinitive と稱する。

【問題 181】 To make matters worse, thick sleet was driving across the sea, the breeze was increasing to a gale and there were signs of a fearful storm.

【語句】 To make matters worse = What makes the matter worse 搦て、加へて。 to increase 増加する。 gale 強風。 sign [sain] 徴候。

【考へ方】 increasing to a gale 強さを増して強風となる、即ちこの to は結果を表して居る。

【譯】 搦て、加へて降りしきる霰は海上を疾驅し、微風は次第に強さを増して暴風となり、恐ろしい嵐になりさうな徴候があつた。

【重要語句】 to make matters worse.

【問題 182】 To say without reserve, I sat for about an hour, turning the thing over in my mind and trying to find some possible explanation. The more I thought the more extraordinary and inexplicable did it appear.

【語句】 to say without reserve=to be frank with you 腹藏なく云へば。 to turn the thing over in my mind=to think over the matter その事を熟考する。 possible explanation 出来得る説明、眞實と考へられる説明。 the more I thought the more extraordinary 考へれば考へるほど益々異常になる。一般に the+比較級.....the+比較級.....は「.....すればするほど.....になる」の意。例: The sooner you do it, the better it will be. 君がそれをする事が早ければ早いほど尙結構だ。 inexplicable=inexplicable, unaccountable 説明の出来ない。 in は not の意味の接頭語。例: inexhaustible 無盡蔵の。 inestimable 非常に尊い(評價することの出来ないほどのといふ意からかくなる)。

【考へ方】 turning, trying は共に sat を修飾する Present Participle, did it appear は it appeared と同じであるが extraordinary and inexplic-

able といふ Adjective Phrase が前に出てゐるから助動詞が Subject の前に出たのである。

【譯】 腹藏なく云へは私はものゝ一時間も腰かけてその事を熟考して何さか説明の方法がない譯でもあるまいさあれかこれかこあたつて見た。所が考へれば考へるほどその事は益々異常で説明が出来ないやうに思はれた。

【重要語句】 to say without reserve, to turn a thing over in one's mind, explanation, the more.....the more, extraordinary, inexplicable.

【注意】 the more.....the more の構文は從來の入學試験問題には随分出てゐる。最近六ヶ年間の分を調べて見ても中々多い、次にその學校名を記して参考にしよう。大正 11. 東京帝大農、大正 13. 大阪醫大豫科、大正 13. 熊本高工、大正 13. 廣島高師、鳥取高農、大正 15. 名古屋高商、大正 15. 神戸高商、大正 15. 京都高露、昭和 2. 北大豫科、昭和 2. 神戸商船、昭和 2. 大阪高工等である。

【問題 183】 To speak the truth, if I thought I had a chance to better myself where I was going, I would go with a good will. —3, 4. 七高

【語句】 to speak the truth 實を云へば。 to better myself = to get a better position もつとよい地位を得る。 where = in the place where, with a good will = willingly 喜んで。 If I thought.....I would go. はさうは思はないが「若し.....であると思へば行くのですが」と現在の事實と反對の事を述べる構文。例: *If I were rich, I would go abroad.* 金があれば洋行するのだが。

【考へ方】 to better myself は chance を修飾する Adjective Infinitive.

【譯】 實を云へば若し私が今から行かうといふ所でもつとよい地位が得られる機会があると思へば私は喜び勇んで行くのですが。

【重要語句】 to speak the truth, If I thought....., I would go, to better one's self, with a good will.

【問題 184】 The tone of the German army, to judge by its captured letters, is very low. It would welcome peace in any from. *Never in the whole history of the world has a war been so universally unpopular as the present war.* —大正 7. 海兵

【語句】 tone 調子、志氣、 captured letter 分捕つた手紙 to judge byによつて判断すれば。 in any form 形式の何たるを問はず。 universally unpopular 一般に不評判な。『参考: to be popular with 人気のある。 popularity 人気。』

【考へ方】 to judge by.....letters は文頭にあつても同じこと。 it は the German army を指す。 *Never in the whole history.....* の Subject は a war, Predicate Verb は has been, has が war の前にあるのは *Never in the whole history of the world* といふ Adverbial Phrase が文頭にあるからである。

【譯】 分捕つた手紙によつて判断すると獨逸軍の志氣は極めて揚らない。平和とあれは形式はさうでも歓迎するだろう。世界の全史を通じて今度の戦争位一般に不人気な戦争は嘗てなかつた。

【重要語句】 tone, to judge by its captured letters, universally, unpopular.

【構文上の要點】 Adverbial Phrase が文頭にあるときには Verb が Subject の前に来る。

第五節 Perfect Infinitive

【問題 185】 His father *seems to have carried on* several trades, *more particularly* those of a glover and a wool-dealer, and was a man of sufficient importance to be elected high-bailiff of his town.

【語句】 to carry on 營む。『参考: to carry out 實行する。 more particularly もつと詳しく云へば。 glover [glávə] 手袋商。 those = the trades. wool-dealer 羊毛販賣人。 high-bailiff 執行吏長。』

【考へ方】 to have carried on は seem を修飾してゐる。 to have + Past Participle の形の Infinitive を Perfect Infinitive といひ普通のものを Simple Infinitive といふ。この文は *It seems that his father carried on, etc.* と書きかへる事が出来る。

【譯】 彼の父は數種の商賣を、もつと詳しく云へば手袋商、羊毛商といふ商賣を營んたらしい。そしてその町の執行吏長に選ばれるほどの重きをなした人であつた。

【重要語句】 to have carried on, particularly, to elect.

【構文上の要點】 to have + P. P. の構造を Perfect Infinitive と云ふ。

【問題 186】 When he arrived in London, *poor and a stranger*, he *seems to have gone* at once to the theatre *in search of work*.

【語句】 in search of = in quest of ……を探しに。例: The mother went far into the wood *in search of* her lost child. その母親は迷子を探しに森の奥深く遣入つていつた。

【考へ方】 poor and a stranger は arrived の Subjective Complement である。When he arrived poor and a stranger in London, と考へる。he seems to have gone = it seems that he went.

【譯】 彼は貧乏な他國者としてロンドンに着くと直ぐ仕事を求めに劇場に行つたらしい。

【重要語句】 in search of, in quest of.

【問題 187】 Thus Scott *is said to have received* his first *bent* towards ballad literature from his mother's recitations *in his hearing* long before he himself had learned to read.

【語句】 thus = in this way 斯様に。bent = liking 嗜好。ballad 民謡。literature [lɪt(ə)rɪtʃə] 文學。『参考: literary 文學上の。literal 文字通りの、正確な。man of literature = man of letters 文學者。recitation 誦讀。『参考: to recite [rɪsaɪt] 誦讀する。in his hearing 彼が聞いてゐる所で。

【考へ方】 Scott is said to have received his first bent towards ballad literature = It is said that Scott received his first bent towards ballad literature.

【譯】 スコットは彼が讀方を習はないずつと以前に母が誦讀するのを聞いたのがもて民謡文學に對し初めて嗜好を覺ゆるやうになつたこの事である。

【重要語句】 to have received, bent, ballad literature, in one's hearing, recitation.

【問題 188】 While making these researches he *was accustomed to spend* night after night in a lofty tower, gazing at the heavenly bodies through a telescope. His mind was lifted far above the things of this world. He *may be said, indeed, to*

have spent the greater part of his life in worlds that lie thousands and millions of miles away, for *where* the thoughts and the heart are, there is our true existence. —大正 14. 神戸高工。

【語句】 research [rɪsɜːtʃ] = investigation 研究。to be accustomed to = used to. heavenly body 天體。telescope [tɛlɪskəʊp] 望遠鏡。『参考: microscope [maɪkrəskəʊp]. was lifted above the things of this world この世の事物の遙か上方にあげられる。where the thoughts and the heart are, there is our true existence 思想と心とのある所には吾々の眞の生活がある。例: *Where there is a will, there is a way.* 意志のある所には道がある(精神一到何事か成らざらむ)。『参考: to exist 生存する。struggle (battle) for existence 生存競争。

【考へ方】 第一段 While making these researches = While he was making these researches これ等の研究に従事して居る間。gazing at……は to spend にかゝる Present Participle。第二段 He [may be said to have spent…… = It may be said that he spent…… that lie thousands and millions of miles away は worlds を修飾する Adjective Clause.

【譯】 彼はこれ等の研究に従事して居る間望遠鏡で天體を眺めながら来る夜も来る夜も高塔に過すのであつた。彼の心はこの世の事物の遙か上方にあけられてゐた。實際彼は幾千哩幾百萬哩彼方の世界に生涯の大部分を費したといふ事も出来る。何となれば思想と心の存在する所には吾々の眞の生存があるからである。

【重要語句】 research, to be accustomed to, lofty, heavenly body, to lift, to have spent, the greater part of, existence.

【構文上の要點】 while の次には when と同様に Subject と Verb “to be” とを省略する事が出来る。(問題 168) 参照。

【問題 189】 Although there are discoveries which are *said to have been made by accident, if carefully inquired into*, it will be found very little that was accidental about them.

—昭和 2. 高松高商

【語句】 discovery 發見。by accident = accidentally, by chance 偶然。to inquire into = to investigate 研究する、調査する。accidental 偶然の。

【考へ方】 which are said to have been made は discoveries を修飾する Adjective Clause。if carefully inquired into = if they are carefully inquired into この Adverbial Clause は will be found を修飾する。that

は it.....that の that で it の内容を示す。

【譯】 偶然の結果であると云はれてゐる発見もあるが、仔細に調査して見ると発見と云ふ事には偶然と云ふ分子は極めて少いと云ふ事がわかる。

【重要語句】 discovery, to have been made, by accident, by chance, to inquire into, accidental.

【構文上の要點】 if の次には when, while と同様に Subject と Verb “to be” が省略する事が出来る。

總 括

I. Infinitive の用法

A. Noun Infinitive

1. Noun Infinitive が Subject となる場合
 - (a) Infinitive をそのまま Subject とする場合
 - (b) It を Formal Subject (形式上の主語) とし Infinitive をその内容とする場合
2. Complement となる場合
3. Object となる場合

B. Adjective Infinitive

C. Adverb Infinitive

1. Purpose (目的) を示す場合
2. Cause (原因) を示す場合
3. Result (結果) を示す場合
4. Condition (條件) を示す場合
5. Reason (理由) を示す場合

D. Absolute Infinitive

E. Perfect Infinitive (to have + P. P.)

II. 應用和文英譯問題 (5)

[A]

234. 辭書なしですますなごさは思ひもよらぬ事だ。

なしですます to do without, to get along without, to dispense with, 思ひもよらぬ事 a thing unthought of, to be out of the question.

【考へ方】 「なごさは」は譯す必要がない。

235. まさかの時の用意に貯蓄する事は如何なる地位の人にも必要な事だ。

まさかの時の用意に against a rainy day, 貯蓄する to save money, 如何なる地位の人 a man of any social standing.

【考へ方】 この二文とも Infinitive をそのまま Subject にしても It を Formal Subject に Infinitive を内容とする It.....to の型としても差支ない。

236. 多讀と精讀とは外國語に熟達するに共に必要な事である。

多讀 to read extensively, 精讀する to read intensively, to read carefully, 外國語に熟達する to master a foreign language, to acquire a good command of a foreign language, to master a foreign language.

237. 良心を犠牲にしてまで富を得る事は彼のやうな正直な人間の出来る事でない。

良心を犠牲にして (問題 152) 参照, 富を得る to acquire wealth, 彼のやうな正直な人間 such an honest man as he, so honest a man as he.

【考へ方】 「得る事は」は「得ようと試みる事は」と考へる方がよい。

238. 外國語の知識なくして外交官にならうと思ふのは木によつて魚を求むるが如きものであると云つても過言でない。

なくして without, 外交官 diplomat, diplomatist, 木によつて魚を求むる, to fish in the tree, 過言でない (問題 156) 参照。

【考へ方】 「如きものである」は you might as well fish in the tree as wish to..... の型を用ゐる。

239. その日暮しをしてゐるものが貯蓄する事は容易の事でない。
容易の事でない no easy matter, no easy affair, その日暮しをする to live from hand to mouth.

240. 喫煙をやめる決心と實際やめる事は別問題だ。

喫煙をやめる to give up smoking, 決心する to determine, to resolve, to make up one's mind, 別問題 (問題 158) 参照。

241. 先づ第一に彼は境遇に適應しなければならなかつた。

先づ第一に first of all, 境遇に適應する (問題 160) 参照, 境遇 circumstances.

【考へ方】 この問題は「彼が先づ第一になさねばならなかつた事は境遇に
適則させる事であつた」と考へればよい。

242. 彼の最も嫌つた事は自己を辯護するといふ事であつた。

嫌ふ to dislike, to hate, 辯護する to defend oneself.

243. 金を儲ける事は六ヶしいことであるが之を有効に使用する
事は猶更六ヶしい。

儲ける to make money 有効に使用する to make good use of, to use
wisely, 猶更 still more.

244. 彼は二度こんな馬鹿な事をしないと約束した。

馬鹿な事 a foolish thing.

245. 突然家族に病人が出来ましたから二三日出發を延期する事
に決めました。

突然 suddenly, all of a sudden, 出發 departure, 延期する to put off, to
postpone, 決める to decide, to resolve, to make up one's mind.

【考へ方】 「家族に病人が出來た」は「家族の一人が病氣になつた」と考へ
ればよい。病氣になる to fall ill, to get ill, to be taken ill.

246. 夜更しをしたり間食をしたりする事は決して良い習慣では
ありません。

夜更しをする to sit up till late, 間食をする to eat between meals, 決し
て……でない by no means, anything but.

247. 電車の進行中飛び乗り飛び降りは甚だ危険です。

電車の進行中 while a tram-car is in motion, 飛び乗り to jump into a
tram-car in motion, 飛び降りる to jump off a tram-car in motion, 危険な
dangerous.

248. 金銭は幸福と至大の関係があるを考へる人が多い。

至大の関係がある (問題 171) 参照, 人が多い many people, there are
many people who……

249. 彼は厚かましくも僕に金の無心をした。

厚かましくも to be impudent enough to……, to have the impudence
to……, 金の無心を云ふ to ask for money, to ask for a loan of money, to
apply to one for money.

250. 彼女は不幸にして盲目に生れた。

不幸にして to be unfortunate enough to, to have the misfortune to, 盲
目に生れる to be born blind.

251. 英語を學び出してからかれこれ三年になるが一寸した英語
の手紙を書くのも六ヶしい。

かれこれ about, some, 三年になる It is three years, three years have
passed, 一寸した short.

【考へ方】 「六ヶしい」は It is difficult to…… よりも「六ヶしいと自分
が感ずる」として I find it difficult to…… の方がよい。

252. 食物を買ふ金がないので途方に暮れた。

途方に暮れる to be at a loss, to be at one's wits' end.

253. そんなつまらぬ事で喧嘩をする人ではない。

つまらない事で over a trifle, over a trivial matter, 喧嘩する to quarrel
(問題 173) 参照。

254. 彼は級のものについて行かうと思つて精一杯勉強した。

ついて行く to keep up with, 精一杯 as hard as one can.

【考へ方】 「思つて」は「爲め」にと考へればよい。

255. 翌朝一番列車に間に合ふやうに精一杯早く起きた。

間に合ふ to be in time for, to catch (問題 168) 参照。

256. 醫者は頻りに鎌倉に轉地を勧めたが彼は聴き入れなかつた。

しきりに strongly, 轉地 change of air, 勧める to advise, 聴き入れる to
listen to.

【考へ方】 「鎌倉に轉地」は「轉地のために鎌倉に行く」と考へればよい。

257. 青年は空中に樓閣を築く事が好きだ。

空中に樓閣を築く to build a castle in the air.

258. 正直で勤勉であるから成長の暁には幸福な人となるでせう。

勤勉な diligent, industrious.

【考へ方】 「成長の暁には……な人となるでせう」は結果を現はす Infini-
tive を用るればよい。「暁」は譯す必要がない。

259. 洋行したいなら先づ第一に英語が上手にならなければなら
ぬ。

洋行する to go abroad, 上手になる to have (acquire) a good command
of, to become proficient in.

260. この本は六ヶしくて私には読めない。

【考へ方】「六ヶしくてよめない」は(問題 177)参照。

261. 自動車や馬車をかゝへる餘裕のある人は極めて少い。

馬車 carriage, かゝへる to keep, 餘裕がある can afford to.

262. お前を遊ばせて置く餘裕はない。

遊ばせて置く to have one idle.

263. 「あなたはあのひと何か御関係がありますか」、「いえ、何も関係はありません。

関係がある(問題 176)参照。

264. 私は再讀の價値がないやうな本は買はない事にしてゐる。

讀む價値がある(問題 176)参照。……する事にしてゐる to make it a rule to, to be in the habit of.

265. 一旦ついた悪習慣は牢固として容易に破れないものだ。

一旦ついた once formed, once contracted.

【考へ方】「牢固として破れない」は「破れるには餘りに固い」と考へればよい。(問題 177)参照。

266. 留守中室を片附けるやうに召使に云ひつけた。

留守中 during (in) one's absence, while one is away from home, 片附ける to put in order (片附けて置く to keep in order), 云ひつける to tell.

267. 佐藤君を御紹介申上げます。

紹介する to introduce.

【考へ方】この問題は「私に貴君を紹介することを許して下さい」と云ふやうに考へる。Allow me to……

268. 謹んで御成功を祝します。

祝す to congratulate one on.

【考へ方】前題同様に考へればよい。

269. 彼は虐待されて黙つてゐる人ではない。

虐待する to treat badly, to mistreat, to ill-treat.

【考へ方】「虐待されて黙つてゐる」は「自分が虐待されるまゝにして置く」と云ふやうに考へて to allow oneself to……の型を用ゐればよい。

270. 彼は辯明に努めたが益々誤解されるばかりだつた。

辯明する to defend oneself, 誤解する to misunderstand.

【考へ方】「益々……ばかりだつた」は結果を現はす Infinitive の型を用ゐればよい。(問題 178)参照。

271. 一生懸命働いたが益々生活の困難を感じるばかりだつた。

一生懸命 with might and main.

272. 先日拜借した本は明後日までには必ず御返し申します。

先日 the other day, 明後日 the day after to-morrow, までには by, 返す to return.

【考へ方】「必ず」は without fail とするか「返す事を誤らぬ」として not fail to……の型を用ゐてもよい。

273. 今御別れ申す事は誠に悲しう御座いますが致し方もありません。

別れる to part from one, 致し方もない that can't be helped.

274. 彼は英語が得意だと云ふがまた話す所を聞いた事がない。

得意 to be at home in, to be well up in, to be well posted up in.

【考へ方】「聞いた事がない」は今までの経験であるから現在完了を用ゐなければならぬ。

275. 一生懸命に働きさへすれば早晚自分の事業に成功するにきまつてゐる。

さへ only, 早晚 sooner or later, 事業 enterprise, undertaking, きまつてゐる to be sure to, surely.

276. 私は家が揺れるのを感じて飛び出した。

揺れる to shake, 飛び出す to run out, to rush out.

277. 彼があの変な聲で歌ふのを聞いて笑はざるを得なかつた。

あの his, 得ない cannot help + Gerund, cannot but + Root.

【考へ方】「聞いて」は原因を示す Infinitive を用ゐればよい。

278. 打ち開けて云へば私は私に辭職しようと思つてゐる。

打ち開けて云へば to tell the truth, to speak the truth, to be frank with you, 辭職する to resign (one's office or post), to leave office, to quit office, 思つてゐる to be thinking of + Gerund.

279. 僕は忙しい時に人に來られるのは嫌いだ。

人に來られる to have someone come, to have a visitor.

280. 要するに私は先方に自分の云ふ事を解らせる事はさうして

も出来なかつた。

要するに in short, in brief, to be short, to be brief, to make a long story short, どうしても for the life of me.

【考へ方】「自分の云ふ事を解らせる」は自分「自身を解らせる」と考へればよい。

281. あの人は謂はゞ生字引だ。

謂はゞ as it were, so to speak, 生字引 a walking encyclopædia.

282. あの人は謂はゞ成上り者です、交際しない方がよいでせう。

成上り者 an upstart, a parvenu, 交際する to associate with, to keep company with.

283. 翌朝目を醒して見ると私は自分の室に寝てゐるのでした。

目を醒す to wake.

【考へ方】「私は自分の室に寝てゐるのでした」は「寝てゐる自分を発見した」と結果を表はす Infinitive を用ゐればよい。(問題 178) 参照。

[B]

284. 君のやうに試験間際になつて、そんなに勉強したつて所詮駄目だらう。(大正 15. 早高)

君のやうに as you do, 試験間際になつて when the examination is so near at hand, 勉強する to study でもわかるがこゝでは「やたらに詰め込む」の意であるから to cram の方が適當である。

285. 日本の習慣では先生が教室へ這入ると全級起立して敬禮するのである。(大正 13. 海機)

日本の習慣 the custom in Japan, 敬禮する to make a bow.

【考へ方】この文は it を Subject にしてその内容を「起立して敬禮する」で表すやうにすればよい。

286. 日本からアメリカまで飛行機で太平洋を横断するには何時間かゝるでせうか。(昭和 3. 桐生高工)

飛行機で in an aeroplane, 太平洋 the Pacific Ocean (大西洋 the Atlantic Ocean), 横断する to cross, 何時間 how long, かゝる to take.

287. 現在日本から英吉利まで郵便はシベリヤ經由で約三週間かかるが他日飛行郵便が実施されたら僅か四五日しかかゝるまいぞい

ふ事だ。(昭和 3. 静岡高校)

現在 now, nowadays, at present, 郵便 the mail, the letter, シベリヤ經由で via Siberia, by way of Siberia, 他日 some day, in the near future, at no distant date, 飛行郵便 the aerial post, the air mail, 實施する to go into effect, to take effect, といふ事だ it is said that....., they say that.....

288. 此の仕事は豫想外に困難で之を完成するにはなほ數ヶ月を要するだらう。(昭和 3. 仙臺高工)

豫想外に unexpectedly, more than one expected, 完成する to complete, to finish.

289. 私は毎朝五時に起きて冷水浴をなし朝食前一時間學課を勉強することにしてゐます。(昭和 3. 桐生高工)

冷水浴をする to take a cold bath, ことにしてゐる to make it a rule to, to be in the habit of + Gerund, to make a point of + Gerund, to make it a custom to, it is one's habit to.

290. 市内電車は通例大層込み合つてゐるので立つてゐるより外座席を求める事は困難です。(大正 15. 米澤高工)

市内電車 the tram-car, 通例 usually, 込み合ふ to be crowded, 立つてゐる to keep standing.

【考へ方】「大層込み合つてゐるので……」は so.....that の型で結び付け、「……より外座席を求める事は困難」は find it hard to get..... として「だから立つてゐなければならぬ」と考へればよい。

291. 彼は入學試験に及第せんぞ一生懸命に勉強した。(大正 7. 鹿兒島高農)

入學試験 the entrance examination, 及第する to pass, to succeed in.

292. 僕は明日から入學試験を受けるために一昨日此處に着いた。(大正 8. 秋田礦山)

受ける to take, to go in for, to sit for, 一昨日 the day before yesterday (明後日 the day after to-morrow, 先日 the other day).

【考へ方】「明日から」を from to-morrow と譯してはならぬ。to-morrow とする、すべてこの Phrase は which begins to-morrow として the entrance examination を修飾させなければならぬ。

293. 労働者階級の人々に讀書の趣味を鼓吹せんがために某富豪は數百冊の書籍を神戸圖書館に寄贈したり。(大正 7. 神戸高商)

労働者階級 the working classes, the labouring classes, 讀書の趣味 the love of reading, interest in reading, 鼓吹する to encourage, to arouse, 富豪 a millionaire, a rich man, 數百 hundreds of, 圖書館 a library, 寄贈する to contribute to.

294. 人は一旦自分の目的を立てた以上は能くまで之を貫徹する決心を持つてゐなければならぬ。(大正 2. 専檢)

一旦 once, 目的を立てる to decide to do something, to make up one's mind to do something, 能くまで to the best of one's ability, by all means, 貫徹する to accomplish, 決心 resolution.

295. 最も困難なことを成し遂げた時に最も大なる愉快が得られる。しかしなるべく楽なことを希望するのが人情の常だ。(大正 15. 商大専門)

成し遂げる to accomplish, 得る to get, to obtain, 成るべく楽な事 the easiest thing, 希望する to aim at, to look for, to seek for, 人情の常 human nature.

296. 何處の國でも労働者は大抵その日暮しをしてゐる。彼等は現在の賃金では一家を支へて行くのが漸くでこても貯金の餘裕がない。(大正 15. 慶應豫科)

大抵 generally, most of, その日暮しをする to live from hand to mouth, 現在の賃金 the present rate of wages, 支へる to support, 漸く hardly, 餘裕がある can afford to, 貯金 to save.

297. 一番列車に乗らうといふので父さ五時半頃家を出た。町はまたひつそりとして眠つてゐた。其所此所に鶏の聲が聞えた。(大正 15. 富山高専)

乗らうといふので in order to catch, in order to be in time for, 其所此所に here and there, 鶏の聲 the crowing of cocks.

298. 金の値うちを知つてゐるものは多いが時の値うちを知つてゐるものは少ない。金は私共の欲するものを求め得るからしてその値うちを知る事が容易であります。(大正 15. 武蔵高専)

値うち value, 欲するもの what we want.

299. 僕は試験が済んだら朝鮮の兄の所へ行つて一週間ばかり滞在する積りです。(大正 15. 高専第二班)

済む to be over, 滞在する to stay, 積り to intend to.

300. 教育の目的は堅實なる人物を養成するにあり。(昭和 3. 六高)

目的 object, aim, 堅實な reliable, 養成する to train.

301. 此の學校の後にはかなり廣い林がある。もう樹々の下には緑の草が見える。好い時候に此處を散歩するのは愉快であらう。(昭和 3. 浦和高専)

林 a wood, 好い時候に on a fine day, when the weather is fine.

302. 私はこの正月から毎日日記をつける積りでゐたがよいよ始めてみるご實行は中々六ヶしい。(昭和 3. 六高)

この正月から from the first of January this year on, 日記をつける to keep one's diary, 始める to start, 實行する to carry out one's intention.

303. 往來を歩いてみて不愉快に思ふ事は通りかかりの自動車に埃をかけられる事です。(昭和 3. 東京高専)

往來を歩いてみて while walking along the street, 埃をかけられる to be covered with dust.

【考へ方】 この問題は「……思ふ事は」までを Subject にしてもよいが「往來を歩いてゐる時に自動車に埃をかけられる事を吾々は不愉快に思ふ」と考へてもよい。

304. 近頃の青年は月給取にはかりなりたがつて遠く海外に渡り自己の運命を開拓して見ようといふ勇氣を缺いて居る。(昭和 3. 臺北高専)

近頃の青年 young men of to-day, 月給取 a salaried man, 海外に渡る to go abroad, 運命を開拓する to seek one's fortune, 缺く to lack, to be lacking in.

305. 如何なる職業に就くにしても、英、獨、佛語の何れかを十分に修めて置く事は最も必要な事です。(昭和 3. 富山薬専)

如何なる職業 whatever occupation, no matter what occupation, 就く to follow, to engage in, 十分に修める to acquire a good command of.

306. 朝寢の習慣を矯めようご出来る丈の手段を講じて見たが駄目でした。習慣は第二の天性ですからね。(昭和 3. 早高第二)

朝寢の習慣 the habit of late rising, a sluggish habit, 矯める to cure oneself of, to get rid of, to shake off, 出来るだけの手段を講ずる to try

every means in one's power, to have no means untried, 駄目 to be in vain, to no purpose, 第二の天性 a second nature.

307. 近頃就職難の聲喧しきも、何事にもあれ一つの道に秀でたるものは、その就職にしかく困難を感じざるが如し。(昭和3・大阪高工)

近頃 of late, lately, recently, 就職難 the difficulty of $\left\{ \begin{array}{l} \text{getting} \\ \text{obtaining} \end{array} \right\}$ employment, 一つの道 one line of business, 秀でる to excel in.

【考へ方】「聲喧しい」は「喧しく論議されてゐる」と考へればよい to be much discussed, 「しかく」は「人が想像する程に」と考へる。

308. 月は悲める人には悲しく見え、幸福な人には愉快に見える。旅人に懐郷の念を起させるのも月である。(昭和3 米澤高工)

悲める to be sad, 悲しく見える to look sorrowful, 懐郷の念を起す, to feel homesick, to think of one's home.

309. 彼は水泳が得意だと云つてゐるが私は彼が泳ぐのを見た事がない。(大正15・海機)

水泳が上手 to be good at swimming, to be a good swimmer.

310. 「君はこんないゝ天氣に何故洋傘を持つてゐるのだ」、「昨日土田君に借りたのを返しに行くところだ」。(大正15・東京高師)

こんないゝ天氣に in such fine weather, on such a fine day, 返す, to return, 借りる to borrow.

311. この時計は進んで一向あてにならないから直して貰ひたいのですが幾日かゝるでせうか。實は少し急ぐのですか。(大正15・大阪高商)

進む to gain (遅れる to lose), 當にならぬ cannot be relied on, to be unreliable, 直して貰ふ to $\left\{ \begin{array}{l} \text{have} \\ \text{get} \end{array} \right\}$ it $\left\{ \begin{array}{l} \text{mended} \\ \text{repaired} \end{array} \right\}$, 實は to tell the truth, in fact, as a matter of fact, 急ぐ to be in a hurry.

312. 手紙を書く事を一概にむづかしきことのやうに思ふは間違なり。手紙の目的は我が思ふところを他の人に傳ふるのが主なれば誰もまづ自分の思ふまゝを解り易く認めんご心掛くべし。(大正15・彦根高商)

我が思ふ所 what one thinks, one's ideas, 傳へる to convey, 解り易く so

that another may easily understand, plainly, intelligibly, so as to be easily understood.

【考へ方】「一概に……思ふ」は「速断する」の意に解する方がよいから to make a hasty conclusion that……とるすがよい、又は to hasten to conclude that……としてもよい。

313. 善い習慣を造るには、常に自分をふりかへつて見て善い行をつとめ悪い行を避けなければなりません。(大正15・長崎高商)

習慣を造る to form a habit, to contract a habit, 自分をふりかへる to reflect on one's conduct, 善い行 a good deed, 避ける to avoid, to shun.

314. あの人は餘り若いのでそんな任に堪へなかつた。人は成功をあせるべきでない。(大正15・京都高等工藝)

そんな任 such a task, 堪へる (問題166) 参照, 成功をあせる to be over-anxious to succeed, to be eager for success.

【考へ方】「餘り若いので……なかつた」は(問題177)参照。

315. 私が案内された會堂は町の中程にあつた。其所へ行くには雪のある暗い町々を通らなければならなかつた。(昭和2・愛知醫大豫科)

案内する to take one to, 會堂 the hall, 中程 in the middle, 雪のある covered with snow.

316. あの人は英語の勉強を始めてから幾らにもなりませんがかんりの進歩をしたやうに思はれます。(昭和2・陸士)

幾らにもならぬ a short time, かんりの進歩 fairly good progress, したらしい (問題185) 参照。

解 答

[A]

234. a. It is a thing unthought of for me to go without a dictionary.
b. It is out of the question for me to get along without a dictionary.

235. a. It is necessary for a man of any social standing to save money against a rainy day.

b. It is indispensable for every man, no matter what his occupation may be, to lay by against a rainy day.

236. a. It is necessary for those who would {master
acquire a good com-
mand of } a foreign {language } both to read extensively and to read
{tongue } intensively.

b. Extensive reading and intensive reading are both required to get proficiency in a foreign language.

237. a. It is impossible for such an honest man as he to acquire wealth at the {price } of a clean conscience.
{cost }
{sacrifice }

b. Acquiring wealth at the cost of a clean conscience is more than so honest a man as he can do.

238. a. It goes without saying that to wish to become a diplomat without a knowledge of foreign languages is like fishing in a tree.

b. It is no exaggeration to say that you might as well fish in a tree as wish to become a diplomatist without a knowledge of foreign languages.

239. It is no easy {affair } for those who live from hand to mouth
{matter } to save money.

240. It is one thing to make up one's mind to give up smoking, and quite another to carry out one's resolution.

241. a. First of all he had to accommodate himself to circumstances.

b. The first thing he had to do was to adapt himself to circumstances.

242. a. What he hated most was to defend himself.

b. To defend himself was what he disliked most.

243. a. It is difficult to make money, but still more difficult is it to make good use of it.

b. You may find it hard to make money, but still harder may you find it to use it wisely.

244. a. He has promised not to do such a foolish thing again.

b. He promised that he would not do such a foolish thing again.

245. As one member of my family fell ill suddenly, I have decided to {put off } my departure for a few days.
{postpone }

246. It is {by no means } a good habit to sit up till late at night or
{anything but } to eat between meals.

247. It is dangerous to jump into or jump off a tram-car {in motion }
{while it } is in motion.

248. a. There are many people who think that money has a great deal to do with happiness.

b. Many people are of opinion that money has much to do with happiness.

249. a. He was impudent enough to ask me for money.

b. He had the impudence to apply to me for money.

250. a. She was unfortunate enough to be born blind.

b. She had the misfortune to be born blind.

251. a. It is about three years since I began to study English, but I find it difficult to write a short letter in English.

b. Some three years have passed since I began studying English, but it is no easy task for me to write a short English letter.

252. a. I had no money to buy food with, and was at a loss what to do.

b. I had no money to buy food with, and was at my wits' end what to do.

253. a. He is not the man to quarrel over such a trifle.

b. He is above quarrelling over such a trivial matter.

254. a. He studied as hard as he could in order to keep up with his class.

b. He studied as hard as possible lest he should fall behind his class.

255. a. Next morning I got up as early as I could so as to be in time for the first train.

b. The following morning I got up as early as I could {in order to }
{that I might } catch the first train.

256. a. Though the doctor strongly advised him to go to Kamakura for change of air, he would not listen to him.

b. He turned a deaf ear to the doctor's repeated advice suggesting to him to go to Kamakura for change of air.

257. Young men like to build castles in the air.

258. As he is honest and industrious, I hope he will grow up to be

a happy man.

259. *a.* If you wish **to go abroad**, you must first of all master English.

b. The first thing you have **to do is to acquire** a good command of English, if you have a mind **to go abroad**.

260. *a.* This book is *so* difficult *that* I cannot read it.

b. This book is **too difficult for me to read**.

261. *a.* Very few people **can afford to keep** a motor-car or a carriage.

b. **It is not every man that can afford to keep** a motor-car or a carriage.

262. I cannot afford **to have you idle**.

263. "Have you **anything to do with him?**" "No, I have **nothing to do with him.**"

264. *a.* I **make it a rule not to buy** a book that is *not worth reading* twice.

b. I *am in the habit of* not buying the book **which it is not worth while to go through** again.

c. I *make a point of* not buying the book **which it is not worth while reading** twice.

265. *a.* The habit *once formed* is **too strong to be easily** {broken.
cured.

b. The habit *once contracted* is *so strong that it is* no easy matter **to break it**.

266. I *told* my servant **to put my room in order** *during* my absence.

267. **Allow me to introduce to you** Mr. Sato.

268. **Allow me to congratulate you on** your success.

269. He will not **allow himself to be treated badly**.

270. He tried hard **to defend** himself **only to be still more misunderstood**.

271. He worked with might and main **only to find it harder to live**.

272. I will not **fail to return** to you by the day after to-morrow the book which I borrowed from you the other day.

273. I am very sorry **to part from** you now, but *it can't be helped*.

274. He says that he *is well up in English*, but I have never *heard* him **speak it**.

275. If you work hard, you will be **sure to succeed** in your undertaking *soon or later*.

276. *a.* I *felt* my house **shake**, and ran out.

b. *Feeling* my house **shake**, I rushed out.

277. I {could not but laugh
could not help laughing} **to hear** him sing in his strange voice.

278. *a.* **To tell the truth**, I think I will resign.

b. **To be frank with you**, I am thinking of resigning (my post).

279. I don't like **to have some one come** when I am busy.

280. **To make a long story short**, I could not, *for the life of me*, *make myself understood*.

281. He is, {so to speak
as it were}, a walking encyclopædia.

282. *a.* He is, **so to speak**, an upstart; you had better not *keep company with* him.

b. He is, **as it were**, a parvenu; it would be better for you *not to associate with* him.

283. {The next morning
The following morning} I awoke **to find myself lying** in bed in my own room.

[B]

284. *It will be* of no use after all **to cram** so hard as you do when the examination is near at hand.

285. *a.* It is the custom in Japan that all the pupils in class stand up, and make a bow to the teacher when he comes in.

b. *According to the Japanese custom*, all the class stand up, and make a bow to the teacher when he enters the classroom.

286. *How long will it take to go over to* America across the Pacific Ocean in an aeroplane?

287. At present **it takes** the mail about three weeks **to reach England by way of** Siberia, but some day **when the aerial post service goes into effect**, it is said that it will take only four or five days to cover the same distance.

288. This work is more difficult **than was expected**, and *it will take* several months more **to bring it to perfection**.

289. I **make it a rule to get up** at five in the morning, **take** a cold bath, and **study** my lesson for an hour before breakfast.

290. The tram-cars are usually so crowded that you will find *it*

difficult **to get** a seat, and you will have to keep standing.

291. *a.* He studied very hard **in order to pass** the entrance examination.

b. He studied very hard **so that he might succeed** in the entrance examination.

292. I arrived here the day before yesterday **in order to sit for** the entrance examination which **is to begin** to-morrow.

293. A certain millionaire has contributed *hundreds of books* to the Kobe Library **in order to arouse interest in reading** among the working classes.

294. Once you have made up your mind **to do something**, you must have a firm resolution **to accomplish** it *by all means*.

295. *a.* When you have done the most difficult thing, you can have the greatest pleasure; but *it is human nature to look for* the easiest possible thing.

b. Nothing can give us greater pleasure than when we have done the most painstaking work; but it is usually the case with us to seek for an easy task as often as possible.

296. *a.* In every country labourers generally **live from hand to mouth**. They can hardly support their families at the present rate of their wages; and they **cannot afford to save any money**.

b. In every country most of the workmen live a from-hand-to-mouth life. *It is all they can do to provide for* their families at the present rate of their wages; they can't even spare a cent.

297. *a.* **In order to catch** the first train I left home with my father about half past five in the morning. The town was still quite, and was fast asleep. The crowing of cocks was heard here and there.

b. I started from home with my father about half past five in the morning to catch the first train. All was quiet in the town which was still in deep sleep. We heard cocks crow here and there.

298. *a.* There are many people who know the value of money, but few who do that of time. *It is easy to appreciate* the value of money, because we can buy with it what we want.

b. Many people understand the value of money, but few know that of time. Money enables us **to buy** what we want, and for this reason *it is easy to appreciate* its value.

299. *a.* When the examination is over, I intend **to see** my elder

brother **who is in** Chosen and **stay** with him about a week.

b. I am going **to visit** my elder brother who lives in Chosen and **stay** there about a week when the examination is over.

300. *a.* The aim of education **is to train** a reliable man.

b. Education **aims at** building up a trustworthy character.

301. *a.* At the back of this school-building **is** a pretty big wood.

Under the trees green grass **is**

{	beginning to raise its head.
	is already sprouting.

 It will be pleasant to take a walk there when the weather is fine.

b. There is a fairly extensive piece of woodland behind the school-building. Under the trees grass has already shown itself. You will find it pleasant to take a stroll there on a fine day.

302. *a.* I intended **to keep my diary** every day beginning on New Year's day, but **when I did start it**, I found it very difficult to *carry it out*.

b. I planned **to keep my diary** every day from the first of January this year on, but **when I made the first entries**, I found *it* no easy task *to keep it up*.

303. *a.* **What makes us feel unpleasant** when walking along the street is that passing motor-cars *cover us with a crowd of dust*.

b. When we walk outdoors, *it is unpleasant for us to be covered with a crowd of dust* raised by passing motor-cars.

304. *a.* Young men of to-day **are only too anxious to become** salaried men, and are *lacking in courage to go*

{	far away overseas
	to the end of the world

 and *seek their fortune*.

b. Young people in these days **are only too desirous of becoming** salaried men, and they lack the courage **to go far away** across the sea *in search of their fortune*.

305. *a.* *Whatever occupation you may*

{	take up
	follow
	try your hand at

it is the most necessary for you to acquire a good command of either English, German or French.

b. *No matter what line of business you may engage in*, you must by all means

{	master
	make yourself master of

 any one of the three languages, English, German or French.

306. *a.* I *tried every means in my power to cure myself of the habit*